

2 藤沢市教育振興基本計画の進捗状況

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	変更(ある場合)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
112	国際教育推進事業	教育部	教育指導課	変更(ある場合)					
<p>事業目的 広く国際的な視野に立って物事を考え、行動できる児童生徒の育成</p> <p>事業内容 業務委託により外国語指導講師(FLT)を派遣し、小学校外国語活動(5・6年)及び中学校外国語(英語)の授業を支援する。(小・中) 国際理解を深めるために国際理解協力を派遣し、外国語や異文化に触れる体験の充実を図る。(小1～4・特) 小学校外国語活動支援員を派遣し、小学校外国語活動の授業を支援する。(小学校からの要請) 日本語指導員を派遣し、日本語指導の必要な外国国につなぐの児童生徒に対して、日本語学習及び学校生活への適応を支援する。(小・中・特・学校からの要請) 国際教育担当者会を実施し、情報交換・調整・研修等を行う。</p>					H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●FLTの派遣(小・中学校)</li> <li>●国際理解協力員の派遣(小・特別支援学校)</li> <li>●小学校外国語活動支援員の派遣(小学校)</li> <li>●日本語指導員の派遣(小・中・特別支援学校)</li> </ul>									
<p>予算額(千円)</p> <p>決算額(千円)</p> <p>執行率(%)</p>					79,423	79,145	76,026		
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●FLTの小中学校への派遣日数3,040日</li> <li>●国際理解協力員小1～小4特別支援学校へ各2時間派遣</li> <li>●小学校外国語活動支援員は220時間派遣</li> <li>●日本語指導員は4,343時間派遣</li> <li>●国際教育担当者会は、中学校は、英語教育担当者会と同時に1回行うため、小学校に比べ内容が薄い。</li> </ul>									
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>人的配置を適切に行い、担任への授業の補助や、児童生徒への学校の生活における支援ができた。</p> <p>FLTの活用方法を業者と再確認し、担当者で周知を行った。</p> <p>外国語活動支援員による「Hi, friends!」の授業案をまとめ、次年度の外国語教育担当者会で各小学校に配付する準備ができた。</p> <p>日本語指導員においては、単に日本語を教えるだけでなく、外国につながる子どもたちの学校生活での困りごとなどを解決する一助となった。</p>									
<p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>市立55校(全校)で実施</p> <p>指導主事による授業研究や教育課程推進のための必要教材教具の整備を行った。</p> <p>市立55校(全校)で実施</p> <p>指導主事による授業研究や教育課程推進のための必要教材教具の整備を行った。</p> <p>8校、中学校6校、特別支援学校1校、で実施した他に、H28年度からは、履修校での共同研究を可能とし、2校共同と3校共同のそれぞれ一組ずつ実施した。</p> <p>社会科資料集「ふしさわ」を作成し、全小学校3年生へ配付した。</p> <p>小学校4年生全員及び、小学校6年生と中学生の希望者を対象にプラネタリウム学習投影を実施した。</p> <p>各小学校の一つの学年の児童(計3,547人)を対象に新江ノ島水族館の利用補助を行った。</p>									
<p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人的支援の活用方法に関しては、今年度同様とするが、近隣の市町とも密に連絡を取り、得られた情報からより効果的な方法を探る。</li> <li>・国際教育に関しては、小・中・特別支援学校で情報を共有したり、方法を考えたりする場が必要であるため、担当者会を小中特合同で行う。</li> <li>・小学校の外国語(英語)指導に関しては、3年計画で全市立小学校への訪問研修を行い、指導技術を磨く。</li> </ul>									
<p>課題・問題点</p> <p>外国語活動の授業において、担任の苦手意識がまだ強いと思われるリーダー研修を受けた教員が学校で伝達講習を行っているが、十分とはいえない。小学校教員が中学校での授業を見学したり、研修に参加するだけでなく、実際に授業を行いながら研鑽する必要がある。</p> <p>外国国につながる子どもたちの言葉の壁を低くする手立てを担当者会で周知したが、全教員が行えるように周知の方法を検討する。</p>									
<p>H29年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教習課程推進支援</li> <li>●小学校3校における防災教育の実施</li> <li>●学校の特色や課題を捉えた研究実践の支援</li> <li>●獣医師在診の実施</li> <li>●社会科資料集「ふしさわ」の作成</li> <li>●プラネタリウム学習投影の実施</li> </ul>									

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	変更(ある場合)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
111	教育課程推進事業	教育部	教育指導課	変更(ある場合)					
<p>事業目的 学習指導要領に即り、各学校において、学校や地域の実態を踏まえた創意工夫ある教育課程の実施のため、特色ある教育課程を編成する。 「学校教育ふしさわビジョン」の理念に沿った学校教育目標の具現化を図ることにより、実りある教育の実践を行うことである。</p> <p>事業内容 各教科等における実りある教育の実践への支援を行う。 「学校教育ふしさわビジョン」の理念に沿った学校教育目標の具現化への支援を行う。</p>					H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校運営推進業務委託事業</li> </ul>									
<p>予算額(千円)</p> <p>決算額(千円)</p> <p>執行率(%)</p>					11,998	11,832	11,395		
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> <p>市立55校(全校)で実施</p> <p>指導主事による授業研究や教育課程推進のための必要教材教具の整備を行った。</p>									
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>市立55校(全校)で実施</p> <p>指導主事による授業研究や教育課程推進のための必要教材教具の整備を行った。</p> <p>8校、中学校6校、特別支援学校1校、で実施した他に、H28年度からは、履修校での共同研究を可能とし、2校共同と3校共同のそれぞれ一組ずつ実施した。</p> <p>社会科資料集「ふしさわ」を作成し、全小学校3年生へ配付した。</p> <p>小学校4年生全員及び、小学校6年生と中学生の希望者を対象にプラネタリウム学習投影を実施した。</p> <p>各小学校の一つの学年の児童(計3,547人)を対象に新江ノ島水族館の利用補助を行った。</p>									
<p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期学習指導要領の趣旨を理解し、今後においても「学校教育ふしさわビジョン」の理念に沿った教育活動を実施するために事業の継続を行う。</li> <li>・学校運営推進業務委託事業では、次期学習指導要領の示すものにもつながる先進的・意欲的な研究を支援していく。</li> </ul>									
<p>課題・問題点</p> <p>プラネタリウムは中学生の利用希望者が少ない。</p> <p>道徳や小学校外国語についての教科化に向けた、学校における授業研究の推進が必要である。</p>									
<p>H29年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教習課程推進支援</li> <li>●小学校3校における防災教育の実施</li> <li>●学校の特色や課題を捉えた研究実践の支援</li> <li>●獣医師在診の実施</li> <li>●社会科資料集「ふしさわ」の作成</li> <li>●プラネタリウム学習投影の実施</li> </ul>									

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	担当者	教育部署	
113(314)	学校ICT機器整備事業(情報教育)	教育部	教育部	教育部	教育部	
<p>事業目的 教育情報機器の活用による情報教育(情報モラル教育、パソコン技術)の習得が求められること、藤沢市教育情報化推進計画に基づき、教育情報環境及び機器の整備を図るとともに、児童生徒の学習の多くの場において教育情報機器を活用した学習の充実を図る。</p> <p>事業内容 学校における情報モラル教育やパソコン技能の習得が求められていること、藤沢市教育情報化推進計画に基づき、教育情報環境及び機器の整備を図るとともに、児童生徒の学習の多くの場において教育情報機器を活用した学習の充実を図る。</p>						
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
			→	→	→	→
	予算額(千円)	386,998	376,811	346,170		
	決算額(千円)	383,076	370,937			
	執行率(%)	99.0	98.4			
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各会議を予定通り開催し、情報教育に関する周知及び検討を図ることができた。</li> <li>研修の参加者が、各校1名以上確保できた。</li> <li>情報モラル教育に関する構成として、情報モラル教育に関する研修会の開催や、授業支援等に取組んだ。</li> </ul> <p>評価 H28年度の総合評価 B</p> <p>次年度 継続</p>				
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各会議を予定通り開催し、情報教育に関する周知及び検討を図ることができた。</li> <li>研修の参加者が、各校1名以上確保できた。</li> <li>情報モラル教育に関する構成として、情報モラル教育に関する研修会の開催や、授業支援等に取組んだ。</li> </ul> <p>評価 H28年度の総合評価 B</p> <p>次年度 継続</p>				
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各会議を予定通り開催し、情報教育に関する周知及び検討を図ることができた。</li> <li>研修の参加者が、各校1名以上確保できた。</li> <li>情報モラル教育に関する構成として、情報モラル教育に関する研修会の開催や、授業支援等に取組んだ。</li> </ul> <p>評価 H28年度の総合評価 B</p> <p>次年度 継続</p>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	担当者	教育部署	
121	各教科研究開発事業	教育部	教育部	教育部	教育部	
<p>事業目的 教員の資質と教育の質の向上</p> <p>事業内容 各中学校内研究会、研究推進校教育研究会、市小中教育研究会における教育研究の充実を図るための支援を行う。 藤沢市教職員人材育成基本方針に基づき、新規採用教員及び教職1、2、3、4、12年経験者の研修会を開催する。</p>						
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
			→	→	→	→
	予算額(千円)	17,993	19,129	19,413		
	決算額(千円)	17,987	19,111			
	執行率(%)	99.9	99.9			
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学校、各研究会において年間計画に沿って研究を実施した。</li> <li>研究推進校へ指導行事が訪問し、授業研究を行い、研究の推進を図った。</li> <li>初任者研修4日間、1年経験者研修3日間、2年経験者研修1日、3年経験者研修2日、4年経験者研修1日を実施し、各研修の目的を達成することができた。</li> <li>ミドルリーダー研修(12年経験者研修)を4日実施し、中堅教員の育成を図った。学年経営・学校運営についての内容を充実させた。</li> <li>小・中・高教員研修(今年度の効果・成果)</li> <li>小・中・高教員研修(今年度の効果・成果)</li> <li>小・中・高教員研修(今年度の効果・成果)</li> <li>小・中・高教員研修(今年度の効果・成果)</li> </ul> <p>評価 H28年度の総合評価 B</p> <p>次年度 継続</p>				
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学校、各研究会において年間計画に沿って研究を実施した。</li> <li>研究推進校へ指導行事が訪問し、授業研究を行い、研究の推進を図った。</li> <li>初任者研修4日間、1年経験者研修3日間、2年経験者研修1日、3年経験者研修2日、4年経験者研修1日を実施し、各研修の目的を達成することができた。</li> <li>ミドルリーダー研修(12年経験者研修)を4日実施し、中堅教員の育成を図った。学年経営・学校運営についての内容を充実させた。</li> <li>小・中・高教員研修(今年度の効果・成果)</li> <li>小・中・高教員研修(今年度の効果・成果)</li> <li>小・中・高教員研修(今年度の効果・成果)</li> <li>小・中・高教員研修(今年度の効果・成果)</li> </ul> <p>評価 H28年度の総合評価 B</p> <p>次年度 継続</p>				
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学校、各研究会において年間計画に沿って研究を実施した。</li> <li>研究推進校へ指導行事が訪問し、授業研究を行い、研究の推進を図った。</li> <li>初任者研修4日間、1年経験者研修3日間、2年経験者研修1日、3年経験者研修2日、4年経験者研修1日を実施し、各研修の目的を達成することができた。</li> <li>ミドルリーダー研修(12年経験者研修)を4日実施し、中堅教員の育成を図った。学年経営・学校運営についての内容を充実させた。</li> <li>小・中・高教員研修(今年度の効果・成果)</li> <li>小・中・高教員研修(今年度の効果・成果)</li> <li>小・中・高教員研修(今年度の効果・成果)</li> <li>小・中・高教員研修(今年度の効果・成果)</li> </ul> <p>評価 H28年度の総合評価 B</p> <p>次年度 継続</p>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	教育部署
122(812)	教育文化センター研究研修事業	教育部 教育指導課	
	事業目的 教育指導事務事業 (計画訪問・要請訪問)	変更(ある場合)	
	事業内容 教職員の資質能力や指導力の向上を目指す、今後の指導及び教育活動の充実を図る。	*H29年度より、道徳研究部会を新設、防災と自然研究部会は附会。成果は、研修講座で発信。 *H29年度より、道徳研修講座を2講座を追加	
	事業目的 本市の教育及びこれに係る文化の振興に関する専門的、技術的事項の研究調査を行う。 藤沢市教職員人材育成基本方針に基づき、教育関係職員に対して研修講座及び授業研究セミナー等を企画・実施する。 (研究部会の開催・研究紀要の発行・研修講座の開催・教育情報の提供)		
	事業内容 H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度		
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度	
	参加者数 約2,300人 満足度 平均4以上	→ → → → →	2,300人以上 平均4以上
	予算額(千円) 39,259 決算額(千円) 38,706 執行率(%) 98.6	37,757 35,488 94.0	37,758
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末の成果		
	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究部会(全11回) 11回</li> <li>教育課題研究会 11回</li> <li>国語科研究会 11回</li> <li>社会科研究会 11回</li> <li>算数・教科研究部会 20回 研究報告書発行</li> <li>理科研究部会 11回</li> <li>外国語活動・英語科研究会 11回</li> <li>防災と自然研究会 11回 研究報告書発行</li> <li>情報教育研究会 11回</li> <li>教育実践臨床研究会 13回 研究紀要発行</li> <li>研修講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般研修 8講座 専門研修 64講座</li> <li>土曜研修講座 14回</li> <li>授業力向上研修講座 48回(小6回、中38回)</li> </ul> </li> <li>第11回学習意識調査の周知・活用</li> <li>教育情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>「ふじさわ教育」編集委員会 3回</li> <li>「ふじさわ教育」第171号、172号、173号発行</li> <li>「学校文化講演会 教育シンポジウム」開催(平成27年度から平成28年度)</li> <li>藤沢市立大学 教授 鹿毛 雅治氏他 シンポジスト4名 8/18</li> <li>藤沢市総合かがく展 開催10/13～10/18 入賞者表彰式 10/15</li> <li>児童・生徒研究集録(第34集) 発行 3/27</li> <li>研究報告会 開催</li> </ul> </li> </ul>		
	評価 H28年度の総合評価 B		
	評価の理由 本年度の事業内容は概ね滞りなく進んだ。教育の今日的な課題に対応した研修講座の充実を図ったことにより、教職員の専門性を高め、裾野を広げることができた。 各部会の研究を通じ、研究員の指導力の向上につながった。 教育の今日的な課題への対応や、学校現場のニーズにこたえるため、教育委員会各課等と連携を深めていく。		
	今後の方向 H29年度事業計画 「教育の今日的な課題について検討を行い、その現状や実態を調査研究し、課題を明らかにする。」 ・研修講座では、道徳や外国語の授業づくりに重点を置いた内容を準備する。 ・日々の教育実践に必要な教職専門者としての研修を行い、教師の力量を高め、教育の質的向上を図る。また研修の一環として、学校からの要請により、学校支援を行うとともに、経験の少ない教職員を対象に、実践的指導力を高めるための基礎的な研修内容の充実を図る。 ・学校の教職員人材育成の取組を支援し、個々の指導力向上や組織的な学校運営の構築等を支援する。 ・経験の浅い教職員を対象とした土曜研修講座は、二重のの高いものやこれらから求められる内容を精選し、内容を充実を図る。 ・研究の成果や教材、調査の結果等を広く内外の教職員等に発信する。 ・事業内容について、教育委員会各課等との連携を深める。		

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	教育部署
131	教育指導事務事業 (計画訪問・要請訪問)	教育部 教育指導課	
	事業目的 指導主事の学校訪問により、学校の教育力や教員の指導技術・指導力の向上を図る。 ・学校が抱える諸課題について、支援を図り、学校とともに諸課題の解決を図る。		
	事業内容 ・学校教育の円滑な運営のため学校教育指導計画を作成し、指導主事による教育指導と学校問題解決支援員による学校支援を行う。 ・指導主事による計画訪問と要請訪問を行う。		
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度	
	小学校 12校 中学校 7校	小学校 12校 中学校 7校	小学校 10校 中学校 7校
	小学校 12校 中学校 7校	小学校 13校 中学校 6校	小学校 12校 中学校 7校
	実施	→ → → → →	→ → → → →
	予算額(千円) 13,613 決算額(千円) 13,040 執行率(%) 95.8	13,443 12,777 95.0	13,581
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末の成果		
	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導主事による計画訪問の実施(小学校12校、中学校7校)</li> <li>計画訪問の指導案に、支援教育の視点を導入して作成するよう指導した。</li> <li>学校からの要請に基づく訪問の実施(小・中・特別支援学校 適宜)</li> <li>指導主事による学校訪問の実施(小・中・特別支援学校 全校)</li> <li>学校問題解決支援員が保護者相談や学校が抱える諸問題に対応し、学校とともに効果的な解決を図った。</li> </ul>		
	評価 H28年度の総合評価 B		
	評価の理由 ・学校問題解決支援員の対応は非常に効果的であったが、対応するケースの複雑化により、対応時間が増加し、個々のケースに丁寧に対応することが難しくなっている。 ・計画訪問を通して、支援の必要な児童生徒への対応について、教職員の意識を高めている。 ・各学校においては、諸問題の未然防止に努めるとともに、初期対応を丁寧に行う必要があることから、特に学校問題解決支援員が指導主事とともに学校を訪問し、支援を行っている。 今後の方向 ・計画訪問を通して、支援の必要な児童生徒への対応について、教職員の意識を高めている。 ・各学校においては、諸問題の未然防止に努めるとともに、初期対応を丁寧に行う必要があることから、特に学校問題解決支援員が指導主事とともに学校を訪問し、支援を行っている。		
	課題・問題点 ・学校が抱える諸問題や、対応ケースの複雑化。 ・問題発生時における学校の初期対応を含めた管理職のマネジメント力の向上。		
	H29年度事業計画 ・計画訪問 小学校13校、中学校6校 ・要請訪問 適宜 ・学校問題解決支援員と指導主事の訪問 20校程度		

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 142	事業名 市内小・中・特別支援学校児童生徒の健全育成を図る。	事業目的 児童生徒指導関係事業				H31年度
		担当者 教育部 教育指導課 変更(ある場合)				
事業内容 ・学校 保護者 養育者 各種関係団体の連携協力をすすめて、児童生徒指導上の情報交換や対応についての検討協議を行う。 ・いじめ、不登校等の児童生徒指導上の諸問題については、上記関係機関との連携を深め、研修等を通じた相談機能の充実を図ることにより、未然防止・早期発見・早期指導に努める。 ・小学校に児童支援担当教諭を配置し、児童支援・指導体制の構築と充実を図る。		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		●担当者会議	→	→	→	→
実施		●サポート会議(必要に応じて実施)	→	→	→	→
実施		●児童支援担当教諭の配置	→	→	→	→
予算額(千円)		11校で試行 (県加配校含む)	233	233	35校に配置 (県加配校含む)	
決算額(千円)		233	109	178		
執行率(%)		46.8	36.9			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果		児童支援担当教諭は、H28年度は、16校(県加配校を含めて)で実施することができた。		H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・児童生徒指導対策支援会議を開催した。(1回) ・「児童生徒指導の手引き(改訂版)」を新規採用及び市外からの転任採用教職員に配付した。 ・児童支援担当教諭の全配置を7回、協議会を7回、研修会を5回開催し情報交換や危機管理などの研修を行った。特に、中学校や配置校同士の情報交換を行うことで、それぞれの先進的な取り組みについて共有を図る事ができた。		評価の理由 ・いじめ、暴力行為、不登校等の問題に対して、早期発見・早期対応を図り、課題解決に努めた。 ・児童生徒指導の手引き(改訂版)を新規採用及び市外からの転任採用教職員に配付した。 ・児童生徒の健全育成を図り、いじめ、暴力行為が不登校の件数の減少に努める。 ・児童支援担当教諭の全配置を7回、協議会を7回、研修会を5回開催し情報交換や危機管理などの研修を行った。特に、中学校や配置校同士の情報交換を行うことで、それぞれの先進的な取り組みについて共有を図る事ができた。
H29年度事業計画		・児童生徒指導に課題を有する学校に対して、保護者、警察、各種関係団体の連携協力を積極的に進めるために児童生徒指導対策支援会議、支援サポート会議を実施していく。 ・児童生徒指導担当者のスキルアップに向けた研修会等を実施する。 ・小学校28校に児童支援担当教諭を配置し、児童支援・指導体制の構築と充実を図る。				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 141	事業名 人権・環境・平和教育関係事業	事業目的 人権・環境・平和についての知識や理念を身につけた児童生徒の育成を図る。				H31年度
		担当者 教育部 教育指導課 変更(ある場合)				
事業内容 児童生徒及び教職員を対象にして、人権教育・環境教育・平和教育の啓発と研修を行う。		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		●人権・環境・平和教育担当者会(55校) ●スクールセーフティ等防止リーフレット配付(55校) ●子どもの権利条約啓発リーフレット配付(55校)	→	→	→	→
実施		●人権・環境・平和教育担当者会(55校) ●スクールセーフティ等防止リーフレット配付(55校) ●子どもの権利条約啓発リーフレット配付(55校)	606	606	606	
予算額(千円)		567	605	99.8		
決算額(千円)		567	605	99.8		
執行率(%)		100.0	99.8			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果		H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・人権・環境・平和教育担当者会を開催し、その中で、環境教育については、出前授業、モビリティマネジメント教育の紹介等を行った。また、人権教育については、体験型アクティビティを通して、担当者がファシリテーターとなれるよう支援した。 ・障がい者の人権をテーマにした講演会を開催した。 ・セーフティ等防止リーフレットの配付(55校) ・中学生用リーフレットにテロ防止の内容を加えた。 ・子どもの権利条約啓発リーフレットの配付(55校) ・チャレンジ「かわせみ」実践状況の報告(55校) ・人権教育移動教室を実施した(4校) 上記の取組を通して、人権教育・環境教育等の推進を図った。		H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・人権・環境・平和教育担当者会ができた。人権・環境・平和教育担当者会を通して人権意識を高めることができた。 ・人権・環境・平和教育担当者会においては、計画通り実施できた。今後さらに内容の検討を行い、次年度も引き続き企画していく。 ・実践・活動の記録集においては、一層の活用がなされるよう書式等の検討を引き続き行う。		評価の理由 ・人権・環境・平和教育担当者会ができた。人権・環境・平和教育担当者会を通して人権意識を高めることができた。 ・人権・環境・平和教育担当者会においては、計画通り実施できた。今後さらに内容の検討を行い、次年度も引き続き企画していく。 ・実践・活動の記録集においては、一層の活用がなされるよう書式等の検討を引き続き行う。
H29年度事業計画		・人権・環境・平和教育担当者会の実施(2回) ・セーフティ等防止リーフレットの配付(55校) ・子どもの権利条約啓発リーフレットの配付(55校) ・チャレンジ「かわせみ」実践状況の報告(55校) ・人権教育移動教室の実施(4校)				
課題・問題点		・児童生徒指導に課題を有する学校に対して、保護者、警察、各種関係団体の連携協力を積極的に進めるために児童生徒指導対策支援会議、支援サポート会議を実施していく。 ・児童生徒指導担当者のスキルアップに向けた研修会等を実施する。 ・小学校28校に児童支援担当教諭を配置し、児童支援・指導体制の構築と充実を図る。				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育総務課		
143	八ヶ岳野外体験教室の充実事業	教育総務課	担当課	教育総務課		
	事業目的	変更(ある場合)				
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>八ヶ岳周辺の大自然の中で各学級が行う教育活動の充実を図ることと、児童生徒の個性や自主性・創造性を伸ばし、心豊かに育てられる。市民等の野外体験施設としての利用に供することで自然環境に触れられる場を提供する。</li> <li>学校教育施設として、八ヶ岳周辺の大自然の中で各学級が行う自主的・創造的な教育活動を展開し、また、市民団体等の野外体験施設として活用する。</li> <li>保全計画に基づいて施設の老朽化に対応していく。</li> </ul>				
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		実施	→	→	→	→
	予算額(千円)	227,260	226,871	232,267		
	決算額(千円)	225,314	220,212			
	執行率(%)	99.1	97.1			
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	体験活動を行うことにより心豊かな児童生徒を育成が図れた。市民等が自然環境に触れられる場を提供できた。				
	H28年度進捗状況(今年度の効果・成果)	指定管理者と連携しながら、学校利用、市民等の利用を進めることができた。 ・藤沢市立学校55校の学校利用があり、児童生徒の個性や自主性・創造性を伸ばすことができた。また、中学校7校は冬季利用で冬の大自然を体験し、厳しい自然の中で藤沢では得られない体験をした。 ・指定管理者の自主事業「子どもだけのわいわいキャンプ」では藤沢市の子どもたちだけでなく、茅ヶ崎市・寒川町に在住・在学の小・中学生も一緒に自然体験や仲間とのふれあいをすることができた。 ・施設管理の面では、厨房の床の工事等経年劣化に伴う修繕を行うことができた。 ・指定管理者に協力を依頼し、休館日の月曜日を多く開けることで、2校での同時利用を減らすことができた。				
	評価の理由	指定管理者と連携しながら、学校利用や市民等の利用を進め、平成28年度の目標は達成できたと考えられる。  児童生徒の体験活動施設としての重要性は以前にも増して高まってきた。 ・藤沢市内の学校利用日以外について、市民等の利用拡大に向け、積極的に情報提供していく。				
	今後の方向	児童生徒の体験活動施設としての重要性は以前にも増して高まってきた。 ・藤沢市内の学校利用日以外について、市民等の利用拡大に向け、積極的に情報提供していく。				
	H29年度事業計画	指定管理者と連携しながら、学校利用の充実をはかることと市民等との利用の促進に努める。 ・指定管理者と連携し一般利用者の拡大に向けた具体的な取組を行う。 ・施設の修繕計画をもとに、施設の長寿命化、安全確保のための修繕を行っていく。				
	課題・問題点	・一般市民利用者の拡大に向けた取組が必要である。 ・体験施設も開設から20年以上が経過し、施設の老朽化が課題となっている。 ・周知活動の充実				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育総務課		
144	学校給食をとおしての食育推進事業	教育総務課	担当課	教育総務課		
	事業目的	変更(ある場合)				
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活における食事について正しい理解を深める。</li> <li>望ましい食習慣を養う。</li> </ul>				
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		36校	→	→	→	→
	予算額(千円)	0	0	0		
	決算額(千円)	0	0			
	執行率(%)	0	0			
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	「食に関する年間指導計画」に基づいた指導を実施し、全小中学校においてほぼ統一された指導を実施できた。 ・「食物除去の指示書」の提出				
	H28年度進捗状況(今年度の効果・成果)	H28年度の学校給食と、各校で作成した「食に関する年間指導計画」に基づいた食育の実施 ・毎日「食に関する年間指導計画」に基づいた指導を実施 ・藤沢市立学校給食における食物アレルギーの対応について、食物アレルギーの申し出の手続きや除去食、一部代替食の取り扱いについて、全小中学校および白浜養護学校で統一して実施 ・学校給食におけるアレルギー対応は、27年度から全学年において「食物除去の指示書」の使用をもって実施することとした。				
	評価の理由	H28年度の学校給食と、各校で作成した「食に関する年間指導計画」に基づいた食育の実施 ・毎日「食に関する年間指導計画」に基づいた指導を実施 ・藤沢市立学校給食における食物アレルギーの対応について、食物アレルギーの申し出の手続きや除去食、一部代替食の取り扱いについて、全小中学校および白浜養護学校で統一して実施 ・学校給食におけるアレルギー対応は、27年度から全学年において「食物除去の指示書」の使用をもって実施することとした。				
	今後の方向	学校給食を「生きが教材」として活用し、授業等を通して、日常生活において望ましい食習慣を養い、生涯にわたって健康的な生活を送るための自己管理能力を養うよう食育の推進を行う。				
	H29年度事業計画	「食に関する年間指導計画」に基づいた食育の実施 ・栄養教諭と連携し、全小中学校においてほぼ統一された指導を実施できる。基本の食育チームメンバーの育成を決定する。 ・食物アレルギーへの対応は、医師が記入をした「食物除去の指示書」の提出を受け、管理職・学級担任・養護教諭・栄養教諭または栄養師と保護者が面談を行い、対応についてを確認する。 ・研究グループを立ち上げ、食物アレルギーへの対応における、学校差の是正に向けて検討する。				
	課題・問題点	除去食および一部代替食の取り扱いについては、統一して実施されたが、学校の状況(対応教、食数、人員、設備等)により、対応に違いが出てきている。 ・「食に関する年間指導計画」は、学校ごとに作成をし、授業等を通して学年に応じた食育の指導を行っている。各年度で指導する内容の基本は統一する必要があると考ええる。				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 145	事業名 環境教育推進事業	担当部 環境事業センター	担当課 変更(ある場合)															
<p>保育園・幼稚園の幼年期や小学校4年生の学童期から環境教育を実施することにより、循環型社会に対する意識の向上を図る。</p>																		
<p>事業目的 ごみの排出抑制や減量、再利用、再生利用の推進を図るため、小学校4年生や保育園・幼稚園児を対象としたごみの減量・資源化のため、実際に塵芥取集事を持ち込み啓蒙教育事業を行う。 ・小学校36校(私立小学校1校を含む)、保育園・幼稚園</p>																		
<p>事業内容 ごみの減量・資源化の啓蒙活動を幼少期から実施すること。ごみの分別等の意識の向上を図られた。 ・保育園・幼稚園の啓蒙事業として、わかりやすく、楽しい事業を実施。 ① コミュニケーションロボット【バルロ】を3園で使用。 ② 着ぐるみを使用した寸劇での説明。 ・学校や保育園・幼稚園での先生との意見交換を実施し、効果的な啓蒙事業を実施。 *小学校 36校 3,891人 *保育園・幼稚園 22園 1,546人</p>																		
<p>H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度</p> <p>●小学校・保育園・幼稚園啓蒙教育事業</p>																		
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <tr> <td>実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)</td> <td>小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)</td> <td>小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)</td> <td>小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)</td> <td>小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)</td> </tr> </table>				実施	→	→	→	→	小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)	小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)	小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)	小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)	小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)					
実施	→	→	→	→														
小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)	小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)	小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)	小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)	小学校(36校)、保育園・幼稚園(18園)														
<table border="1"> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>81</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>0</td> <td>81</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>0.0</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				予算額(千円)	81	81	81		決算額(千円)	0	81			執行率(%)	0.0	100		
予算額(千円)	81	81	81															
決算額(千円)	0	81																
執行率(%)	0.0	100																
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果</p> <p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>・ごみの減量・資源化の啓蒙活動を幼少期から実施すること。ごみの分別等の意識の向上を図られた。 ・保育園・幼稚園の啓蒙事業として、わかりやすく、楽しい事業を実施。 ① コミュニケーションロボット【バルロ】を3園で使用。 ② 着ぐるみを使用した寸劇での説明。 ・学校や保育園・幼稚園での先生との意見交換を実施し、効果的な啓蒙事業を実施。 *小学校 36校 3,891人 *保育園・幼稚園 22園 1,546人</p>																		
<p>評価の理由</p> <p>・計画どおりの事業を行うことができた。 ・事業実施参加者も目標値を概ね達成でき、内容も充実しており、事業が進展していると考えられる。</p>																		
<p>今後の方向</p> <p>・中学校・高校・大学に事業を拡大し、ごみの減量・資源化の必要性を繰り返し啓蒙する。 ・小学生から質問の多い内容を、「ごみのなぜ?」をキスト化して配布し一層の啓蒙を図る。</p>																		
<p>H29年度事業計画</p> <p>・コミュニケーションロボットを活用した事業展開を図る。 ・「ごみのなぜ?」のテキスト化を実施する。</p>																		

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 146	事業名 いじめ暴力防止対策事業	担当部 教育部	担当課 教育指導課																									
<p>事業目的 いじめや体罰に対する未然防止や早期発見・対応を図り、児童生徒が安心して安全な学校生活を送ることを目指す。</p>																												
<p>事業内容 平成27年4月施行の「藤沢市子どもをいじめから守る条例」に基づき、いじめ防止対策を推進する。 ・「いじめ防止プログラム」「いじめ防止教室」を実施し、いじめの未然防止を図る。 ・いじめ相談ホットライン「いじめ相談メール」を通して、児童生徒、保護者からの相談に対応する。 ・いじめ防止対策担当スクールカウンセラーを配置し、学校からの要請に対応する。 ・いじめ防止啓発リーフレットを作成し、新入学児童の家庭に配付する。</p>																												
<p>H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度</p> <p>●いじめ防止プログラム・いじめ防止教室 ●いじめ防止対策担当スクールカウンセラーの学校訪問</p>																												
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <tr> <td>実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>15,184</td> <td>14,296</td> <td>13,889</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>13,475</td> <td>12,397</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>88.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				実施	→	→	→	→	実施	→	→	→	→	予算額(千円)	15,184	14,296	13,889		決算額(千円)	13,475	12,397			執行率(%)	88.7			
実施	→	→	→	→																								
実施	→	→	→	→																								
予算額(千円)	15,184	14,296	13,889																									
決算額(千円)	13,475	12,397																										
執行率(%)	88.7																											
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果</p> <p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>・事例リーフレットを小学校1年、4年、中学校1年に配付した。 ・いじめ防止対策担当スクールカウンセラーは学校訪問6校、いじめ関係学校相談25回、いじめ関係以外学校相談17回、研修会 25回、生徒会訪問2校、等の活動をした。 ・いじめ相談ホットラインは24時間365日体制で開設している。 ・いじめ防止プログラムを小学校6校、中学校8校、いじめ防止教室を小学校6校、中学校3校で実施した。 ・平成29年1月21日に「stopいじめ! 中学生の集いinふじさわ」を開催した。生徒が司会を担当するなど内容がさらに充実した。 ・小学校1年生保護者向け、小学校4年生向け、中学校1年生向けに「いじめ防止の啓発リーフレット」を作成配付した。 ・「藤沢市いじめ問題対策連絡協議会」を4回開催し、本市のいじめ防止対策の方向性を検討した。 ・体罰の実態を把握するとともに、未然防止の目的で体罰調査を実施した。</p>																												
<p>評価の理由</p> <p>・いじめ防止プログラム実施校においては、「児童生徒による自治的活動として定着しており、副意工夫ある取組が展開されている」。 ・年々体罰の報告件数は減少している。</p>																												
<p>今後の方向</p> <p>・各学校においては、いじめ防止プログラムの他に児童会や生徒会を中心に独自のいじめ防止対策を実施していることから、本プログラムの実施にこだわることなく、各校の取組を尊重していく。また、プログラムを実施を希望する学校に対しては、これまで同様提供していく。</p>																												
<p>H29年度事業計画</p> <p>・いじめ防止プログラムについては、15校、いじめ防止教室については、7校で実施予定。 ・いじめの啓発リーフレットはこれまで同様3種の作成と、藤沢市子どもをいじめから守る条例啓発リーフレットを作成配付し啓蒙に努める。</p>																												

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業目的	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
147(722)	人権施策推進事業	「藤沢市人権施策推進指針」の基本理念である「人権を大切にし、『人権文化』を育むまちづくり」に向けて、人権尊重の精神が社会や生活の中に定着し、一人ひとりの市民が尊重され、あらゆる人が共に生きる社会の実現を目指す。					
		事業内容 市民が、多岐にわたる人権課題について理解を深めることができるよう、様々な機関と連携し講演会等の啓発事業を実施するとともに、人権啓発リーフレットを作成し、公共施設及び人権相談機関や啓発事業等を通じて配布するなど、市民に向けて人権意識の普及・啓発を図る機会を提供する。					
		また、子どものいじめ防止について、社会全体への意識啓発に努めたとともに、市立の小・中・特別支援学校において、重大事態が発生した場合の市長部局による再調査を目的に、附随機関として藤沢市いじめ問題再調査委員会を設置し運営を図る。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
			6,883	7,468	6,659		
予算額(千円)			6,177	6,308			
決算額(千円)			897	845			
執行率(%)							
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果			市人権啓発講演会ほか、地域・企業等と連携した啓発事業を実施した。 ・藤沢市子どもをいじめから守る啓発講演会1の ほか、リーフレット等を作成・配布した。 ・いじめ問題再調査委員会を実施した。				
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			「人権の花運動」「中学生人権作文コンテスト」「人権教室出前授業」等を通じて、多くの子どもたちに、自分の身近なところから人権について考える機会を提供することできた。 ・藤沢市子どもをいじめから守る条例(全校)で実施した。 ・6月9日校長会にて協力依頼 ・参加校 計20校 応募数2,666編 ・6月11日の「人権擁護委員の日」にあわせて事業を実施した。 ・人権教室出前授業 講話小 7月19日、高谷小2月28日、湘南学園小 3月13日 ・高齢者施設における人権啓発事業・特設相談 ・スポンサー少年団指導者講習会 12月3日 ・人権週間事業 ・第31回藤沢市人権啓発講演会 12月17日 ・「7-7」オリンピック・パラリンピックに見る世界」講師:安田 震一氏 ・講演会のなかで中学生人権作文コンテスト入賞者の朗読を行った。 ・地域人権啓発講演会 1月28日 総合市民図書館 ・藤沢市子どもをいじめから守る啓発事業 ・子どもをいじめから守る啓発講演会 6月25日 ・御所見地区子どもを考える講演会 7月16日 ・*市庁舎講習会 11月27日 ・いじめ防止啓発リーフレット・ポスターの作成、配布 ・*高等学校1年生及び啓発事業で市民に配布した。 ・いじめ問題再調査委員会 8月25日、9月13日 ・*重大事態が起きた場合に備え、他の自治体の事例を調査するとともに、教育委員会と連携を図った。				
評価の理由			「人権の花運動」「中学生人権作文コンテスト」「人権教室出前授業」等を通じて、多くの子どもたちに、自分の身近なところから人権について考える機会を提供することできた。 ・藤沢市子どもをいじめから守る条例(全校)で実施した。 ・6月9日校長会にて協力依頼 ・参加校 計20校 応募数2,666編 ・6月11日の「人権擁護委員の日」にあわせて事業を実施した。 ・人権教室出前授業 講話小 7月19日、高谷小2月28日、湘南学園小 3月13日 ・高齢者施設における人権啓発事業・特設相談 ・スポンサー少年団指導者講習会 12月3日 ・人権週間事業 ・第31回藤沢市人権啓発講演会 12月17日 ・「7-7」オリンピック・パラリンピックに見る世界」講師:安田 震一氏 ・講演会のなかで中学生人権作文コンテスト入賞者の朗読を行った。 ・地域人権啓発講演会 1月28日 総合市民図書館 ・藤沢市子どもをいじめから守る啓発事業 ・子どもをいじめから守る啓発講演会 6月25日 ・御所見地区子どもを考える講演会 7月16日 ・*市庁舎講習会 11月27日 ・いじめ防止啓発リーフレット・ポスターの作成、配布 ・*高等学校1年生及び啓発事業で市民に配布した。 ・いじめ問題再調査委員会 8月25日、9月13日 ・*重大事態が起きた場合に備え、他の自治体の事例を調査するとともに、教育委員会と連携を図った。				
今後の方向			「藤沢市人権施策推進指針」に基づき、多岐にわたる人権に関する個別課題について、地域や教育委員会、藤沢市人権擁護委員会等と連携して啓発活動を行い、市民に対する意識啓発の機会の充実を図る。				
H29年度事業計画			・藤沢市子どもをいじめから守る条例(周知のため)ポスター、リーフレットの作成、並びに掲示・配布 ・第32回藤沢市人権啓発講演会 ・地域人権啓発講演会 ・個別課題をテーマとした講座等 ・職場体験型職員人権研修 ・人権の花運動(市立7小学校・私立1小学校と連携して実施) ・中学生人権作文コンテスト(市内公私立中学校と連携して実施) ・人権擁護委員の日事業(特設人権相談の開設、啓発用補講の設置) ・人権啓発出前講座(人権教室出前授業、企業等の研修) ・高齢者施設での啓発活動(人権啓発活動、特設人権相談) ・人権週間事業(街頭での啓発キャンペーン、特設相談の開設、人権メッセージパネル展、横断幕の設置等) ・ふじさわ人権協議会の運営				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業目的	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
151	特別支援教育推進事業	特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する教育環境を改善し、特別支援教育の充実を図る。					
		事業内容 ・特別支援学級、通級指導教室を運営する。 ・特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、介助員、学校看護介助員を派遣する。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
			76,630	75,336	75,411		
予算額(千円)			73,341	73,130			
決算額(千円)			957				
執行率(%)							
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果			特別な教育的支援を必要とする児童生徒への派遣 ●特別支援学級、通級指導教室の運営 ●特別支援学級、通級指導教室の運営				
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			・全55校で、教育活動の支援のために介助員派遣を行った。教育職員免許状を有する介助員は、校長が必要と認めた場合には、担任の指示のもと、児童生徒の学習の補助を行った。 ・通常の学級に在籍する支援や介助を要する児童生徒(小)学校248名、中学校57名に、介助員を派遣した。 ・特別支援学級では、全ての学級に介助員を派遣した。 ・宿泊行事については、小学校は72名、中学校は42名の介助員を派遣した。 ・中学校長会要望により、予算措置を受けて、中学校に配当する教育活動の支援の時間を増加した。 ・年間2回介助員派遣の執行状況調査を行い、介助員派遣事業予算の有効な活用を図った。 ・全ての学校において、介助員派遣を行い、又、医療的ケアが必要な児童生徒に対して、通常級を含めて、学校看護介助員の派遣を行うことにより、特別の支援が必要な児童生徒が、安心して学校生活を送ることができるよう支援を図った。 H29年度事業計画 ・通常の学級に在籍する児童生徒や手厚い介助が必要な児童生徒が増加していることから、介助員や学校看護介助員を充分に派遣するための予算の確保を行うと共に、各学校や児童生徒の実態に合わせ、必要な支援を行うことができよう、有効な方法を検討する。 今後の方向 ・広く支援を必要としている児童生徒や手厚い介助が必要な児童生徒が増加していることから、介助員や学校看護介助員を充分に派遣するための予算の確保を行うと共に、各学校や児童生徒の実態に合わせ、必要な支援を行うことができよう、有効な方法を検討する。 H29年度事業計画 ・通常の学級に在籍する児童生徒や手厚い介助が必要な児童生徒が増加していることから、介助員や学校看護介助員を充分に派遣するための予算の確保を行うと共に、各学校や児童生徒の実態に合わせ、必要な支援を行うことができよう、有効な方法を検討する。				
課題・問題点			・様々な支援が必要な児童生徒が増えていることから、各学校や児童生徒の実態に合わせて、必要な支援を行うことができるよう、有効な方法を検討する必要がある。 ・広く支援を必要としている児童生徒や手厚い介助が必要な児童生徒が増加していることから、学校が申請する介助員派遣時間枠は予算を上回る状況である。 ・介助員の謝礼金900円/時の金額について、他と比較して、妥当かどうか検討する必要がある。 ・車いすの介助が出来る介助員や、男性の介助員を確保することが難しく、各学校の介助員の情報共有が必要である。 ・医療的ケアが必要な児童生徒の情報収集を早い内から収集する必要がある。				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	担当部	教育部
152	学校教育相談センター事業			教育指導課
				変更(ある場合)
<p>支援相談の必要な児童生徒や保護者が必要な時に相談を受けることができる環境を整備し、一人ひとりが楽しく学校へ通うことができるよう、相談体制の充実を図る。</p> <p>事業目的</p> <p>市内小・中・特別支援学校児童生徒の健全育成を図る。</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童生徒、保護者への相談支援</li> <li>・スクールカウンセラーを全小中学校へ週1日配置</li> <li>・次年度就学予定児に対する就学相談活動</li> <li>・相談支援教室での不登校児童生徒への集団適応指導及び保護者相談</li> <li>・スクールソーシャルワーカーの学校への派遣</li> <li>・特別支援教育専門カウンセラーによる学校巡回</li> <li>・関係機関との連携協力、相談機能の充実を図り、未然防止、早期発見、早期指導に努める。</li> <li>・学校教育相談センターでの相談支援を行う。</li> </ul>				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	20人 21人 → 2人 (※1人増員)	25人 → 3人	→	→
予算額(千円)	148,359	153,725	→	→
決算額(千円)	142,077	148,125	→	→
執行率(%)	95.3			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末の 成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援相談の必要な児童生徒や保護者が、必要な時期に必要な場面で支援が受けられるよう、学校及び相談センターでの相談活動の充実を図った。</li> <li>・スクールカウンセラーの配置を、小・中学校の大規模校5校については2日、12校については15日の配置とした。</li> <li>・スクールソーシャルワーカーの2名体制により相談活動の充実を図った。</li> <li>・就学相談員による相談活動、就学支援委員会を通して、きめ細やかな就学相談を行った。</li> <li>・相談支援教室において、集団適応指導及び児童生徒保護者相談を行い、不登校児童生徒の支援の充実を図った。</li> </ul>			
予算額(千円)	0	0	0	0
決算額(千円)	0	0	0	0
執行率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通りの事業を行うことができた。また、継続して参加している保護者がいることや、年々参加人数が増えていることは、本事業が保護者の負担軽減につなげられているととらえられる。</li> <li>・幅広い対象年齢及び多岐にわたる保護者ニーズに対応できるような相談体制を整える必要がある。</li> <li>・特別支援学校、特別支援学級の児童生徒の相談が増加していることから、より専門的に環境を整えるような特別支援専門のスクールカウンセラーの配置が必要である。</li> <li>・不登校児童生徒の支援を図るためには、小学生から中学3年生までの年齢層に対応可能な環境整備及び人的な配置が必要である。</li> </ul>			
予算額(千円)	0	0	0	0
決算額(千円)	0	0	0	0
執行率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通りの事業を行うことができた。また、継続して参加している保護者がいることや、年々参加人数が増えていることは、本事業が保護者の負担軽減につなげられているととらえられる。</li> <li>・幅広い対象年齢及び多岐にわたる保護者ニーズに対応できるような相談体制を整える必要がある。</li> <li>・特別支援学校、特別支援学級の児童生徒の相談が増加していることから、より専門的に環境を整えるような特別支援専門のスクールカウンセラーの配置が必要である。</li> <li>・不登校児童生徒の支援を図るためには、小学生から中学3年生までの年齢層に対応可能な環境整備及び人的な配置が必要である。</li> </ul>			
予算額(千円)	0	0	0	0
決算額(千円)	0	0	0	0
執行率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通りの事業を行うことができた。また、継続して参加している保護者がいることや、年々参加人数が増えていることは、本事業が保護者の負担軽減につなげられているととらえられる。</li> <li>・幅広い対象年齢及び多岐にわたる保護者ニーズに対応できるような相談体制を整える必要がある。</li> <li>・特別支援学校、特別支援学級の児童生徒の相談が増加していることから、より専門的に環境を整えるような特別支援専門のスクールカウンセラーの配置が必要である。</li> <li>・不登校児童生徒の支援を図るためには、小学生から中学3年生までの年齢層に対応可能な環境整備及び人的な配置が必要である。</li> </ul>			

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	担当部	教育部
153	児童生徒指導関係事業			教育指導課
				変更(ある場合)
<p>市内小・中・特別支援学校児童生徒の健全育成を図る。</p> <p>事業目的</p> <p>市内小・中・特別支援学校児童生徒の健全育成を図る。</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童生徒及びその保護者を対象に各種の取組を行う。</li> <li>・関係機関との連携協力、相談機能の充実を図り、未然防止、早期発見、早期指導に努める。</li> <li>・学校教育相談センターでの相談支援を行う。</li> </ul>				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	年4回実施	年4回実施	→	→
予算額(千円)	0	0	0	0
決算額(千円)	0	0	0	0
執行率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通りの事業を行うことができた。また、継続して参加している保護者がいることや、年々参加人数が増えていることは、本事業が保護者の負担軽減につなげられているととらえられる。</li> <li>・幅広い対象年齢及び多岐にわたる保護者ニーズに対応できるような相談体制を整える必要がある。</li> <li>・特別支援学校、特別支援学級の児童生徒の相談が増加していることから、より専門的に環境を整えるような特別支援専門のスクールカウンセラーの配置が必要である。</li> <li>・不登校児童生徒の支援を図るためには、小学生から中学3年生までの年齢層に対応可能な環境整備及び人的な配置が必要である。</li> </ul>			
予算額(千円)	0	0	0	0
決算額(千円)	0	0	0	0
執行率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通りの事業を行うことができた。また、継続して参加している保護者がいることや、年々参加人数が増えていることは、本事業が保護者の負担軽減につなげられているととらえられる。</li> <li>・幅広い対象年齢及び多岐にわたる保護者ニーズに対応できるような相談体制を整える必要がある。</li> <li>・特別支援学校、特別支援学級の児童生徒の相談が増加していることから、より専門的に環境を整えるような特別支援専門のスクールカウンセラーの配置が必要である。</li> <li>・不登校児童生徒の支援を図るためには、小学生から中学3年生までの年齢層に対応可能な環境整備及び人的な配置が必要である。</li> </ul>			
予算額(千円)	0	0	0	0
決算額(千円)	0	0	0	0
執行率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通りの事業を行うことができた。また、継続して参加している保護者がいることや、年々参加人数が増えていることは、本事業が保護者の負担軽減につなげられているととらえられる。</li> <li>・幅広い対象年齢及び多岐にわたる保護者ニーズに対応できるような相談体制を整える必要がある。</li> <li>・特別支援学校、特別支援学級の児童生徒の相談が増加していることから、より専門的に環境を整えるような特別支援専門のスクールカウンセラーの配置が必要である。</li> <li>・不登校児童生徒の支援を図るためには、小学生から中学3年生までの年齢層に対応可能な環境整備及び人的な配置が必要である。</li> </ul>			



平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 154	事業名 教育指導事務事業 (学習指導員による補習授業)	担当部 教育部	担当課 教育指導課	子ども青少年部 子ども家庭課	
事業目的 学校が抱える諸課題について、支援を図り、学校とともに諸課題の解決を図る。		変更(ある場合)			
事業内容 生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図るため、「学習指導員」による補習授業を行う。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施	→	→	→	→	→
予算額(千円)	3,211	3,211	3,211		
決算額(千円)	2,927	2,779			
執行率(%)	91.2	86.5			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	中学校全19校で実施 ・総時間数、2,698時間				
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	各学校が、子どもたちのニーズに合わせて、放課後や長期休業を利用して学習支援をすることができた。個別や少人数での指導をすることで、生徒の学習意欲へとつなげることができた。				
H28年度の理由	・年次計画どおり全校で実施することができた。生徒の基礎学力の定着の面で成果をあげている。				
今後の方向	・各学校の状況にあわせ、柔軟に対応しながら、生徒の基礎学力の確実な定着につなげていきたい。				
H29年度事業計画	・学習指導員の選任(学校長) ・学習指導員による放課後、長期休業中の学習支援				
課題・問題点	・年間を通して計画的な支援ができるように、学習指導員を確保する。 ・学習会について生徒に周知し、希望する生徒が参加できるように運営する。				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 155	事業名 子ども発達支援事業	担当部 子ども青少年部	担当課 子ども家庭課	子ども青少年部 子ども家庭課	
事業目的 関係機関の連携を図られることにより、障がい児等がライフステージに応じた適切な支援を受けられることができる。		変更(ある場合)			
事業内容 障がい児や発達障がい児等が、ライフステージに応じた適切な支援を受けられるようにするため、ネットワークの形成や情報共有するなどの子どもサポートファイルの普及・活用の推進を行う。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
配付数 120冊	→	→	→	→	→
予算額(千円)	1,686	1,616			
決算額(千円)	1,615	1,568			
執行率(%)	95.8	97			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	子どもサポートファイルの配付数146冊				
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	・障がいのある、または特別な支援が必要な子どもに対して、ライフステージの委わり目となる年長児のタメシや就学相談の中で、子どもサポートファイルを配付した。 ・平成28年度より携帯版についても配付を開始したが、平成28年度以前に子どもサポートファイルを配付し、携帯版を持つていない方については、希望者に携帯版の配付を行った。 ・児童発達支援事業所の会議や保育園の園長会等で、子どもサポートファイルについて説明をおこない、支援者や協力者に周知した。				
H28年度の理由	・特別な支援を必要とする子ども等に対して子どもサポートファイル配付することができたため。 ・支援者や協力者に広く周知することができた。				
今後の方向	・特別な支援を必要とする子ども等に対して子どもサポートファイルを広くいきわたらせる。 ・新規の事業所等に周知する。				
H29年度事業計画	・子どもサポートファイルの必要性について、保護者のみでなく、支援者や協力者にも広く周知する。 ・子どもサポートファイルの利用方法を確認することで、サポートファイルの必要性を理解してもらおう。				
課題・問題点	・H29年度事業計画 ・子どもサポートファイルの必要性や利用方法について広く周知する。				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	変更(ある場合)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
161	教育課程推進事業(キャリア教育)	教育部	教育指導課						
<p>事業目的                      ・学習指導要領に前記、各学校において、学校や地域の実態を踏まえた創意工夫ある教育課程実施のため、特色ある教育課程を編成する。                      ・「学校教育ふじさわビジョン」の理念に沿った学校教育目標の具現化を図ることにより、実りある教育の実践を行うことかできる。</p> <p>事業内容                      ・小・中学校それぞれそれぞれの発達段階に応じたキャリア教育を推進する。                      ・中学校において、職場体験を実施する。                      ・小・中学校において、職業調べ学習・職場見学学習・職業講演等を実施する。</p>					<p>H27年度                      ●職場見学学習                      ●職業講演等</p> <p>実施 → → → → →</p> <p>予算額(千円) 0 0 0</p> <p>決算額(千円) 0 0 0</p> <p>執行率(%) 0.0 0.0</p> <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)                      ・市立全中学校(19校)で職業調べを行った。                      ・市立中学校(18校)で職場体験学習を行った。                      ・小学校でも職業調べを行い、職業に関する意識を高められた。</p>				
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p>					<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p>				
<p>予算額(千円)</p>					<p>予算額(千円)</p>				
<p>決算額(千円)</p>					<p>決算額(千円)</p>				
<p>執行率(%)</p>					<p>執行率(%)</p>				
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p>					<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p>				
<p>評価の理由</p>					<p>評価の理由</p>				
<p>今後の方向</p>					<p>今後の方向</p>				
<p>H29年度事業計画</p>					<p>H29年度事業計画</p>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	変更(ある場合)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
162	技能体験事業(学校訪問・職場体験実施) (技能職体験事業(学校訪問事業))	教育部	産業労働課						
<p>事業目的                      ・小学生を含めた若年者に対して、顕微鏡された技能を披露し、実際に体験してもらうことで、技能職への理解を深めるとともに、職業意識の形成を図る。</p> <p>事業内容                      ・「学校訪問事業」小・中学校に職人に訪問し、働くことや仕事内容の説明、実技披露を行い、実際に小中学生も体験をする。                      ・「職場体験」体験先の職場の確保に難航している小中学校に対して、藤沢市技能職団体連絡協議会と連携して確保に努める。</p>					<p>H27年度                      ●学校訪問事業</p> <p>実施 → → → → →</p> <p>予算額(千円) 500 500</p> <p>決算額(千円) 400 420</p> <p>執行率(%) 80.0 84.0</p> <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)                      ・小中学校、中学校6校への訪問実施に対するH28年度末の成果</p>				
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p>					<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p>				
<p>予算額(千円)</p>					<p>予算額(千円)</p>				
<p>決算額(千円)</p>					<p>決算額(千円)</p>				
<p>執行率(%)</p>					<p>執行率(%)</p>				
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p>					<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p>				
<p>評価の理由</p>					<p>評価の理由</p>				
<p>今後の方向</p>					<p>今後の方向</p>				
<p>H29年度事業計画</p>					<p>H29年度事業計画</p>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 163	事業名 障がい者就労支援事業 (特別支援学校就労体験)	担当部 経済部	担当課 産業労働課
事業目的 障がい者の雇用・就労に向けた支援事業等を実施することにより、障がい者の雇用・就労の促進を図る。		変更(ある場合) 変更(ある場合)	
事業内容 社会的自立に向けた就労体験の機会を提供するため、県内の特別支援学校の生徒を対象に職場実習を実施する。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●職場実習	H28年度 →	H29年度 →
予算額(千円)	0	0	0
決算額(千円)	0	0	0
執行率(%)	0.0	0	0
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	H28年度の 総合評価 B		
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	評価の理由		
28年度受入生徒数 6月 藤沢養護学校 14人 10月 藤沢養護学校 11人(6月の受入生徒と重複有) 12月 ひなたやま支援学校 8人 白浜養護学校 4人	前年度とほぼ同じ内容で実施		
このほか、白浜養護学校の校内実習への業務提供もおこなった。	今後の方向 今後は市内障がい者雇用の促進を目的に設置している「JOBチャレふじさわ」と連携し、より実践度の高い実習を実施する。		
課題・問題点 H29年度事業計画 特別支援学校の実習受入を実施する。			

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 164	事業名 若年者就労支援事業 (若者しごと応援塾・ユースワークふじさわ)	担当部 経済部	担当課 産業労働課
事業目的 二一ややみさこもり等、困難を抱える若年者の自立・就労に向けて支援を行う。		変更(ある場合) 変更(ある場合)	
事業内容 中学校在籍中に不登校等で卒業後においても進路が未決定の子どもたちに対して、学校や学校教育相談センターと連携し、当該生徒やその保護者への相談や支援プログラムを実施する。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●若年者就労支援事業	H28年度 →	H29年度 →
予算額(千円)	25,497	25,428	16,884
決算額(千円)	25,497	25,428	
執行率(%)	100.0	100.0	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	H28年度の 総合評価 B		
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	評価の理由		
若年者就労支援事業受付数(219人) 若年者就労支援事業利用者延べ人数(4,023人) 進路決定者数(105人)	受付者数、利用者数、進路決定者数がいずれも昨年度に比べて増加した。また、地域出張相談会については、全体の回数は減ったが、セミナーとあわせて行うことで、より多くの方に参加していただき、ユースワークふじさわへの来所にも繋げることができた。		
出張セミナー(保護者向け・当事者向けなど)、個別相談会を開催(湘南台・明治・六会で各1回)、湘南大庭・長後・湘南台・六会・書行で各1回)	今後の方向 事業開始のため、広報紙、ホームページ、地域の回覧板などで発信を行う。		
ハローワーク等との地域連絡会議を開催。	地域出張相談会を継続して行い、実施地区を変えて行うなど試行実施を継続して行い、さらなる潜在的ひきこもり者の掘り起こしを図る。		
課題・問題点 H29年度事業計画 若年者就労支援事業を実施する。			

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 165(243)	事業名 自立支援推進事業	担当部 福祉部	担当課 生活保護課
事業目的 生活保護受給世帯の子ども・若者の健全育成と将来に向けた自立助長		変更(ある場合) 変更(ある場合)	
事業内容 0歳から概ね20歳の子どもの若者のいる生活保護受給世帯に対し、子ども支援員を配置し、ケースワーカーと共に関係機関と連携しながら日常生活支援、養育支援、教育支援、就労支援等、個別の寄り添い型の支援を行う。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●支援を要する受給世帯への個別支援	H28年度	H30年度
			H31年度
予算額(千円)	4,654	5,030	5,048
決算額(千円)	4,654	5,003	
執行率(%)	100.0	99.5	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	支援件数 65世帯77人	H28年度の 総合評価	
		評価 B	
		次年度 継続	
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) <ul style="list-style-type: none"> <li>支援件数 生活保護受給世帯 47世帯</li> <li>生活困窮世帯 7世帯</li> <li>日常生活支援(子どもとその親が日常的な生活習慣を身につけるための支援)17人</li> <li>養育支援(ひきこもりや不登校・育児不安に関する支援)53人</li> <li>就労支援(社会性が乏しく就職活動が困難な若者に対する就労準備支援と保護者に対する就労支援)7人</li> <li>※1人に対し他の支援との重複もあり。</li> </ul>			
評価の理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>支援世帯はもとより児童相談所・関係機関との信頼関係の構築により相談件数が増加し、支援の拡充につながった。</li> </ul>			
今後の方向 <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との連携協力を一層強化し、より積極的に支援を展開していく。</li> </ul>			
課題・問題点 <ul style="list-style-type: none"> <li>H29年度事業計画 活動の理解を深めるため、小・中学校合同校長会で事業説明を実施</li> <li>関係機関との役割確認のため交流研修の実施。(C SW・子ども健康課等)</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>支援件数の増加に伴い、連携する関係機関が増加するなかで、連携した支援に不慣れな関係機関があるため、関係機関の理解を深めていく必要がある。</li> </ul>			

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 166	事業名 自立支援推進事業(就労支援)	担当部 福祉部	担当課 生活保護課
事業目的 生活保護受給者の就労による自立		変更(ある場合) 変更(ある場合)	
事業内容 15歳から64歳までの稼働年齢層で就労阻害要因のない生活保護受給者に対し、就労支援相談員を配置し、ケースワーカーと共に、ハローワーク等関係機関と連携しながら就労支援を行い、就労による自立を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ただちに就労に結びつくことが困難な受給者に対しては、ケースワーカーふじさわ等を活用し、社会性を身につける等の就労準備支援を行う。</li> </ul>			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●支援を要する受給者に対する個別支援	H28年度	H30年度
			H31年度
予算額(千円)	4,326	4,235	2,194
決算額(千円)	3,026	2,091	
執行率(%)	69.9	49.4	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	支援総数277人	H28年度の 総合評価	
		評価 B	
		次年度 継続	
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年12月に生活保護課に隣接する場所に設置したハローワークの常設窓口である「ジョブポットふじさわ」や就労支援相談員、就労準備支援事業を活用し、連携し、ケースワーカーが社会環境、経歴やスキル等を総合的に考慮するなど、個別の寄り添い型の就労支援・就労準備支援を実施した。</li> <li>1 就労支援プログラム</li> <li>①ハローワーク連携事業支援数 250人</li> <li>②ケースワーカー・就労支援相談員個別支援数 81人</li> <li>※①②重複支援あり。</li> <li>就職転職等による増収に至った件数 130人</li> <li>うち生活保護廃止に至った件数 37人</li> <li>2 就労準備支援事業活用者数 14人</li> </ul>			
評価の理由 <ul style="list-style-type: none"> <li>個別に寄り添い型の支援を行ったことで、一定の効果が見られた。</li> </ul>			
今後の方向 <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との連携協力を一層強化し、より積極的に支援を展開していく。</li> </ul>			
課題・問題点 <ul style="list-style-type: none"> <li>H29年度事業計画 アウトリーチにより、ただちに就労に結びつくことが困難な受給者をケースワークふじさわをはじめとした各種社会資源につなぎ就労準備支援を実施する。</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>希望職種と求人との乖離</li> </ul>			

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 167	事業名 生活困難者自立支援事業 (就労準備支援)	担当課 福祉健康部 地域包括ケアシステム推進室	変更(ある場合)		
事業目的 生活困難者の就労による自立の促進を図る。					
事業内容 64歳までの高齢年齢層で直ちに一般就労することが困難な生活困窮者に対し、就労に必要な基礎能力の形成と就労意欲の喚起を図るため、計画的かつ一貫した支援を行う。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●支援を要する対象者に対する個別支援	H28年度 →	H29年度 →	H30年度 →	H31年度 →
予算額(千円)	14,436	14,436	14,436		
決算額(千円)	14,436	14,436			
執行率(%)	100.0	100			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	年次ごとの取組計画 生活困難者就労準備支援事業 支援対象者数(27名)				
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・社会福祉法人いきいき福祉会、一般社団法人インクルーシブネットが、なわ共同事業体に業務を委託し、就労に必要な基礎能力の形成と就労意欲の喚起を図った。 ※相談対応件数 延べ1,260回 (来所:123回、電話:826回、同行:129回、訪問:192回) ※就労に結びついたケース数 7名(生活保護:4名、生活困難:3名) ※就労体験を行ったケース数 12名(生活保護:8名、生活困難:4名) ※職場開拓・就労体験先開拓数 7事業所 ※職場体験調整案件数 29事業所					
評価の理由 ・計画どおりの事業を行うことができた。 ・支援につなげた対象者を着実に自立に向けての支援を行うことができた。 ・就労体験先を増やすために企業や事業所と話を行ったことと地域との連携が進んできていると考えられる。 今後の方向 ・就労に必要な基礎能力の形成と就労意欲の喚起を図ることが必要な方への支援をするため、民生委員や福祉窓口などの連携等について十分な情報交換・意見交換をしていくとともにアウトリーチによる介入を積極的に行う。 ・就労の体験できる場の確保をするため、事業についての説明を行い、職場の開拓をする。					
H29年度事業計画 ・社会福祉法人いきいき福祉会、一般社団法人インクルーシブネットが、なわ共同事業体に業務を委託し、就労に必要な基礎能力の形成と就労意欲の喚起を図る。					

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 168	事業名 子ども・若者育成支援事業	担当課 子ども青少年部	変更(ある場合)		
事業目的 一・ひきこもり等の社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者とその家族を対象に、若者一人ひとりの自立を支援する。					
事業内容 T湘南・横浜若者サポートステーションJ及び「若者しごと応援塾」・ユースワークふじさわJと連携し、面談(カウンセリング)をはじめ、福祉や保健・医療など、個別の相談内容に応じた支援を継続的に実施する。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 支援実施者数 100人	H28年度 支援実施者数 100人	H29年度 支援実施者数 100人	H30年度 支援実施者数 100人	H31年度 支援実施者数 100人
予算額(千円)	10,917	10,917	11,666		
決算額(千円)	10,916	10,996			
執行率(%)	99.9	99.8			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	年次ごとの取組計画 支援実施者数98人				
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・困難を有する若者やその家族に対して、適切な支援を受けられるよう、福祉や保健等といった機関への引き継ぎを行うなど、社会的自立に向けた支援としての第一歩につなげることができた。 評価の理由 ・目標値にほぼ近い人数まで、困難を有する若者への支援を実施できた。 今後の方向 ・職業教育終了後の進路未決定者等がひきこもり状態となるケースが多くなる状況から、早期支援を開始するため、学校教育相談センター等と連携し、就学から相談の引き継ぎを行うなど、切れ目ない支援の充実を図っていく。					
H29年度事業計画 ・若者しごと応援塾、ユースワークふじさわJから相談業務の一部を移管し、若者に対する総合相談的機能を位置づけ、若者サポート事業とする見直しを行った。 ・引き続き関係諸機関との連携を図りながら個別の支援の充実を図っていく。					

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	子ども青少年部
211(232)	地域子育て支援センター事業	子ども青少年部	子育て企画課	
			変更(ある場合)	
	事業目的	地域子育て支援センター3カ所→4カ所 六会子育て支援センター4月開所		
	事業内容	地域の子育て支援拠点として、子育てに関する相談や情報提供、子育てサークルの育成、支援などの様々な子育て支援事業を行う「子育て支援センター」を運営する。		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度 ●子育て支援センターの運営	H29年度	H31年度
		3カ所の運営	4カ所の運営	→
	予算額(千円)	52,783	62,684	
	決算額(千円)	52,365	63,281	
	執行率(%)	99		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	藤沢・湘南台・辻堂・六会子育て支援センター4カ所の運営		
	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤沢・湘南台・辻堂・六会子育て支援センターの4カ所の延べ年間利用者数は77,539人、相談件数は11,354件、巡回子育てひろば(6カ所で開催)の延べ年間利用者数は3,809人</li> <li>・子育てひろばの開催・相談・情報提供・講習等により、安心して子育てができる支援体制の充実が図れた。</li> </ul>		
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子がくつろげる居場所として、どんなことでも相談しやすい雰囲気大切にしている身近な場所である。その中で他機関との連携の必要性に於いては正規職員が迅速な対応を行った。</li> <li>・保護者の子育て支援に対するニーズの多様化により、地域で安心して子育てができるよう、より一層の環境づくりの体制強化を図る。正副職員配置により、他機関及び地域資源を活用し、世代を広域的に捉えた事業展開を充実させる。</li> <li>・今後の方向 子育て支援センターの運営に合わせた子育て支援の充実を図る。</li> </ul>		
	H29年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センターの運営に合わせた子育て支援事業として、出産後の早期支援としての0～6か月児を待つ保護者を対象とした子育てひろばを充実</li> <li>・南・北保健センター(子育て世代包括支援センター)との連携による産前・産後サポート事業等の実施</li> <li>・保育サービスに関する情報提供</li> <li>・子育てに関する相談の実施、関係機関との調整</li> <li>・基幹保育所との連携による子育てひろばの開催、保育園との交流</li> <li>・虐待予防講座としてBP講座、NP講座を実施</li> <li>・父親を対象とした居場所の提供や講座の開催</li> </ul>		

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	子ども青少年部
212(233)	つどいの広場事業	子ども青少年部	子育て企画課	
			変更(ある場合)	
	事業目的	安心して子育てができるよう支援体制の充実を図り、子育ての不安感を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。		
	事業内容	子育て中の親子の交流やつどいの場の提供、子育てアドバイザーによる相談、情報提供などを行う「つどいの広場」を運営する。また、地域において「つどいの広場」に準ずる活動を実施している団体等に対して支援する。		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度 ●つどいの広場の運営	H28年度	H31年度
		4カ所の運営	4カ所の運営	→
	予算額(千円)	17,152	17,580	
	決算額(千円)	16,663	17,408	
	執行率(%)	97.1	99	
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	藤沼・善行・藤が岡・中里つどいの広場の4カ所の運営		
	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤沼・善行・藤が岡・中里つどいの広場の4カ所の延べ年間利用者数は20,963人、相談件数は1,739件</li> <li>・藤沼版つどいの広場の開催はかたせに「つどいの広場 片瀬 月3回、フリースペース」に「つどいの広場 片瀬 月6回、速瀬子育てひろばのひびひ、速瀬 月1回、子育てひろばたんぽぽ、長後 月3回、大庭子育てひろばひろば、湘南大庭 月1回、むらつひろば、村岡 月2回、むらつひろば、藤沢 月1回</li> <li>・乳幼児家庭の親子が、地域で多くの人々に支えられる子育てを実感できることで、安心感を得ることができている。</li> </ul>		
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの地域の中に居場所として親同士が気兼ねなく交流することができ、どんなことでも話せる雰囲気の中で、利用者が安心して居場所となっている。</li> <li>・身近な地域における子育て支援の場として、それぞれの地域の特徴を生かした子育て支援を充実させる。</li> <li>・今後の方向 子育て支援センターの運営に合わせた子育て支援の充実を図る。</li> </ul>		
	H29年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センターの運営に合わせた子育て支援事業として、出産後の早期支援としての0～6か月児を待つ保護者を対象とした子育てひろばを充実</li> <li>・南・北保健センター(子育て世代包括支援センター)との連携による産前・産後サポート事業等の実施</li> <li>・保育サービスに関する情報提供</li> <li>・子育てに関する相談の実施、関係機関との調整</li> <li>・基幹保育所との連携による子育てひろばの開催、保育園との交流</li> <li>・虐待予防講座としてBP講座、NP講座を実施</li> <li>・父親を対象とした居場所の提供や講座の開催</li> </ul>		

稲葉 内線 (7222)  
 担当部 子ども青少年部  
 担当課 子ども健康課  
 変更(ある場合) 変更(ある場合)

稲葉 内線 (7222)  
 担当部 子ども青少年部  
 担当課 子ども健康課  
 変更(ある場合) 変更(ある場合)

事業コード	事業名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
214	母子保健事業					
健全な母性・女性の育成を目指し、思春期保健を推進する。 事業目的 思春期における心身の変化や特有な問題について啓発を行い、性の不安や悩み等に対処できる力を促す。 事業内容 ● 思春期講演会の開催 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) 年1回 → → → → → ● 思春期保健教育の実施 10校 → → → → →						
予算額(千円)		64,682	62,373	62,419		
決算額(千円)		58,349	57,069			
執行率(%)		90.2	91.5			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果		● 思春期講演会の開催 1回/年 ● 思春期保健教育の実施 4校				
評価		H28年度の総合評価 C 評価理由 ・講演会は、テーマを見直し、「思春期の栄養」で計画した結果、申込者は多く、関心のあるテーマだったと考える。 ・思春期保健教育については、当初の計画より実施校数が減っている。 今後の方向 ・講演会については、テーマと講師選びが課題。「男女交互のテーマ選び」などの基本を固め、目的に合った講師を選ぶ。市内南北地域で交互に開催するなど、会場選定の検討も続ける。 ・思春期保健教育については、子どもや保護者が性についての正しい知識や避妊方法、病気の予防について理解できるように啓発を広めるために、課内でのスキルアップと事業周知を図っていく。 H29年度事業計画 ・講演会については、内容・講師を絞った上で、対象者が参加しやすい日時・会場などを決定し、事業周知を速やかにいよいよ実施していく。				

事業コード	事業名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
213	放課後児童健全育成事業					
保護者が就労等の理由により、放課後不在となる家庭の児童の安全・安心な生活の場を提供し、児童の健全育成と保護者の就労支援・子育て支援を図る。 事業目的 保護者が就労等の理由により、放課後不在となる家庭の児童の健全育成を図る放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ事業)を実施する。 事業内容 ● 放課後児童クラブの整備 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) 児童クラブ定員数 3,119人 → 3,352人 → 3,606人 → 3,874人 → 4,074人						
予算額(千円)		600,051	643,782	789,830		
決算額(千円)		570,226	643,405			
執行率(%)		95.0	99.9			
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果		● 放課後児童クラブの整備 平成27年7月策定の「藤沢市放課後児童クラブ整備計画」に基づき、2カ所(放課後児童クラブ)を整備するとともに、定員確保として、2カ所の整備を行った。 ● 新設2カ所…あさがお児童クラブ(湘南台小学校区)、高谷子どもクラブ東2階(高谷小学校区) ● 定員確保対策2カ所…第2号ちびっこ児童クラブ(鶴巻小学校区)、第2ちびっこ児童クラブ(騎寄小学校区)				
評価		H28年度の総合評価 B 評価理由 ・「平成27年7月策定の「藤沢市放課後児童クラブ整備計画」に基づき、2カ所に放課後児童クラブを整備するとともに、定員確保として、2カ所の整備を行った。」 ・整備計画や行政改革実行プラン2020に基づき、体系的な施設整備を進めていく。 今後の方向 ・平成29年度の整備に向け、検討・調整を行った。 ○ 公第2カ所…亀井小学校区児童クラブ、六会小学校区児童クラブ ○ 新設2カ所…風の子児童クラブ(高砂小学校区)、ちびっこ分館児童クラブ(騎寄小学校区)				
課題・問題点		・整備計画に基づき、既存施設の拡充及び新設箇所への移転等を行うとともに、既存事業若くは新たな事業の運営事業者の募集についても、引き続き実施していく。 ・現在計画的に行っている特別な支援が必要な児童の受け入れについて、施設状況、介助員の配置、クラブまでの移動等の課題を整理し、受け入れに向けた整理を行う。				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	変更(ある場合)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
215(234・724・831)	学校・家庭・地域連携推進事業	教育部	教育総務課					
事業目的 子どもを軸とした連携により、地域づくり及び学校支援を図る。								
事業内容 ・中学校区を基本に設置された地域協力者会議において、子どもたちの健やかな成長を支援するために、地域の課題について計画的に地域の実情に応じた学校支援や家庭教育に関わる事業等を実施する。 ・PTA活動を支援するために藤沢市PTA連絡協議会への業務委託及び研修会等を実施する。								
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	参加者総数	33,100人	33,200人	33,300人	33,400人	33,500人		
●PTA育成事業の実施(業務委託、研修会等の開催)	実施	→	→	→	→	→		
予算額(千円)	5,574	5,574	5,574					
決算額(千円)	5,460	5,494						
執行率(%)	98.0	98.6						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	「地域協力者会議」の参加者総数 31,529人 に対するH28年度末、PTA育成事業で、業務委託、研修会を実施							次年度 継続
評価	H28年度の 総合評価							B
評価の理由	<p>・「学校・家庭・地域連携推進協議会」に業務委託 実施した。 ・「子どもたちの健やかな成長を支援する事業」を各地域で 実施した。 ・「会長会」の開催 年4回(5/10 8/23 11/8 2/7) (情報交換、他団体との意見交換、実績報告等) ・各地域事業総数 119事業 ・「SNS講習会」や「地域防災・減災を考える」子ども健 全育成のつどい等、家庭教育力の向上につながる講 演会を実施した。 ・藤沢市PTA連絡協議会に業務委託し、各校のPTA育成 のための事業を実施 ・「広報紙」の発行 年2回(6月、3月) ・各校PTA活動状況調査の実施 ・講演会の実施 ・「コミュニケーション再考〜もっかわりありのために」 講師：大島武東京工業大学教授 子育や日常の人間関係に生かせるコミュニケーション で楽しく学ぶことができた。 ・藤沢市PTA役員研修会の開催 全4回 ・地域の教育力向上を図る事業を実施 *ふじさわ教育フォーラムの開催 「子どもたちの笑顔あふれる地域をめざして」 3/4 13:30~16:00 湘南NDEビル</p>							
今後の方向	<p>・「学校・家庭・地域」が連携・協力して子どもたちの成長 を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交 換をしていく。 ・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わって いることを広報紙、ホームページ、教育フォーラム等 で発信していく。 ・藤沢市PTA連絡協議会への委託事業内容の見直 しについて、市P連と協議をしていく。</p>							
課題・問題点	<p>・「学校・家庭・地域」連携推進協議会「会長会」に業務委託 し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業 を各地域で実施する。 ・藤沢市PTA連絡協議会への委託事業の実施。 ・藤沢市PTA役員研修会の実施(4コース) ・学校・家庭・地域の連携協力を推進するため「ふじさ わ教育フォーラム」を開催する。</p>							

事業コード	事業名	担当課	変更(ある場合)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
221	幼稚園協会等補助金事業	教育部	子ども青少年部					
事業目的 ・幼稚園及び幼児教育施設の教職員の資質向上 ・幼児教育の充実及び活動支援								
事業内容 藤沢市私立幼稚園協会及び藤沢市幼児教育協議会に対し、教職員の の研修、研究費及び私立幼稚園協会等の運営活動に補助を行う。								
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	●運営補助	→	→	→	→	→		
実施	→	→	→	→	→	→		
予算額(千円)	4,630	4,630	4,630					
決算額(千円)	4,630	4,630						
執行率(%)	100.0	100						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・年度当初(4月1日)に補助金交付決定を行い、6月、10 月、2月の年3回に分けて、交付決定額の1/3ずつ補助金 を支出した。 ・年間3回の補助金交付により、幼稚園協会、幼児教育協 議会の安定した運営を支援することができた。							次年度 継続
評価	H28年度の 総合評価							B
評価の理由	<p>・予算の執行率は100%ではあるが、事業内容が補 助金交付であり、もともと目標という概念が無いた め。 ・今後も補助を継続し、幼児教育の推進を図る。</p>							
課題・問題点	<p>H29年度事業計画 ・藤沢市私立幼稚園協会及び藤沢市幼児教育協議 会に対し、教職員の研修・研究費、及び運営活動に 補助を行う。</p>							



平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	子ども青少年部	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
222	幼稚園等就園奨励補助金事業	子ども青少年部	保育課	変更(ある場合)					
<p>事業目的 保護者の経済的負担の軽減を図ること、幼稚園等への就園を奨励する。</p> <p>事業内容 保護者の経済的負担の軽減を図るために、就園している園児の保育料を、園児の世帯の所得状況や兄弟の人数に応じて減免を行った幼稚園等の設置者に対して、減免相当額の補助を行う。</p>									
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)		実施	→	→	→	→			→
予算額(千円)	841,411	852,267	798,748						
決算額(千円)	805,577	795,246							
執行率(%)	95.7	93.3							
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果		<p>保護者の所得状況に応じ、園児の保育料を減免する幼稚園の設置者に対して、減免額を助成する。                      ・補助金交付対象者: 7,204人                      ・補助金交付施設: 103園</p>							
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>・保護者の所得状況に応じ、園児の保育料を減免することによって幼稚園等の設置者に対して、減免額を助成した。                      【スケジュール】                      ・6月中旬: 補助金交付申請書受理(当初分)                      ・11月中旬: 補助金交付申請書受理(追加分)                      ・11月下旬: 補助金交付(当初分)                      ・2月下旬: 補助金交付(追加分)                      【補助内訳】                      ・補助金交付対象者: 7,204人                      ・補助金交付対象施設: 103園                      ・補助金交付額: 793,959,200円</p>					<p>H28年度の経済的負担を軽減することができ、幼児教育の推進が図られた。</p> <p>評価の理由 ・保護者の経済的負担を軽減することで幼稚園等への就園を奨励することができ、幼児教育の推進が図られた。</p> <p>評価 A</p> <p>次年度 継続</p>				
<p>今後の方向 ・今後も補助を継続していく。また、懸案となっている補助金交付に関するシステムの導入を検討する。</p>					<p>H29年度事業計画 ・本市在住児童が在籍し、その保護者の所得状況に応じ保育料を減免する幼稚園・幼児教育施設に対し、減免額を補助金として助成する。                      ・煩雑化している事務の効率化を図るため、補助金交付に係るシステムの導入を検討する。</p>				
<p>課題・問題点 ・園庫補助対象事業であり、国が「幼児教育の無償化に向けた取り組みを段階的に推進する。」としていることから、国の動向に注視する必要がある。</p>									

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	子ども青少年部	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
223	幼児教育振興助成事業	子ども青少年部	保育課	変更(ある場合)					
<p>事業目的 市内幼稚園等の教育環境及び衛生管理事業の充実 ・市内幼稚園等の教育環境及び衛生管理事業の充実 ・保護者の経済的負担軽減</p> <p>事業内容 市内幼稚園及び幼児教育施設の教材教具の購入及び衛生管理事業に対して、補助金を交付する。</p>									
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)		実施	→	→	→	→			→
予算額(千円)	20,813	20,827	19,860						
決算額(千円)	20,267	20,026							
執行率(%)	97.4	97.1							
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果		<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>・9月に補助金交付決定を行い、10月、2月の年2回に分けて、補助金を交付した。                      【補助金額】                      ・私立幼稚園(33園): 18,817,400円                      ・幼児教育施設(11園): 1,207,800円</p>							
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>・市内私立幼稚園及び幼児教育施設の教育環境、衛生管理事業の充実、及び保護者の経済的負担が軽減された。</p> <p>評価の理由 ・市内私立幼稚園及び幼児教育施設の教育環境、衛生管理事業の充実、及び保護者の経済的負担が軽減された。</p> <p>評価 A</p> <p>次年度 継続</p>					<p>H29年度事業計画 ・市内私立幼稚園32園と幼児教育施設12園に対し、園児や教材教具等の購入経費、及び健康管理事業に要する経費等を助成する。</p>				
<p>課題・問題点 ・特に無し</p>									

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	幼保園等預かり保育推進事業	担当部	担当課	変更(ある場合)	子ども青少年部	保育課
224	事業名	幼保園等預かり保育推進事業	担当部	担当課	変更(ある場合)	子ども青少年部	保育課
<p>事業目的                      幼保園が行う預かり保育の人員費等を助成することにより、保育料の軽減や保護者の就労機会の拡大を図る。</p>							
<p>事業内容                      保育を必要とする児童の保護者が、保育所だけでなく幼保園も選択できるような環境づくりの一つとして、預かり保育(延長保育)を実施した私立幼保園の設置者に対して、実施に要する人件費及び保育経費の助成を行う。</p>							
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		
●人件費等の助成	→	→	→	→	→		
実施	→	→	→	→	→		
予算額(千円)	23,710	28,049	25,342				
決算額(千円)	19,792	23,952					
執行率(%)	83.5						
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	担当教員を配置し、預かり保育を実施する私立幼保園に対し、実施に要する人件費等を助成する。 ・預かり保育実施幼保園 26園 他						
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	・私学助成対象幼保園が実施する預かり保育について、実績に応じた補助金を交付した。また、施設型給付幼保園が実施する一時預かり保育に対しては業務委託を行った。 ・藤沢市私立幼保園預かり保育推進事業費補助金 25園 16,934,700円 ・幼保園長時間預かり保育支援事業補助金 1園(市外) 1,437,000円 ・幼保園型一時預かり事業 8園 3,579,840円						
評価の理由	・市内私立幼保園が実施する預かり保育に関して、当初の戻込みより実施日数、及び実施時間が少なかったため。 ・保育需要の増加に対応するため、保育を必要とする保護者が保育施設だけでなく幼保園も選択できるよう、また、小規模保育事業所等からの卒園児の受け皿となるよう、幼保園における預かり保育の長時間化を推進する。 今後の方向 ・保育需要の増加に対応するため、保育を必要とする保護者が保育施設だけでなく幼保園も選択できるよう、また、小規模保育事業所等からの卒園児の受け皿となるよう、幼保園における預かり保育の長時間化を推進する。						
H29年度事業計画	・今年度(平成28年度)に、従来より預かり保育に関する補助制度を員直し、年間を通じて継続的に開園日に預かり保育を実施する場合の人員費に対して助成を行うこととしたが、平成29年度においても引き続き、各幼保園への理解を仰ぎながら事業を実施していく。						
課題・問題点	・幼保園における預かり保育の長時間化については、施設側の理解と協力が不可欠であるが、制度内容がまだ十分に浸透しておらず、また年度当初は利用者数を見込みで算出させたため、年度末に補助金の返金交付や変更契約が必要となる。						

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	幼保園・保育所・小学校・中学校・特別支援学校連携推進事業	担当部	担当課	変更(ある場合)	子ども青少年部	教育指導課・保育課	
225	事業名	幼保園・保育所・小学校・中学校・特別支援学校連携推進事業	担当部	担当課	変更(ある場合)	子ども青少年部	教育指導課・保育課	
<p>事業目的                      ・園児等が小学校の様子を知ることにより、就学後、児童の学校生活がスムーズに行える。(ハイプロブレムの解消)                      ・中1ギャップの解消と、義務教育9年間を見通した教育を推進する。</p>								
<p>事業内容                      ・幼保園・保育所・小・中・特別支援学校の関係者、学識経験者等からなる「幼・保・小・中連携推進協議会」を設置し、幼児教育及び小・特別支援学校や小学校と中・特別支援学校の教育の充実及び連携の推進を図るため、協議・研修・交流を行う。                      ・就学前の園児等の小学校訪問及び小学校児童と中学校生徒の交流の推進など、校種間の連携を図る。                      ・幼稚園教職員の見学交換を積極的に行う。                      ・小中一貫教育の実現の可能性等について研究するとともに連携の推進を図る。</p>								
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			
●幼保小連携実施校46校、小中連携実施校55校との連携の推進	→	→	→	→	→			
実施	→	→	→	→	→			
予算額(千円)	30	30	30					
決算額(千円)	0	0						
執行率(%)	0.0	0.0						
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	幼保小連携46校、小中連携55校で実施							
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	・幼保園、保育所、小学校、中学校、特別支援学校連携推進協議会を開催した。小中学校担当者54名と白浜養護学校担当者1名、幼保園・保育所の担当者53名が出席し、連携の充実を図るための協議を行った。 ・幼、保、小、中、特別支援学校の職員を対象に合同研修会を行い、連携の必要性や課題、具体的な実践等についての講演を聞き理解を深めた。また、地域協力者会議の代表の方々を招き、地域・家庭・学校の連携活動を紹介した。 ・中学校学区を中心とした近隣の学校や園の間で、年間計画を基に交流、学校見学などについて調整し、交流を実施した。地域の学校や園の教員が協力し合う素地ができた。また、各中学校間の情報交換により、支援が必要とする児童生徒に、さら細かい支援が継続できるようになった。 ・各校からの異校種間交流の実践報告を受け、それらをまとめた冊子「平成28年度幼保小中特連携実践事例集」を作成した。今まで見られなかった新しい試みや、交流の深まりや広がりが報告された。							
評価の理由	・幼保小中特連携についての必要性や効果について、はたした理解が深まり、幼保園・保育所と小学校、小学校と中学校の連携については全校で実施されている。実施内容は職員間の情報交換や幼児と児童生徒の交流が行われた。 今後の方向 ・幼保小中特の教員が義務教育を終える段階で身に付けておくべきこととは何かという観点を見直しながら、幼児教育、小学校教育、中学校教育それぞれについて、互いを考える視点や意識をもつことが、より一層必要である。幼児教育を基礎として、小中学校9年間を見通して、どのように子どもたちの資質や能力を伸ばしていくかを考えること、子どもたち一人ひとりの個々の発達段階や教育的ニーズを踏まえた実践を推進していく。							
H29年度事業計画	・幼保小中特連携推進協議会を開催し、幼保園・保育所と小学校、小学校と中学校の連携を図る。活動の実践事例集の活用を図り、教育連携の実践に役立てる。							
課題・問題点	・私立保育所や私立幼保園へ担当者会の開催を希望しているが、際の連絡手段に課題があり、私立幼保園の参加が少ないこと。 ・幼保園にも「実践事例集」の原稿執筆を依頼しているが、回収方法に一考を要する。 ・行事の交流や教職員の情報交換などが中心であるため、継続的な学びという視点で教育活動や指導に生かすところまでには至っていない。							

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 231	事業名 子育てふれあいコーナー事業	担当部 子ども青少年部	担当課 子育て企画課
事業目的 地域において、子育て中の親子の交流や相談の場を提供し、子育てに対する不安や悩みの軽減を図る。		変更(ある場合) 変更(ある場合) 地域子育て支援センター21カ所→22カ所 (石川児童館5月より)	
事業内容 地域子どもの家や児童館等において、保育士や子育てボランティアなどによる子育て中の親子の交流、情報提供、育児相談を実施する。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 21カ所で実施	H28年度 22カ所で実施	H29年度 22カ所で実施
予算額(千円)	486	460	460
決算額(千円)	342	356	
執行率(%)	70.4	77.4	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	地域子どもの家及び児童館の22カ所で実施		
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・あいあい 地域子どもの家17カ所、児童館5カ所、計22カ所で月回(3~4~8月は休み)実施 年間198日実施、延べ年間利用者数2,775人 ・さらさらほし 藤沢・八松・湘南台子どもの家にて、週1回(8月は休み)実施 年間99日実施、延べ年間利用者数は1,615人 ・子育てボランティア養成講座開催への協力、17人新規登録 ・子育てボランティア情報交換会及びフォローアップ研修3回実施</p>		
評価の理由	<p>乳幼児世帯のニーズを考慮しながら、あいあいの実施場所として石川児童館での相談業務を新たに実施。利用者が安心して過ごせる場として、子育て不安の軽減がされている。</p> <p>・親子同士のふれあいや交流の場として、子育てについての悩みや相談の支援、子育てに関する情報等の提供を実施する。</p> <p>今後の方向 ・子育てボランティア養成講座開催への協力、17人新規登録 ・子育てボランティア情報交換会及びフォローアップ研修3回実施</p>		
H29年度事業計画	<p>・あいあいほしさらさらほしと合わせて22カ所で実施。 ・子育てボランティア数は66人 ・子育てボランティア情報交換会及びフォローアップ研修3回実施予定 ・ボランティア報償費上限の変更を実施する。</p>		

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 232(211)	事業名 地域子育て支援センター事業	担当部 子ども青少年部	担当課 子育て企画課
事業目的 安心して子育てできるような支援体制の充実を図り、子育ての不安感等を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。		変更(ある場合) 地域子育て支援センター3カ所→4カ所 六会子育て支援センター4カ所開所	
事業内容 地域の子育て支援拠点として、子育てに関する相談や情報提供、子育てサークルの育成、支援などの様々な子育て支援事業を行う「子育て支援センター」を運営する。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 3カ所の運営	H28年度 4カ所の運営	H31年度 →
予算額(千円)	52,783	66,140	62,684
決算額(千円)	52,365	63,281	
執行率(%)	99	96	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	藤沢・湘南台・辻堂・湘南台・辻堂・六会子育て支援センター4カ所の運営		
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・藤沢・湘南台・辻堂・六会子育て支援センターの4カ所の延べ年間利用者数は7,539人、相談件数は11,354件、巡回子育てひろば(6カ所)で開催の延べ年間利用者数は3,809人 ・子育てひろばの開催・相談・情報提供・講習等により、安心して子育てができる支援体制の充実が図れた。</p>		
評価の理由	<p>・親子がつらつらげられる居場所として、どんなことでも相談しやすい雰囲気をもたげた身近な場所である。その中で他機関との連携の必要性に於いては正規職員が迅速な対応を行った。</p> <p>今後の方向 保護者の子育て支援に対するニーズの多様化により、地域で安心して子育てができるよう、より一層の環境づくりの体制強化を図る。正社員配置により、他機関及び地域資源を活用し、世代を広域的に捉えた事業展開を充実させる。</p>		
H29年度事業計画	<p>・子育て家庭の個々のニーズに合った子育て支援事業として、出産後の早期支援としての0~6か月児を待つ保護者を対象とした子育てひろばを充実 ・南・北保健センター(子育て世代包括支援センター)との連携による産前・産後サポート事業等の実施 ・保育サービスに関する情報提供 ・子育てに関する相談の実施、関係機関との調整 ・基幹保育所との連携による子育てひろばの開催、保育園との交流 ・虐待予防講座としてBPP講座、NP講座を実施 ・父親を対象とした居場所の提供や講座の開催</p>		

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 233(212)	事業名 つどいの広場事業	担当部 子ども青少年部	担当課 子育て企画課		
事業目的 安心して子育てができるよう支援体制の充実を図り、子育ての不安感等を軽減し、子どもの健やかな育ちを支援する。		変更(ある場合) 変更(ある場合)			
事業内容 子育て中の親子の交流やつどいの場の提供、子育てアドバイザーによる相談、情報提供などを行う「つどいの広場」を運営する。また、地域において「つどいの広場」に準ずる活動を実施している団体等に対して支援する。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●つどいの広場の運営 4か所の運営	H28年度 4か所の運営	H29年度 4か所の運営	H30年度 →	H31年度 →
予算額(千円)	17,152	17,580	17,763		
決算額(千円)	16,663	17,408			
執行率(%)	97.1	99			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・鶴沼・善行・藤が岡・中里つどいの広場の4か所の延べ年間利用者数は20,963人、相談件数は1,739件 ・藤沢駅つどいの広場の開催は フリースペース「ここに」 明治 月6回 遠藤子育てさくらのひびび 遠藤 月1回 子育てひろばタンホホ 長後 月3回 大庭子育てさくらんぼよよ広場 湖南大庭 月1回 子育てプレイルーム 藤沢 月1回 村岡 月2回 むらつこひろば 村岡 月2回 ・乳幼児家庭の親子が、地域で多くの人々に支えられる子育てを実現できることで、安心感を得ることができている。				
	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・自分たちの地域の中に居場所として親同士が気軽に交流することができ、どんなことでも話せる雰囲気の中で、利用者が安心できる場となっている。 ・身近な地域における子育て支援の場として、それぞれの地域の特徴を生かした子育て支援を充実させる。 ・親子の居場所作り				
	H29年度事業計画 ・子育て親子の交流の場の提供 ・相談・地域の情報提供等の実施 ・地域のニーズにあった子育て支援講習等の実施 ・4か所の事業内容の充実を図るため、実施状況の報告等による情報交換会による方向性の確認 ・職員研修の充実				
課題・問題点					

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 234(215・724・831)	事業名 学校・家庭・地域連携推進事業	担当部 教育部	担当課 教育総務課		
事業目的 子どもを軸とした連携により、地域づくり及び学校支援を図る。		変更(ある場合) 変更(ある場合)			
事業内容 「中学校区を基本に設置された地域協力者会議において、子どもたちの健やかな成長を支援するために、地域の課題について討議し、地域の実情に応じた学校支援や地域づくりに関わる事業等を実施する。」					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●学校・家庭・地域連携事業の実施(会長会、業務委託の実施) 参加者総数 33,100人	H28年度 33,200人	H29年度 33,300人	H30年度 33,400人	H31年度 33,500人
予算額(千円)	5,574	5,574			
決算額(千円)	5,460	5,494			
執行率(%)	98.0	98.6			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・学校・家庭・地域連携推進会議「会長会」に業務を委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。 ・*会長会 年4回(5/10 8/23 11/8 2/7) (情報交換・他団体との意見交換・実績報告等) ・各地域事業総数 119事業 ・*各地域事業、会議等参加者数 31,529人 ・*地域における子どもたちの課題を会議の中で出し合い、実施事業に活かした。 ・*「家庭科ミシン補助」「地引き綱支援」「ふれあいサタデー」「ふれあい音楽会」等、学校支援や、地域住民と子どもたちが世代を超えてふれあう事業を実施した。				
	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・「計画どおりに事業を行うことができた。」 今後の方向 ・学校・家庭・地域が連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしていく。 ・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ、教育フォーラム等で発信していく。				
	H29年度事業計画 ・学校・家庭・地域連携推進会議「会長会」に業務を委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。				
課題・問題点	・より多くの方に三者連携を知ってもらうための周知活動 ・会長会がさらに充実した情報交換、意見交換の場となるように工夫する。				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 241	事業名 要保護標準要保護児童・生徒援助事業	担当部 教育部	担当課 学務保健課	変更(ある場合)	
<p>保護者の経済的負担の軽減 ・義務教育の円滑な推進</p> <p>事業目的</p> <p>事業内容 経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、医療費、学校給食費、マフネ購入費、卒業アルバム購入費などを援助する。</p>					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施	→	→	→	→	→
予算額(千円)	235,023	242,050	244,599		
決算額(千円)	189,826	187,163			
執行率(%)	80.8	77.3			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	<p>市立小中学校全校を対象に実施</p> <p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>・経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>小学生 3,274人 中学生 1,940人 計 5,214人</p>				
	<p>H28年度の 総合評価</p> <p>B</p>				
	<p>評価の理由</p> <p>・経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、修学旅行費、社会見学費、医療費、学校給食費、めがね購入費、卒業アルバム購入費等を援助し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>・今後とも、保護者の経済的負担の軽減や義務教育の円滑な推進を図るために就学援助制度を実施する。</p>				
	<p>今後の方向</p> <p>・今後とも、保護者の経済的負担の軽減や義務教育の円滑な推進を図るために就学援助制度を実施する。</p>				
	<p>H29年度事業計画</p> <p>・就学援助の申請受付を、認定審査を経て、認定者に対し、1月、3月と年3回に分けて学用品費・修学旅行費、社会見学費、学校給食費(中学校のみ)、卒業アルバム購入費等を支給する。医療費、めがね購入費等は随時、支給する。</p>				
	<p>課題・問題点</p> <p>・三位一体改革により、平成17年度に府県移譲した地方財政措置が行われたため、国の補助金の予算単価に基づき実施している標準要保護者への援助は、重い財政負担となっている。</p> <p>・保護者の大きな負担となっている新入学時の準備費用について、入学前の支給要望があるが、課題が多岐にわたる必要があるため、研究が必要である。</p>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 242	事業名 生活困窮者自立支援事業(学習支援)	担当部 福祉健康部	担当課 地域包括ケアシステム推進室	変更(ある場合)	
<p>生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の子どもに対する学習支援等を通じて、子どもの社会的自立を促し、貧困の連鎖を防止する。</p> <p>事業目的</p> <p>事業内容 対象となる子どもの状況に応じて、学習の場所・機会の提供や受給等に関する情報提供、順調な学校生活を送るための生活相談に関する支援等を行う。</p>					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
実施	→	→	→	→	→
予算額(千円)	11,113	16,670	16,670		
決算額(千円)	11,108	16,658			
執行率(%)	99.9	99.9			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	<p>子ども学習支援事業 利用者数(六会:36人、湘南大庭:24人)累計:60人</p> <p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>・NPO法人青少年サポート協会、NPO法人湘南ライオン会と連携し、六会地区、湘南大庭地区、臨海地区で事業を実施。</p> <p>※附帯日数 延べ78回(月と第2、第4金16時30分～20時)</p> <p>※参加延べ人数 496名(平均参加者数:6.6名)</p> <p>※中学生卒業後進路状況 対象者11名(全日制:7名、定時制:4名)</p> <p>※附帯事業(全4回)</p> <p>飛しそらめん 8/5(5名)、藍染め体験 8/24(5名)、クリスマス会:12/23(7名)、もちつき 1/8(6名)</p> <p>※食費の日(全12回)月1回開催</p> <p>【湘南大庭】</p> <p>※開催日数 延べ94回(火16時30分～20時と土10時～13時30分)</p> <p>※参加延べ人数 453名(平均参加者数:4.8名)</p> <p>※中学生卒業後進路状況 対象者6名(全日制:3名)</p> <p>※附帯事業(全4回)</p> <p>飛しそらめん 8/5(1名)、クリスマス会:12/24(3名)、もちつき 1/8(3名)</p> <p>※食費の日(全19回)月1回開催</p> <p>【臨海】</p> <p>※開催日数 延べ155回(水・金15時30分～18時と土13時30分～18時)</p> <p>※参加延べ人数 4,371名(平均参加者数:28.2名)</p> <p>※中学生卒業後進路状況 対象者10名(全日制:6名、定時制:3名、その他(専修学校等):1名)</p> <p>※附帯事業(全11回)</p> <p>さつまいもスクール 6/11・8/11・10/29(30名)、夏のお楽しみ会 8/17(40名)、ちやぐりんスクール 8/23・12/27(20名)、ハザードアウト 10/18(10名)、生徒による子ども食堂:11/19(32名)、クリスマス会:12/23(31名)、卒業パーティー 3/25(33名)、農業体験 3/27(4名)</p> <p>※子ども食堂(全12回)毎月1回開催</p>				
	<p>H28年度の 総合評価</p> <p>B</p>				
	<p>評価の理由</p> <p>・計画どおりの事業を実施することができた。</p> <p>・高校進学率も100%であり、対象となる子どもたちの状況に応じて支援を提供することができている。</p>				
	<p>今後の方向</p> <p>・学校との連携のあり方について学校や関係各課と情報交換、意見交換を行っていく。</p> <p>・委託事業所のキャパシティのことや参加人数等の状況を把握し、必要に応じて事業の拡充についても検討していく。</p>				
	<p>H29年度事業計画</p> <p>・子どもの学習支援事業を引き継ぎNPO法人青少年サポート協会、NPO法人湘南ライオン会、委託し、六会地区・湘南大庭地区・臨海地区にて事業を実施する。</p>				
	<p>課題・問題点</p> <p>・子どもの学習支援事業のあり方についての検討。</p> <p>・開所日数、開所時間についての検討。</p>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	担当部	教育部署		
311	特別支援教育整備事業			教育指導課		
<p>事業目的                      ・特別支援学級や通級指導教室など、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の特性に応じた教育の場の整備                      ・特別支援教育の充実</p> <p>事業内容                      特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育の充実や適切な支援など、本市の特別支援教育を推進するため、教育環境の整備を行う。</p>						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		中里小すまいる開設準備	中里小すまいる開級	通級指導教室開設準備	通級指導教室開級	
		大庭中に増設準備	大庭中に増設	秋葉台小開設準備	秋葉台小に開級	市立小に開級
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	●開設等についての検討 ・白浜養護学校の教育環境整備について研究 ・白浜養護学校の教育環境整備のため修繕	特別支援学級全校設置計画検討	特別支援学級	特別支援学級	特別支援学級
	予算額(千円)	17,825	11,049	2,356		
	決算額(千円)	15,946	H29繰越明許			
	執行率(%)	89.5				
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	<p>：秋葉台小学校に特別支援学級を設置するため、整備工事費等の増額補正を図った。                      ・先進的な他市の特別支援学級を視察し、白浜養護学校の課題の解決に向けて、各課と連携して検討を行った。                      ・通級指導教室在籍児童の在り方について検討した。</p>				
	H28年度進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・秋葉台小学校に特別支援学級を設置するための予算化が図れた。これにより、秋葉台小学校から複数の他の学区の特別支援学級に通学していた児童は、平成30年度から地域の学校に通うことができるようになり、駒香小学校特別支援学級の過大規模化の緩和にもつながる。                      ・特別支援学級については、全校設置計画の立案に向け、児童生徒のニーズの把握や特別支援学級仕様の見直し等、課題の整理に向けた情報収集を行った。                      ・通級指導教室に在籍する児童生徒のニーズを把握や効果的な指導形態について研究を行った。                      ・白浜養護学校における教室不足等の課題の解決に向けて、先進的な他市の特別支援学級を視察し、その上で、各課と連携して解決策について検討を進めた。</p>				
	評価	<p>評価理由                      ・秋葉台小学校に特別支援学級を設置するための予算化が図れた。                      ・白浜養護学校における教室不足等の課題の解決に向けて、先進的な他市の特別支援学級を視察し、その上で、各課と連携して解決策について検討を進めた。                      ・特別支援学級のニーズはあるが、児童数の減少等が見込まれないことから転用可能な教室が無く、設置が難しいことから転用可能な教室について、対応方針や対応策の検討が必要である。                      H28年度事業計画                      ・特別支援学級については、全校設置を目指して、特別支援学級仕様スタンダードを原案とし、通学する児童生徒の人数、転用可能教室の有無等を踏まえて検討していく。                      ・通級指導教室については、ニーズやその形態等も含めて、開設を検討していく。</p>				
	課題・問題点	<p>・特別支援学級のニーズはあるが、児童数の減少が当分の間、見込まれないことから特別支援学級を設置できる教室が無い未設置校について、対応方針や対応策について、引き続き検討する。                      ・通級指導教室については、ニーズの把握や効果的な指導の在り方、在籍校との連携のシステム構築等について、研究するとともに、開設を検討する。</p>				
	29年度事業計画	<p>藤沢市の特別支援教育の充実を目指して、特別支援学級、通級指導教室、特別支援学級において指導を希望する児童生徒の増加に対応するため、特別支援学級の全校設置計画を立て、設置を進める。                      ・白浜養護学校の教育環境整備を進める。                      ・通級指導教室のニーズの把握と在籍校との連携に努め、開設を検討する。</p>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	担当部	福祉部
243(165)	自立支援推進事業			生活保護課
<p>事業目的                      平成27年度から生活困窮者自立支援法施行に基づき、対象者を生活保護受給世帯だけでなく生活困窮世帯に拡大し支援を実施した。(H28)</p> <p>事業内容                      0歳から概ね20歳の子ども若者のいる生活保護受給世帯に対し、子ども支援員を配置し、ケースワーカーと共に関係機関と連携しながら日常生活支援、養育支援、教育支援、就労支援等、個別の寄り添い型の支援を行う。</p>				
	実施	→	→	→
	予算額(千円)	4,654	5,030	
	決算額(千円)	4,654	5,003	
	執行率(%)	100.0	99.5	
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	<p>支援件数 76世帯92人</p>		
	H28年度進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>・アウトリーチ型支援の実施により不登校・ひきこもり児童生徒を学校や学習支援事業所への定期通所に誘った。                      ・教育支援(子ども)の学校生活・進路等に関する支援 78人                      ※1人に対し、事業コード165の他の支援との重複もあり。</p>		
	評価	<p>評価理由                      ・アウトリーチ型支援の実施により不登校・ひきこもり児童生徒を学校や学習支援事業所への定期通所に誘った。                      ・教育支援(子ども)の学校生活・進路等に関する支援 78人                      ※1人に対し、事業コード165の他の支援との重複もあり。</p>		
	課題・問題点	<p>・引き続き、関係機関と連携し、切れ目のない寄り添い型の支援を実施していく。                      H29年度事業計画                      ・活動の理解を深めるため、小、中学校合同校長会で事業説明を実施。                      ・関係機関との役割確認のため交流研修の実施。(C SW・子ども健康課等)</p>		
	29年度事業計画	<p>学校・学校教育相談センターSSW・SC・学習支援事業所等との連携による不登校児童生徒の縮減。また、学習支援事業所通所支援した生徒については昨年度に引き続き高水準率100%を達成。継続支援中の高校生に対し高校と連携し中途退学防止を図っている。                      ・支援件数増加に伴う、支援員の業務量及び勤務時間の増加。</p>		

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	教育部
313	学校図書館管理運営事業	担当課	教育部
	事業目的	変更(ある場合)	教育指導課
	事業内容		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度	
	予算額(千円)	38,964	38,964
	決算額(千円)	38,712	38,736
	執行率(%)	99.4	99.4
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	<p>●学校図書館専門員の配置</p> <p>実施 → → → → →</p>	
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年、28年の2年計画で、藤沢市立学校図書館運営ガイドブックを作成した。司書教諭を中心とした学校の図書部と学校図書館専門員と図書ボランティアの役割分担や、ブック作成部会を中心に検討した。</li> <li>学校図書館専門員連絡会を年4回開催し、公立図書館との連携による情報の提供や研修や、ガイドブックの内容検討を実施した。</li> <li>小中合同の連絡会では、学校図書館の見学や各校の情報交換を行い、SIA担当者会と共催で研修会を実施した。</li> <li>年度末に活動報告書をもとめてカラーの冊子を作り、学校に配布し、情報や実践例の共有化を図った。</li> <li>本の整理整頓や棚作り、季節ごとの飾り付け、特集コーナーの設置などにより、学校図書館の整備が進められた。</li> <li>また、学校図書館専門員がよりエンゲージメントやフットワークを行うことで、学校図書館の活性化を図ることができた。</li> </ul>	
	評価	<p>H28年度の総合評価</p> <p>B</p>	
	評価の理由	<p>●「藤沢市立学校図書館運営指針」や「藤沢市立学校図書館運営ガイドブック」に基づき、司書教諭を中心とした教職員と、学校図書館専門員と、図書ボランティアが協働して学校図書館運営を進めるとともに、学校図書館の活用を図っていく。</p> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「藤沢市立学校図書館運営指針」や「藤沢市立学校図書館運営ガイドブック」に基づき、司書教諭を中心とした教職員と、学校図書館専門員と、図書ボランティアが協働して学校図書館運営を進めるとともに、学校図書館の活用を図っていく。</li> </ul>	
	課題・問題点	<p>H29年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「連絡会を年4回開催し、図書館専門員の技術の向上を図るとともに、市民図書館と連携し、学校に対して情報提供を行う。</li> <li>「藤沢市立学校図書館運営指針」や「藤沢市立学校図書館運営ガイドブック」に基づき、司書教諭を中心とした教職員と、学校図書館専門員と、図書ボランティアの役割分担を明確にし、学校図書館における授業支援や蔵書管理の方法を整理する。</li> <li>司書教諭連絡会を開催し、学校図書館運営ガイドブックの内容と、司書教諭の役割について共通理解を図る。</li> <li>年度末に活動報告書をもとめて冊子にし、学校に配付し、実践例の共有化を図る。</li> </ul>	

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当課	教育部
312	新入生サポート事業	担当課	学務保健課
	事業目的	変更(ある場合)	
	事業内容		
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度	
	予算額(千円)	25,535	26,038
	決算額(千円)	25,369	25,957
	執行率(%)	99.3	100.0
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	<p>●市質講師の配置</p> <p>実施 → → → → →</p>	
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画どおり小学校1年生に市質講師を適性に配置したことにより、基本教科を中心に生活言語を含めチームティーチングによるきめ細かな指導を行うことができ、教育効果の向上が図られた。</li> <li>研修を実施したことにより、担任とサポート講師の連携が深まるなど事業が円滑に行われた。</li> </ul>	
	評価	<p>H28年度の総合評価</p> <p>B</p>	
	評価の理由	<p>●計画どおりの事業を行うことができた。</p> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全小学校の第1学年に対して市質講師1人(5学級以上となる学校へは2人)配置の継続。</li> <li>事故防止研修の実施。</li> </ul>	
	課題・問題点	<p>H29年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全小学校の第1学年に対して市質講師1人(5学級以上となる学校へは2人)配置。</li> <li>校内研修各講師21時間。</li> <li>新任講師対象の研修会1回実施。</li> <li>全講師対象の研修会1回実施。</li> </ul>	
	課題・問題点	<p>●サポート講師の活用にあたり、新任管理職や若手教職員が増加する中、本事業の目的を再確認し、有効活用することが重要となっている。</p>	

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育総務課																																								
314(113)	学校ICT機器整備事業 (教育用・校務用PC)																																											
<p>事業目的 教育情報機器の活用による情報教育(情報モラル教育、パソコン技能の習得等)の推進 効果的な校務処理とその結果生み出される教育活動の質の改善</p> <p>事業内容 ・教育情報機器の整備 ・学校における情報モラル教育やパソコン技能の習得が求められていることに加え、藤沢市教育情報化推進計画に基づき、教育情報環境及び機器の整備を図り、児童生徒の学習の多くの場面における教育情報機器を活用した学習の充実を図る。 ・校務支援システムの構築・整備 ・藤沢市教育情報化推進計画に基づき、校務支援システムを整備することによって効果的かつセキュリテイの高い校務処理を行うことが可能にする。</p>																																												
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">●小学校校内LANの整備</td> </tr> <tr> <td>小・特LAN研究</td> <td>→</td> <td>大規模校5校</td> <td>大規模校5校</td> <td>小・特LAN</td> </tr> <tr> <td colspan="5">●小学校校務支援システムの整備</td> </tr> <tr> <td>小校務整備 105台追加 (累計210台)</td> <td>143台追加 (累計353台)</td> <td>71台追加105台更新 (累計424台)</td> <td>小校務整備 319台追加 (累計743台)</td> <td>小校務整備 319台追加 (累計1062台)</td> </tr> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>500,949</td> <td>541,962</td> <td>543,004</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>492,191</td> <td>529,483</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>98.3</td> <td>97.7</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>年次ごとの取組計画(今年度の効果・成果)          ・小学校校内LANの整備率5.0%(県平均69.1%)          ・小学校校務用パソコンの整備率33.3%(県平均117.4%)</p> <p>評価 B</p> <p>評価理由          ・「校内LANを整備した小学校2校のパソコン校において、タブレットパソコン等の教育情報機器を活用した学習等を行った。          ・ハイロケット2校の教員による合同研修会を開催し、両校の実践例を交換した。          ・映像を提示するテレビが小さすぎるなどの課題解決として、ハイロケット2校の5・6年生普通教室に、壁付け型電子黒板機能内蔵プロジェクターを合計10台設置した。設置した教室では活用機会が飛躍的に増加した。          ・小学校校務用PCを143台増設するとともに、特別支援学級等に校内LANを設置した。          (5人1台→3.3人1台)</p> <p>課題・問題点          ・小学校・特別支援学校の校内LANはハイロケット2校を除き未設置であるが、県内の約9割の教室がLAN設置済であることを考慮すると、本市の状況は大変厳しい状況にある。          ・小学校の校務用PCの整備率は、他市町と比較しても極めて低い状況であり、計画的かつ早急に整備を進める必要がある。          ・3月末に新学習指導要領が告示されたので、その内容を精査し、今後の計画立案に反映していく必要がある。</p>					H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	●小学校校内LANの整備					小・特LAN研究	→	大規模校5校	大規模校5校	小・特LAN	●小学校校務支援システムの整備					小校務整備 105台追加 (累計210台)	143台追加 (累計353台)	71台追加105台更新 (累計424台)	小校務整備 319台追加 (累計743台)	小校務整備 319台追加 (累計1062台)	予算額(千円)	500,949	541,962	543,004		決算額(千円)	492,191	529,483			執行率(%)	98.3	97.7		
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																																								
●小学校校内LANの整備																																												
小・特LAN研究	→	大規模校5校	大規模校5校	小・特LAN																																								
●小学校校務支援システムの整備																																												
小校務整備 105台追加 (累計210台)	143台追加 (累計353台)	71台追加105台更新 (累計424台)	小校務整備 319台追加 (累計743台)	小校務整備 319台追加 (累計1062台)																																								
予算額(千円)	500,949	541,962	543,004																																									
決算額(千円)	492,191	529,483																																										
執行率(%)	98.3	97.7																																										

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育総務課																														
321(337)	学校施設維持保全事業																																	
<p>事業目的 老朽化した校舎外壁等の改修や機械設備の更新工事を計画的に実施することで、学校施設の維持保全を図り、また児童・生徒が安心して学習できる教育環境を確保する。</p> <p>事業内容 ・校舎の外壁・屋上防水改修工事の実施 ・機械設備の改修・更新工事の実施 ・給排水設備、放送設備、エレベーター、プール)</p>																																		
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">●外壁・防水、各種機械設備改修・更新</td> </tr> <tr> <td>実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>170,387</td> <td>67,229</td> <td>149,084</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>135,698</td> <td>52,689</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>79.6</td> <td>78.2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>年次ごとの取組計画(今年度の効果・成果)          ・中学校1校の外壁等改修、中学校2校のプール給水ポンプ改修及び小学校2校、中学校1校の放送設備の買付に係る事業を実施した。</p> <p>評価 D</p> <p>評価理由          ・取組計画の実施校数に達しなかったため。          今後の方向          ・本計画及び「学校施設再整備第1期実施計画」に基づき事業を、計画に沿って進めていく。</p> <p>課題・問題点          ・経年による施設及び設備の老朽化が顕著であり、早急な対応が求められているが、その一方で学校や保護者からの要望が強いトイレ改修、空調設備の設置工事等の整備事業をバランスよく実施していくことが必要であり、本事業費予算を満額確保していくには難しい状況がある。</p>					H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	●外壁・防水、各種機械設備改修・更新					実施	→	→	→	→	予算額(千円)	170,387	67,229	149,084		決算額(千円)	135,698	52,689			執行率(%)	79.6	78.2		
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																														
●外壁・防水、各種機械設備改修・更新																																		
実施	→	→	→	→																														
予算額(千円)	170,387	67,229	149,084																															
決算額(千円)	135,698	52,689																																
執行率(%)	79.6	78.2																																



平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部		
322	学校適正配置研究事業			学務保健課		
				変更(ある場合)		
<p>事業目的 ・市立小中学校の適正な学校規模を維持することにより、学びの環境整備を図る。 ・児童生徒の通学の安全を確保する。</p> <p>事業内容 ・児童・生徒数の推移に対応した学校の適正配置を検討するため、学校の統廃合を含め、通学区域の再編・見直しの研究を行う。</p>						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→	→
予算額(千円)	0	0	0			
決算額(千円)	0	0	0			
執行率(%)	0.0%	0.0%				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)                      ・学校適正配置について、調査、研究を進めるため「藤沢市学校適正配置検討部会」を年2回開催した(5/28、8/25)。                      ・通学区域の課題について、引き続き「各学校」各領域ごとなど詳細に現状分析を行うとともに児童生徒の動向や市民要望等を注視しながら、調査・研究を進める。                      ・また、小規模校における統廃合を含めた見直しの基準について、検討し明確化していくため、調査・研究を進める。</p>					
	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)                      ・調査区域の課題について、引き続き「各学校」各領域ごとなど詳細に現状分析を行うとともに児童生徒の動向や市民要望等を注視しながら、調査・研究を進める。                      ・また、小規模校における統廃合を含めた見直しの基準について、検討し明確化していくため、調査・研究を進める。</p>					
	<p>H29年度 事業計画                      ・老朽化施設の耐力度調査を基に決定される学校施設再整備計画や宅地の大規模開発などを考慮し、引き続き過大規模校の解消に向け、シミュレーションによる学区の検討や通学区域の課題について調査・研究を行う。</p>					
	<p>課題・問題点                      ・通学区域の変更による過大規模の解消は困難な状況であり、学校に必要な施設面の確保や教職員配置の充実などの教育環境の整備が重要である。                      ・学校の適正規模から適正配置を考えると、通学区域の変更や学校の統廃合を検討する場合、地域住民の理解、通学時間・距離、通学路の安全や地域コミュニケーションの実態を踏まえ、総合的な配慮が必要であり、実現は非常に困難である。</p>					
	<p>評価の理由                      ・児童生徒数増減を基に学区の検討や通学区域の課題について調査・研究を行った。                      ・学校適正配置に大きく影響する大規模開発地域について、学校規模の状況の把握を行い、通学区域の変更による適正配置の研究を行った。                      今後の方向                      ・通学区域の課題について、引き続き「各学校」各領域ごとなど詳細に現状分析を行うとともに児童生徒の動向や市民要望等を注視しながら、調査・研究を進める。                      ・また、小規模校における統廃合を含めた見直しの基準について、検討し明確化していくため、調査・研究を進める。</p>					
	<p>H28年度の総合評価                      B</p>					
	<p>次年度                      継続</p>					

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部		
323(821)	学校施設改築・大規模改修事業(老朽化解消)			学校施設課		
				変更(ある場合)		
<p>事業目的 当初の計画では、平成29年度から「改築または大規模改修事業着手6校」であったが、公共施設再整備プランにおいて2校のみ実施事業として位置づけられ、残りの4校については検討事業となったため。(H29)</p> <p>事業内容 ・藤沢市学校施設再整備計画に基づき、老朽化している学校施設(校舎・屋内運動場等)の耐力度調査の実施並びに調査結果に基づく施設の改築または大規模改修を実施する。</p>						
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→	
予算額(千円)	62,511	55,955				
決算額(千円)	50,112	45,614				
執行率(%)	80.2	81.5				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)                      ・小学校4校、中学校1校の校舎等について耐力度調査を実施した。                      ・小学校4校 (校舎)                      明治小学校 (校舎)                      大進小学校 (校舎・屋内運動場)                      鶴沼小学校 (校舎・屋内運動場)                      長後小学校 (校舎・屋内運動場)                      ・中学校1校                      明治中学校 (校舎)</p>					
	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)                      ・小学校4校、中学校1校について耐力度調査を実施した。                      ・小学校4校 (校舎)                      明治小学校 (校舎)                      大進小学校 (校舎・屋内運動場)                      鶴沼小学校 (校舎・屋内運動場)                      長後小学校 (校舎・屋内運動場)                      ・中学校1校                      明治中学校 (校舎)</p>					
	<p>H29年度 事業計画                      ・老朽化施設の耐力度調査を基に決定される学校施設再整備計画や宅地の大規模開発などを考慮し、引き続き過大規模校の解消に向け、シミュレーションによる学区の検討や通学区域の課題について調査・研究を行う。</p>					
	<p>課題・問題点                      ・改築または大規模改修事業着手公共施設再整備プランにおいては、2校が実施事業に位置づけられ、平成29年度から事業の着手が可能となったが、検討事業に位置づけられている4校について、今後の再整備プランの検討の中で早期に実施事業として位置づけられることが必要である。</p>					
	<p>H28年度の総合評価                      B</p>					
	<p>次年度                      継続</p>					
	<p>評価の理由                      ・計画通り実施した。                      今後の方向                      ・本計画及び「学校施設再整備第1期実施計画」に基づく事業を、計画に沿って進めていく。</p>					
	<p>H29年度 事業計画                      ・全面改築基本構想委託                      鶴沼小学校                      ・屋内運動場改築事業基本・実施設計委託                      六会中学校</p>					

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部		
331	学校安全対策事業	教育振興課	教育指導課			
	事業目的	変更(ある場合)				
	児童生徒の安全確保及び学校の安全管理を図る。 ・児童生徒及び教職員の防犯意識を高め、安全・安心な環境での学習活動を図る。(H28)	変更(ある場合) スクールガード・リーダーの配置校数の目標を設定した。(平成31年度に全小学校区に配置予定のため)(H28)				
	事業内容	学校非常通報システムの整備・運用 スクールガード・リーダーの配置				
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
	実施	→	→	→	→	
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	20校	23校	27校	31校	35校
	予算額(千円)	11,855	15,375	13,265		
	決算額(千円)	11,732	12,776			
	執行率(%)	98.9	83.1			
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	学校非常通報システムは全55校で運用でき、スクールガード・リーダーを7地域23小学校区に77名配置した。				
	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内55校の非常通報システムを運用し、不審者侵入に備えた。</li> <li>市内7地域23小学校区にスクールガード・リーダーを配置し、児童生徒の登下校時や放課後の安全に寄与することができた。</li> </ul>				
	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>不審者侵入による非常通報はなく、児童生徒は守られていた。</li> <li>不審者出没時のスクールガード・リーダーの緊急対応や、日々の見守り活動は、犯罪の未然防止に大きく役立っている。</li> </ul>				
	今後の方向	引き続き、2つの事業を継続し、児童生徒の安全安心の確保に努めていく。				
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>H29年度事業計画</li> <li>学校非常通報システムの整備・運用</li> <li>スクールガード・リーダーの配置(8地域27小学校区に8名)</li> </ul>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部	
332	学校施設環境整備事業 (トイレ改修整備)	教育振興課	学校施設課		
	事業目的	変更(ある場合)			
	環境整備工事を計画的に進め、児童・生徒の教育環境の向上を図るとともに、学校間格差の解消を図る。	変更(ある場合) 平成29年度以降の計画を変更し、同31年度まで延伸。(H29)			
	事業内容	臭い、暗い、汚いトイレの3Kの問題や家庭トイレとの環境格差を解消するため、大便器の洋式化、床改修等を実施するとともに、便器を節水型に交換するなどのトイレ改修を実施する。			
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●小学校トイレ改修整備	●中学校トイレ改修整備			
	7校	3校	3校	3校	3校(2系統目)
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	3校	3校	3校	3校
	予算額(千円)	499,572	91,465	304,064	
	決算額(千円)	441,440	84,752		
	執行率(%)	88.4	92.7		
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	中学校1校の改修工事を完了			
	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校1校のトイレ改修工事を実施</li> <li>大庭中学校</li> </ul>			
	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度2月補正予算において、中学校3校の改修工事予算を編成。全額を平成29年度に明許繰越。</li> </ul>			
	今後の方向	改修工事実施対象校・中学校12校のうち、残り9校について、特定財源の確保に努めながら、継続して年次計画に基づき実施していく。			
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>H29年度事業計画</li> <li>中学校3校のトイレ改修工事を実施(明許繰越分)</li> <li>湘南台中学校</li> <li>高倉中学校</li> <li>善行中学校</li> </ul>			
	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の交付金の状況も厳しいなかで、財源の確保が非常に困難になっている。国の補正予算編成状況等にも注視し財源の確保に努め、今回変更(延伸)した事業を計画どおり進めていくことを目指す。</li> </ul>			

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部	学校施設課	
333	学校施設環境整備事業 (空調設備整備)	教育部	学校施設課			
	事業目的 環境整備工事を計画的に進め、児童・生徒の学習環境の向上を図るとともに、学校間格差の解消を図る。		変更(ある場合) 平成29年度以降の計画(校数)を変更した。 (H29)			
	事業内容 「学校生活、学習環境の向上を図るため、小学校普通教室の空調設備設置及び小・中学校管理諸室、特別教室の空調設備更新を実施する。」					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●小学校空調設備設置・更新	普通教室3校	普通教室6校	普通教室4校	普通教室7校	普通教室6校
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)					
	予算額(千円)	368,190	216,260	406,372		
	決算額(千円)	261,091	174,732			
	執行率(%)	70.9	80.8			
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	●小学校2校の設置を完了		●中学校空調設備更新		
		H28年度 総合評価		D		次年度 継続
	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校2校の空調設備設置工事を実施 2校とも給食調理室含む * 新林小学校、天神小学校</li> </ul>				
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>●計画では6校の予定であったが、2校の実施と なつたため。</li> </ul>				
	今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●設置、更新実施対象校について、特定財源の 確保に努めながら、年次計画に基づき継続し て実施していく。</li> </ul>				
	H29年度事業計画 (明許繰越分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校4校の空調設備設置工事を実施 (明許繰越分) * 浜見小学校 * 大庭小学校 * 湘南台小学校(給食調理室含む) * 駒寄小学校</li> </ul>				
	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国の交付金の状況も厳しいなかで、財源の確保が非常に 困難になっている。国の補正予算編成状況等にも注 視し財源の確保に努め、今回変更(延伸)した事業を計 画どおり進めていくことを目指す。</li> </ul>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	教育部	学校施設課	
334	学校施設環境整備事業 (グラウンド等整備)	教育部	学校施設課			
	事業目的 環境整備工事を計画的に進め、児童・生徒の学習環境の向上を図るとともに、学校間格差の解消を図る。		変更(ある場合)			
	事業内容 教育環境の向上を図るため、グラウンド等整備工事を実施する。					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●小学校グラウンド等整備	1校	→	→	→	→
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)					
	予算額(千円)	146,156	0	24,754		
	決算額(千円)	127,164	0			
	執行率(%)	87.0	0.0			
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	●中学校グラウンド等整備		H28年度 総合評価		次年度 継続
		●中学校グラウンド等整備		D		
	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●未実施のため</li> </ul>				
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>●未実施のため</li> </ul>				
	今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本計画及び77学校施設再整備第1期実施計画に 基づき事業を進めていく。</li> </ul>				
	H29年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サブグラウンド等整備工事 * 高浜中学校</li> </ul>				
	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特定財源の確保及び他の工事とのバランスを図り ながら優先順位を検討していく必要がある。 整備工事の予算が確保されないため、応急的に 修繕で対応し、学校運営に支障をきたさないよう 現状維持に努めている。</li> </ul>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 336	事業名 学校給食食器改善事業	担当部 教育部	担当課 学校給食課
事業目的 学校給食用の食器を改善することで、児童に正しい食習慣を身につけさせ、学校における食育の推進を図る。		変更(ある場合) 変更(ある場合) *事業終了年度を平成29年度に改算 *食器の名称を「磁器代替食器」から「樹脂食器」に変更(H28)	

施設の構造上給食用ワゴンの使用ができない学校に対し、アルマイト食器に代わる軽量の樹脂食器への変更をする。

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●樹脂食器への変更					
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	鶴洋小学校 片瀬小学校	片瀬小学校	明治小学校 辻堂小学校		
予算額(千円)	20,076	16,101	44,171		
決算額(千円)	19,444	15,381			
執行率(%)	96.9	95.5	0		

年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	H28年度の 総合評価	次年度
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) *片瀬小学校においてアルマイト食器をPEN樹脂食器に改 善した。 *評画どおり事業を実施した。	B	継続

評価の理由  
\*アルマイト食器を使用している残り2校の改善を行  
う。

H29年度事業計画  
\*明治小学校及び辻堂小学校においてアルマイト食器をPEN樹脂食器に改善する。

課題・問題点  
\*特になし

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 335	事業名 学校施設緑化推進事業(芝生化・壁面緑化)	担当部 教育部	担当課 学校施設課
事業目的 校庭等の一部芝生化及び校舎壁面緑化を推進することで、緑に囲まれた教育環境を確保するとともに、自然環境に対する意識向上を促す。また緑化活動を通じて地域交流を促進する取組を支援する。		変更(ある場合) *「芝生化」実施校については、学校ごとの状況に応じ、縮小を検討する。(H29)	

校庭等の一部を芝生として整備するとともに、校舎の壁面に緑のカンテンを設置する。またその継続的な取組を支援するため、資材の提供や啓発活動を実施する。

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
●校庭の芝生化					
実施	→	→	→	→	→
●壁面緑化					
新規3校	→	→	→	→	→
予算額(千円)	148,910	2,754	2,956		
決算額(千円)	128,727	2,520			
執行率(%)	86.4	91.5			

年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	H28年度の 総合評価	次年度
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) *芝生化既設校23校において、維持補修(管理)を実施。 *壁面緑化は全55校実施済	C	継続

評価の理由  
\*芝生化については、新たに小学校、中学校、中学校各1校の芝生化を予定したが未実施のため。  
\*壁面緑化については、前年度と同様に全校で実施済みのため。

今後の方向  
\*「芝生化」実施校については、維持補修(管理)を継続して実施するが、学校ごとの状況に応じ縮小についても検討する。  
\*壁面緑化については、苗、肥料、プランター等の配布の継続。

H29年度事業計画  
\*既設校の維持補修(管理)を実施する。  
\*壁面緑化は、苗、肥料、プランター等の配布。

課題・問題点  
\*校庭等の一部芝生化  
芝生の状態が悪化している学校がある。日常の管理において、教職員に負担がかかる。地域の協力が得られない等十分な管理体制が確保できない状況がある。このため、今後の維持が困難な学校については、縮小を検討する。  
\*壁面緑化  
\*特になし

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 337(321)	事業名 学校施設維持保全事業	担当部 教育部	担当課 学校施設課		
事業目的 老朽化した校舎外壁等の改修や機械設備の更新工事を計画的に実施することで、学校施設の維持保全を図り、また児童・生徒が安心して学習できる教育環境を確保する。		変更(ある場合)			
事業内容 ・校舎の外壁、屋上防水改修工事の実施 ・機械設備の改修、更新工事の実施 (給排水設備、放送設備、エレベーター、プール)					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●外壁屋上防水、各種機械設備改修、更新				
	実施	→	→	→	→
予算額(千円)	170,387	67,229	149,084		
決算額(千円)	135,698	52,589			
執行率(%)	79.6	78.2			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	・中学校1校の外壁等改修、中学校2校の プール給水ポンプ改修及び小学校2校、 中学校1校の放送設備の責務に係る事業 を実施した。		H28年度の 総合評価		
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			評価の理由		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校1校の外壁等改修工事 村岡中学校</li> <li>・中学校2校のプール給水ポンプ改修工事 善行中学校 鶴沼中学校</li> <li>・小学校2校、中学校1校の放送設備の責務(新規) <ul style="list-style-type: none"> <li>* 小学校2校 高谷小学校 亀井野小学校</li> <li>* 中学校1校 藤ヶ岡中学校</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組計画の実施校数に達しなかったため。</li> </ul>		
今後の方向			評価		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画及び「学校施設再整備第1期実施計画」 に基づき事業を、計画に沿って進めていく。</li> </ul>			D		
課題・問題点			H29年度事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年による施設及び設備の老朽化が顕著であり、早急な対応が求められているが、その一方で学校や保護者からの要望が強いトイレ改修、空調設備の設置工事等の整備事業をバランスよく実施していくことが必要であり、本事業費予算を満額確保していくには難しい状況がある。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1校のプール躯体塗装工事 明治小学校</li> <li>・中学校1校の外壁等改修工事 村岡中学校</li> </ul>		

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 338(822)	事業名 防災対策事業(津波対策)	担当部 教育部	担当課 学校施設課		
事業目的 津波浸水予測エリア内に位置する湘洋中学校の津波避難対策を実施し、生徒・教職員・近隣住民等の安全確保を図る。		変更(ある場合)			
事業内容 湘洋中学校は、津波浸水深から3階への避難が可能であるが、近隣住民等を含めた避難想定者を収容するため、新たな津波避難施設として4階建ての校舎棟を増築する。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●校舎棟(津波避難施設) 建設				
	実施設計	→	→	→	→
予算額(千円)	595,445				
決算額(千円)	38,965	397,656			
執行率(%)	100.0	100.0			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	増築工事が予定通り竣工した。		H28年度の 総合評価		
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)			評価の理由		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・増築工事 H27-H28年度の2ヶ年継続事業の2年目として 増築工事を実施し、予定通り竣工した。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が予定通り完了したため。</li> </ul>		
今後の方向			評価		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>			B		
課題・問題点			H29年度事業計画		

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 411	事業名 生涯学習推進事業	担当部 生涯学習総務課	担当課 生涯学習総務課																						
事業目的 ・市民活動団体や関係機関とのマルチパートナーシップ等の活用を図り、多様な学習機会や学習情報の提供を行うことにより、市民の生涯学習を推進する。 ・各種講座で習得した知識や技術・技能を生かして地域で主体的に活動することができる人材を育成・支援する。		変更(ある場合) 変更(ある場合)																							
事業内容 ・生涯学習大学事業の実施 ・大宮市民講座等各種講座の実施 ・生涯学習人材バンクの運営 ・生涯学習出張講座の実施 ・生涯学習情報の収集・提供と学習相談の実施 ・生涯学習ふじさわプランの進捗管理 ・生涯学習特別貢献表彰の実施																									
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●各種講座・事業の実施 実施 ●人材の育成・支援	H28年度 →	H29年度 →	H30年度 →	H31年度 →																				
予算額(千円)	5,385	5,615																							
決算額(千円)	5,180	5,421																							
執行率(%)	96.2	96.5																							
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	H28年度 生涯学習大学事業実施数19講座																								
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間をとおして、生涯学習情報収集・発信及び学習相談・情報提供を実施し、市民の学習を支援した。</li> <li>大学市民講座参加者数(4大学) (人)</li> <table border="1"> <tr> <th>講座名</th> <th>参加者数</th> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,017</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1,831</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,446</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>1,478</td> </tr> </table> </ul> <p>生涯学習大学事業の「地域デジタルコース」および「ゼミナールコース」では、市民活動のコーディネートを担当している団体に事業委託することにより、学びの成果を新たな活動(市民団体の発足)へつなげた。</p> <p>生涯学習大学事業の「市民講師養成コース」では、「人材バンク」登録者の積極的な活用を推進し、来場者数が増加した。また、「市民講師企画講座」を開催し、人材バンク登録者の積極的な活用を推進した。</p> <p>生涯学習大学事業の「ふじさわ基礎学コース」では、実施日や時間帯を工夫することにより、新たな参加者を獲得することができた。</p> <p>人材バンクの運営も順調に進み、市民の学習活動の支援と、学習成果の還元を推進することができた。</p> <p>出張講座実施・利用状況</p> <table border="1"> <tr> <th>実施状況</th> <th>利用状況</th> </tr> <tr> <td>登録件数</td> <td>派遣職員</td> </tr> <tr> <td>50課</td> <td>115人</td> </tr> <tr> <td>100講座</td> <td>2615人</td> </tr> <tr> <td>34講座</td> <td>34講座</td> </tr> </table> <p>「生涯学習ふじさわプラン2016」の平成27年度進捗管理を行った。</p> <p>生涯学習特別貢献表彰式を7回実施し、個人19人、団体16組に対して表彰を行った。</p> <p>課題・問題点 ・市民が郷土愛を醸成することができるよう、多様な学習プログラムを提供するとともに、様々な年代が学習に参加できるよう、場所や時間帯を再考していく必要がある。 ・藤沢市を取り巻く環境(オリンピック・パラリンピック、横浜型地域包括ケアシステム等)を踏まえた事業展開が必要である。</p>						講座名	参加者数	H28	1,017	H29	1,831	H30	1,446	H31	1,478	実施状況	利用状況	登録件数	派遣職員	50課	115人	100講座	2615人	34講座	34講座
講座名	参加者数																								
H28	1,017																								
H29	1,831																								
H30	1,446																								
H31	1,478																								
実施状況	利用状況																								
登録件数	派遣職員																								
50課	115人																								
100講座	2615人																								
34講座	34講座																								
<p>H29年度 生涯学習計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「草後中学校、秋葉台中学校及びひょうの浜中学校で中学校給食を実施</li> </ul>																									

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 339	事業名 中学校給食施設整備事業	担当部 教育課	担当課 学校給食課		
事業目的 ・成長期にある生徒の健康増進及び食育の推進を図る。		変更(ある場合) 変更(ある場合)			
事業内容 ・家庭からの弁当持参とデリバリー方式の給食の選択制を実施する。 ・栄養バランスの取れた食事を提供し、望ましい食習慣を養う。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●給食施設の整備 試行3校 (計5校)	H28年度 実施4校 (計9校)	H29年度 実施3校 (計12校)	H30年度 実施7校(計19校)	H31年度 継続
予算額(千円)	16,337	37,652	24,350		
決算額(千円)	16,026	33,822			
執行率(%)	98.1	89.8	0		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	中学校給食実施校 9校				
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・御所町中学校、高倉中学校、大庭中学校及び大清水中学校で中学校給食を実施</li> <li>・計画どおり事業を実施した。</li> </ul> <p>今後の方向 実施計画に基づき、順次実施校を拡大し、平成31年度には全19校において給食を実施する。</p> <p>H29年度 生涯学習計画 ・「草後中学校、秋葉台中学校及びひょうの浜中学校で中学校給食を実施</p>					
<p>課題・問題点 ・安定的に事業を継続するため、調理委託業務の契約方法を検討する必要がある。</p>					

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 412	事業名 地球温暖化対策普及啓発事業	担当部 環境部	担当課 環境総務課		
事業目的 市民、事業者、行政等が一体となってすべての主体が省エネ行動に取組むことにより、温室効果ガスの削減を図る。 (温室効果ガスを2022年度までに40%削減する)		変更(ある場合) 17年度の取組計画を「ふじさわ環境フェア」の開催に引き継ぎ、入場者数と出展団体を目標値として設定した。(H28)			
事業内容 地球温暖化防止のため、ふじさわ環境フェアの開催、環境ポータルサイトの運営、エコライフハンドブック概要版の配布など啓発施策を実施する。					
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●ふじさわ環境フェアの開催				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	入場者数 4,000人 出展団体 50団体	4,000人 50団体	4,000人 50団体	4,000人 50団体	4,000人 50団体
予算額(千円)	8,335	6,567	5,307		
決算額(千円)	6,746	5,534			
執行率(%)	80.9	84.3			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	ふじさわ環境フェア ・入場者数 4,061人 ・出展団体 42団体				
	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		評価の理由		
	【ふじさわ環境フェアの開催】 市民、環境団体、NPO法人、環境関連企業が一堂に会し、環境イベントを実施。 ・開催日：2016年11月12日(土) ・場所：藤沢市民会館 ・入場者数：4,061人 ・出展団体：42団体		【計画どおりの事業を行うことができた。】 ・環境ポータルサイトやエコライフハンドブック概要版については、節電意識を高める一助となった。 ・ふじさわ環境フェアの入場者、環境ポータルサイトの利用者ともにH27年度以上である。 ・環境フェアについては、これまでの施策を継続していくものの、新要要素を取り入れるなど、創意工夫により入場者等を増やすとともに、啓発効果を高める。 ・環境ポータルサイトについては、課題の解決に向け類似サイトとの統合の可能性を含め検討を進める。		
	【環境ポータルサイトの運営】 環境関連の情報提供のため、環境団体の活動状況等を掲載したポータルサイトを運営。 ・トータルサイト数：25,628,747 ・環境クリック募金クリック数：383,287,717		今後の方向 ・市民や団体のニーズに対応しながら、引き続き市民図書館・11市民図書館において資料の閲覧・貸出、レファレンス等のサービス事業を実施し、読書活動の推進、啓発に努め、安全・快適な利用環境を利用者等に提供して行く。		
	【エコライフハンドブック概要版の配布】 家庭でできる省エネ行動を紹介したエコライフハンドブック概要版を広報ふじさわと併せて配布した。 ・配布日：2016年7月25日 ・配布先：156,000部		H29年度事業計画 開催日：2017年12月8日(土) 場所：藤沢市民会館		
	【営業事業は、環境意識を高めることができるもの、温室効果ガス削減量にどの程度貢献しているのか数値化することが難しい。】 ・環境ポータルサイトに、コンテンツの充実やアクセンビリアの向上など、本サイトをより魅力的なものにするための適切な検討を行う必要がある。		課題・問題点 ・利用者に安心・安全な施設を提供するため維持管理に努めており、随時修繕等の対応はしているが、今後の施設の高齢化に伴う故障や破損、不具合の発生が増加することが予測され、計画的に対応していく必要がある。		

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 421	事業名 総合市民図書館運営管理事業	担当部 生涯学習部	担当課 総合市民図書館		
事業目的 市民が「学ばふ楽しむ」の喜び「役立つ情報」深い「思い」を育み、資料・情報・施設・サービスの提供を行う。 * H28年度より、「年次ごとの取組計画」の貸出冊数を変更。(H29)		変更(ある場合) 変更(ある場合) * H28年度より、「年次ごとの取組計画」の貸出冊数を変更。(H29)			
事業内容 市民の多様な学びを支援するために、4館・11市民図書館で資料・情報・施設を提供する。					
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	貸出件数 390万件/年	391万件/年	370万件/年	370万件/年	370万件/年
予算額(千円)	308,928	310,412	318,825		
決算額(千円)	305,364	305,347			
執行率(%)	98.8	98.4			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・4市民図書館・11市民図書館において資料の閲覧・貸出、レファレンス等のサービス事業を実施し、読書活動の推進、啓発に努め、安全・快適な利用環境を利用者等に提供して行く。 ・市民や団体のニーズに対応しながら、引き続き市民図書館・11市民図書館において資料・情報・施設を提供して行く。 ・総合市民図書館の運営に努め、清掃、整備等の施設維持管理に努め、安全で快適な利用環境を維持する。 ・本市民図書館に対するニーズや満足度を把握し、図書館サービスの評価・検証をするため、藤沢市図書館協議会により利用者アンケートを実施する。 H29年度事業計画 ・資料の閲覧・貸出、レファレンス等のサービスの実施 ・お茶会、映画会等の開催 ・お茶会・映画会等の開催 ・読書週間等における講座等の実施 ・展示コーナーの設置 ・会議室・ホール等の貸出 ・「図書館まつり」の開催 ・図書館協議会の開催 ・施設の維持管理 ・利用者アンケートの実施				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	生涯学習部			
422	総合市民図書館市民運営事業	担当課	総合市民図書館			
<p>事業目的 これまで図書館業務に携わってきた図書館業務員を中心として組織されたNPO法人に図書館運営を業務委託することにより、効率的・効果的な図書館運営と市民との協働による地域に密着した図書館サービスの実現を図る。</p> <p>事業内容 これまで図書館業務に携わってきた図書館業務員を中心として組織されたNPO法人に総合市民図書館と湘南大庭市民図書館の運営業務を委託する。総合市民図書館は、施設管理、予算執行、サービス業務の支援等を行うとともに、業務委託された図書館の運営状況を検証する。</p>						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		貸出件数 390万件/年	391万件/年	370万件/年	370万件/年	370万件/年
予算額(千円)	137,756	138,652	138,497			
決算額(千円)	136,566	137,416				
執行率(%)	99.1					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	貸出件数 370万件/年					
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		<p>・NPO法人に辻堂市民図書館・湘南大庭市民図書館の図書館運営業務を業務委託した。資料貸出・LPアラレンス等のサービス業務及びおはなし会等の事業を実施し、順調な運営が行われた。</p> <p>・総合市民図書館は、業務委託された図書館の運営状況を検証等を行った。</p> <p>・総合市民図書館管理職、NPO法人管理職及び事務局によるNPO連絡会議を開催し、情報交換を行うとともに指示・監督に努めた。</p> <p>・NPO法人による研修会に総合市民図書館並びに南市民図書館の職員が参加した。</p> <p>・各担当毎の研修などでNPO法人と交流を行い、知識の共有が図られた。</p> <p>・地域のニーズに即した事業が実施された。</p>				
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		<p>・辻堂市民図書館・湘南大庭市民図書館の2館とも円滑に運営され、従来の図書館サービスの水準を維持できている。</p> <p>・総合市民図書館は、NPO法人に運営業務を委託した辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館に対し、今後とも施設管理、予算執行、サービス業務の支援等を引き続き行う。</p> <p>今後の方向</p> <p>・総合市民図書館は、2館がNPO法人の特色を生かした地域に密着した図書館サービスの提供や市民交流事業を企画、実施ができるよう、引き続き支援を行う。</p>				
H29年度事業計画		<p>・総合市民図書館は、2館がNPO法人の特色を生かした地域に密着した図書館サービスの提供や市民交流事業を企画、実施ができるよう、引き続き支援を行う。</p> <p>・NPO法人による辻堂市民図書館と湘南大庭市民図書館の運営状況及び総合市民図書館の支援機能についての検証を継続する。</p>				
課題・問題点						

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	生涯学習部			
423	総合市民図書館整備事業	担当課	総合市民図書館			
<p>事業目的 安心で快適な読書環境を整備し、市民の満足度の向上を図る。</p> <p>事業内容 市民が安心して利用できる図書館施設を維持していくために4市民図書館の施設修繕と改修工事を行う。</p>						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		●施設修繕及び改修工事				
●全熱交換器一体型外調機改修工事						
予算額(千円)	20,498	4,731	0			
決算額(千円)	16,610	4,709				
執行率(%)	81.0	99.5				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果		<p>総合市民図書館全熱交換器一体型外調機改修工事実施</p>				
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		<p>・総合市民図書館の空調機器である全熱交換器一体型外調機の改修工事を行った。</p> <p>・安心で快適な環境を利用者に提供することができた。</p> <p>今後の方向</p> <p>・厳しい財政状況が継続し、公共施設の改修等に係る予算確保は困難さが増加しているが、老朽化した施設の維持・管理のため、計画的に施設修繕と改修工事を実施するよう努める。</p>				
H29年度事業計画		<p>予算計上は無いが、市民が安心して快適に利用できる図書館を維持するために必要な施設の整備・改修並びに施設修繕を行うための検証を進める。</p>				
課題・問題点		<p>・各施設の状況を把握し、利用者への影響がないように、引き続き、老朽化した施設設備の修繕計画を立て、施設修繕と改修工事を行っていく必要がある。</p>				



平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 424	事業名 図書館情報ネットワーク事業	担当部 総合市民図書館	生涯学習部			
	事業目的 資料・情報の迅速・的確な提供により市民サービスの向上を図る。 * H29年度より「年次ごとの取組計画」の図書館ホームページからの予約件数を変更。(H29)	担当課 変更(ある場合)				
	事業内容 図書館情報ネットワークシステムの維持管理及び県内公立図書館・市内大字図書館との連携を推進する。					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●図書館情報ネットワークシステムの維持管理等					
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	48万件	49万件	48万件	48万件	48万件
	予算額(千円)	39,245	38,667	27,426		
	決算額(千円)	39,236	38,610			
	執行率(%)	100.0	99.9			
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	図書館ホームページからの予約件数 に対するH28年度末 の成果				
		H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>4館コンピュータシステム及び機器の維持管理並びに11室のコンピュータ機器の維持管理を実施した。</li> <li>図書館ホームページを随時更新し、最新情報の提供に努めた。</li> <li>県内公立図書館及び市内大字図書館と連携を図り市民サービスの向上を図った。</li> <li>湘南地区図書館連絡会を開催し、近隣市図書館と情報交換を行った。</li> <li>市内4大字図書館と相互協力関係者勉強会を開催し、情報交換を行った。</li> <li>市民図書室のオンライン化に向けて、事務の見直しなど検討を行った。</li> <li>平成30年度のシステムのリプレイスに向け、平成29年度に実施予定のプロポーザルの準備を行った。</li> <li>4市民図書館及び11市民図書室の蔵書を一元管理するために、市民図書室の蔵書をシステムに登録するための準備を行った。</li> </ul>				
		<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館コンピュータシステムの維持管理を行い、利用者の利便性の向上が図れた。</li> <li>4館11室ネットワークシステムの充実及び県内公立図書館や市内大字図書館の連携が図れた。</li> <li>次期システムの仕様検討など、市民サービスの向上を図るための検討を進めることができた。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4館11室のネットワークシステムの更なる充実を図るとともに、県内公立図書館や市内大字図書館の一層の連携強化を図ることにより、図書館サービスの更なる向上に取り組んでいく。</li> </ul>				
		<p>H29年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年3月予定のシステムのリプレイスに向け、平成29年度末にプロポーザルの実施を予定している。</li> <li>市民図書室について、4館11室を一元管理し、市民利便性の向上を図るために、平成31年3月のリプレイスと同時にオンライン化を実施することの検討をさらに進める。</li> </ul>				
		<p>課題・問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズの多様化や高度情報化社会に対応するため、平成30年度の図書館コンピュータシステムのリプレイスに向け、新たな機能の追加として市民図書室の蔵書登録とオンラインシステム化を計画している。</li> <li>平成27年12月に総務省から示された自治体の情報セキュリティ強化対策に準じた形で次期図書館システムの設計を行い、システム全体のセキュリティを向上させる必要がある。</li> </ul>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 425	事業名 障がい者・高齢者への宅配サービス事業	担当部 総合市民図書館	生涯学習部			
	事業目的 図書館図書室に来館・来室することが困難な障がい者や高齢者の図書館利用を可能にし、市民サービスの向上を図る。 * H29年度より「年次ごとの取組計画」の宅配による貸出件数を変更。(H29)	担当課 変更(ある場合)				
	事業内容 図書館・図書室に来館・来室することが困難な障がい者や高齢者に対し、ポランテアにより図書館資料を宅配する。					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	7,450件	7,600件	7,000件	7,000件	7,000件
	予算額(千円)	673	673	673		
	決算額(千円)	637	631			
	執行率(%)	94.7	93.8			
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	宅配による貸出件数 に対するH28年度末 の成果				
		H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>延べ利用者数 1,831人</li> <li>貸出資料件数 6,902件</li> <li>自動車でのポランテア活動に対応するポランテア保険加入手続を行った。保険対象者 46人</li> <li>広報ふじさわに宅配サービスの利用者及びポランテアの募集記事掲載を行った。</li> <li>ポランテア交流会を開催した。11月17日(木) 参加者12名</li> <li>職員とポランテアが協力して宅配利用者に資料の紹介をするためのリストを作成した。</li> </ul>				
		<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ポランテア保険を活用することにより、ポランテアの活動範囲が広がり、待機ポランテアの解消につながった。</li> <li>利用者一人あたりの貸出件数が増加している。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内全域の利用希望者に対応できるよう、ポランテアの確保を図るとともにポランテアの育成をしていく。</li> <li>今サービスの利用している利用者に対し、資料の紹介を行うことによりより多くの資料にふれられるようにしていく。</li> </ul>				
		<p>H29年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ポランテアによる宅配サービスの実施</li> <li>広報ふじさわ、館内ポスター掲示、図書館ホームページ等による事業のPR及びポランテアの募集</li> <li>ポランテア交流会の開催</li> </ul>				

### 平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 426	事業名 子ども読書活動推進事業	事業目的 子どもが言葉を楽しむ、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより楽しく生きる力を身に付けることができるよう、子どもの読書環境を整備し、読書機会の充実を図る。	事業内容 『藤沢市子ども読書活動推進計画』に基づき、子どもの読書環境の整備と読書機会の充実を図る。 ブックスタート事業など子ども読書活動の推進に関する事業の実施 ・団体貸出など学校及び子どもに関わる施設・団体等との連携事業の充実 ・子ども読書に関わるボランティアの育成 ・学校図書館の運営等への支援				担当部署 総合市民図書館 変更(ある場合)			
			事業目的		事業内容		担当部署			
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	継続		
<b>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</b> 団体育貸出回数 750回 → 800回 → 850回 → 900回 → 950回 ブックスタート事業の実施 回数 → → → → → 交流会・研修会等の実施 回数 → → → → →			<b>予算額(千円)</b> 5,542 <b>決算額(千円)</b> 5,235 <b>執行率(%)</b> 94.5		<b>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</b> 団体育貸出回数 750回 → 800回 → 850回 → 900回 → 950回 ブックスタート事業の実施 回数 → → → → → 交流会・研修会等の実施 回数 → → → → →		<b>予算額(千円)</b> 11,164 <b>決算額(千円)</b> 10,575 <b>執行率(%)</b> 94.7		<b>H27年度</b> 9,340タイトル <b>H28年度</b> 9,400タイトル <b>H29年度</b> 9,470タイトル <b>H30年度</b> 9,540タイトル <b>H31年度</b> 9,610タイトル	<b>継続</b>
<b>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</b> 団体育貸出回数 750回 → 800回 → 850回 → 900回 → 950回 ブックスタート事業の実施 回数 → → → → → 交流会・研修会等の実施 回数 → → → → →			<b>予算額(千円)</b> 5,542 <b>決算額(千円)</b> 5,235 <b>執行率(%)</b> 94.5		<b>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</b> 団体育貸出回数 750回 → 800回 → 850回 → 900回 → 950回 ブックスタート事業の実施 回数 → → → → → 交流会・研修会等の実施 回数 → → → → →		<b>H27年度</b> 9,340タイトル <b>H28年度</b> 9,400タイトル <b>H29年度</b> 9,470タイトル <b>H30年度</b> 9,540タイトル <b>H31年度</b> 9,610タイトル		<b>継続</b>	

### 平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 427	事業名 点字図書館事業	事業目的 視覚障がい者の生活向上を図る。	事業内容 視覚障がい者への点字・録音図書等の製作・貸出サービス、文化レクリエーション活動への支援、点字指導及びボランティアの育成を行う。				担当部署 点字図書館事業 変更(ある場合) * H29年度より「年次ごとの取組計画」の蔵書数を変更。(H29)		
			事業目的		事業内容		担当部署		
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	継続	
<b>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</b> 蔵書数 9,340タイトル → 9,400タイトル → 9,470タイトル → 9,540タイトル ボランティア養成講座の開催 回数 → → → → → 交流会・研修会等の実施 回数 → → → → →			<b>予算額(千円)</b> 11,164 <b>決算額(千円)</b> 10,575 <b>執行率(%)</b> 94.7		<b>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</b> 蔵書数 9,340タイトル → 9,400タイトル → 9,470タイトル → 9,540タイトル ボランティア養成講座の開催 回数 → → → → → 交流会・研修会等の実施 回数 → → → → →		<b>H27年度</b> 9,340タイトル <b>H28年度</b> 9,400タイトル <b>H29年度</b> 9,470タイトル <b>H30年度</b> 9,540タイトル <b>H31年度</b> 9,610タイトル		<b>継続</b>
<b>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</b> 蔵書数 9,340タイトル → 9,400タイトル → 9,470タイトル → 9,540タイトル ボランティア養成講座の開催 回数 → → → → → 交流会・研修会等の実施 回数 → → → → →			<b>予算額(千円)</b> 11,164 <b>決算額(千円)</b> 10,575 <b>執行率(%)</b> 94.7		<b>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</b> 蔵書数 9,340タイトル → 9,400タイトル → 9,470タイトル → 9,540タイトル ボランティア養成講座の開催 回数 → → → → → 交流会・研修会等の実施 回数 → → → → →		<b>H27年度</b> 9,340タイトル <b>H28年度</b> 9,400タイトル <b>H29年度</b> 9,470タイトル <b>H30年度</b> 9,540タイトル <b>H31年度</b> 9,610タイトル		<b>継続</b>

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	変更(ある場合)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
428	新しい時代に即した「これからの図書館」について、更なる図書館サービスの充実を図る。	生涯学習部	総合市民図書館	変更(ある場合)						
	事業目的	新しい時代に即した「これからの図書館」について考え、方針・計画を策定し、実行することにより、更なる図書館サービスの充実を図る。								
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい時代に即した「これからの図書館」のあり方について研究・検討し、今後の図書館の運営方針及び計画を策定する。</li> <li>南市民図書館再整備にあたり、必要な機能・設備等について検討する。</li> </ul>								
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				
		●方針・計画等の策定の検討	→	→	→	→				
	実施	●南市民図書館再整備	→							
	検討		→	→	→	→				
	予算額(千円)	853	930	0						
	決算額(千円)	764	810							
	執行率(%)	89.6	87.1							
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) <ul style="list-style-type: none"> <li>「新しい時代に即した「これからの図書館」を考えるため、学習経験者、市民等11名で構成する「これからの図書館検討委員会」を平成27年度に引き続き7回開催し、①市民図書館11市民図書館の役割と新たな機能、②南市民図書館の再整備、③図書館サービス、④資料の収集・保存・整理、委員会として検討結果をまとめ、報告書を作成した。</li> <li>検討委員会において先進図書館の視察を行った。</li> <li>図書館・図書室利用者アンケート調査を実施した。</li> </ul>								
	評価	H28年度の総合評価			B		評価の理由			
	次年度	継続			・新しい時代に即した「これからの図書館」を考えるため、引き続き案内で、藤沢市図書館のあり方及び望まれる図書館サービスの実現に向けて検討していく。また、再整備の検討が必要となる南市民図書館について、具体的に検討を行っていく。					
	継続	H29年度事業計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>藤沢市図書館のあり方、望まれる図書館サービスの実現に向けて、職員による検討会議を行う。</li> <li>本市図書館に対するニーズや満足度等を把握するために、図書館協議会による利用者アンケートを実施する。</li> </ul>								
	課題・問題点	・本市の「これからの図書館」に望まれる図書館サービスの実現に向けて、具体的な方策を検討する必要がある。								

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	変更(ある場合)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
431	公民館運営事業	生涯学習部	公民館総務課	変更(ある場合)						
	事業目的	13地区の公民館において、地域が有する教育資源(人材、文化、学習成果等)を積極的に活用することで、市民の学習ニーズや地域課題を捉えるとともに、地域特性を生かした事業の展開を図る。								
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の生活を高めるために、学習を通じて人間関係を深め、豊かな地域づくりを進める。</li> <li>快適な学習環境の中で、市民の主体的学習活動の推進を図る。</li> </ul>								
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				
		●各種公民館事業の実施	→	→	→	→				
		●審議会等による公民館運営の調査・検討	→							
		●公民館施設維持・管理	→							
	実施		→	→	→	→				
	予算額(千円)	262,943	267,411	262,459						
	決算額(千円)	246,036	250,117							
	執行率(%)	93.6	93.5							
	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) <ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児家庭教育学級・高齢者学級等の学級・地域特性を生かした各種講座や公民館まつり等を実施した。</li> <li>公民館まつり等において、公民館まつり等を実施した。</li> <li>公民館まつり等において、公民館まつり等を実施した。</li> <li>公民館まつり等において、公民館まつり等を実施した。</li> </ul>								
	評価	H28年度の総合評価			B		評価の理由			
	次年度	継続			・公民館に関する講座及び事業の方向性について、審議会等からの意見に基づき定めた基本方針による事業展開を図ることになった。					
	継続	H29年度事業計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児家庭教育学級、高齢者学級等の学級・地域特性を活用した各種講座や公民館まつり等を実施する。</li> <li>公民館まつり等において、公民館まつり等を実施する。</li> <li>公民館まつり等において、公民館まつり等を実施する。</li> <li>公民館まつり等において、公民館まつり等を実施する。</li> </ul>								
	課題・問題点	・地域の学習拠点として、日々多様化する地域住民の学習ニーズに 대응するとともに、地域課題を解決するため、公民館職員の専門性の確保が求められている。								
		・公民館は、市民の学びの場であるとともに、地域コミュニティを活性化するための拠点であるため、住みやすい地域づくりを目標とする「藤沢型地域包括ケアシステム」の目指す将来の実現に近づくことができるような、事業を展開していく必要性が高まっている。								

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 432	事業名 藤沢公民館・村岡公民館再整備事業	担当部署 生涯学習部 生涯学習総務課		
<p>担当課 変更(ある場合) 変更(ある場合)</p>				
<p>事業目的 若狭・手賀状況の公民館の再整備を行い、アリアリア化や、村岡公民館について、年度ごとの取組計画の拡充などを行うことにより、市民がより一層学習活動や地域コミュニティ活動に参加しやすい施設とする。</p> <p>施設的安全性を確保するとともに、地区防災拠点としての機能向上を図る。</p>				
<p>事業内容 藤沢公民館等との複合化による再整備を行う。 村岡…地区のまちづくりの状況等を踏まえ、再整備を検討する。</p>				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
<p>●藤沢公民館</p>				
<p>基本設計 実施設計 建設工事 → 供用開始</p>				
<p>●村岡公民館</p>				
<p>→ 建設検討委員会設置 基本構想 基本設計</p>				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)				
予算額(千円)	0	0	0	
決算額(千円)	0	0	0	
執行率(%)	0.0	0.0		
<p>年次ごとの取組計画: 藤沢公民館・労働会館等複合施設建設実施 (年次ごとの目標値) 設計に着手。建て替え用地の既存建物(旧労働会館)を解体。 ::: 今後の再整備の方向性を地区住民に説明。 の成果</p>				
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<p>【藤沢公民館再整備事業】 ・年内検討プロジェクト会議を3回実施(H28まで計17回)。 ・地域団体及び施設利用者等への説明会をH28まで計24回開催(藤沢公民館主催) ・実施設計・一部解体工事(旧労働会館)の実施(産業労働課)</p> <p>【村岡公民館再整備事業】 ・今後の再整備の方向性について、全体集会で地区住民に説明。</p>			
予算額(千円)	130	140		
決算額(千円)	127	124		
執行率(%)	97.7	88.6		
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>				
<p>●公民館サークル美術写真展・高等学校美術展・藤沢市展・芸術文化展 ●カナガワビエンナーレ国際児童画展(隔年で実施)</p>				
実施	→	→	→	→
実施	実施	実施		実施
次年度				
			H28年度の 総合評価	評価
			B	B
<p>評価の理由 ・計画どおりの事業を行われており、出品作品数・入場者数ともに前年度より増加している。今年度の取組計画は、今年度の取組計画に概ね達成されている。今年度の取組計画は、今年度の取組計画に概ね達成されている。</p>				
<p>今後の方向 ・さらなる内容の充実を図っていくため、各事業の実行委員会において、今後も検討を進めていきたい。</p>				
<p>H29年度事業計画 ・第67回藤沢市展 ・芸術文化展 ・公民館サークル美術展 ・高等学校美術展 ・カナガワビエンナーレ国際児童画展</p>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 511	事業名 市民ギャラリー事業	担当部署 生涯学習部 文化芸術課		
<p>担当課 変更(ある場合) 変更(ある場合)</p>				
<p>事業目的 市民文化の支援と育成を図るとともに、市民の創作活動の充実を図る。</p>				
<p>事業内容 市民の芸術創作活動の推進及び美術作品鑑賞のための主催・共催等の事業を行う。 (公民館サークル美術写真展・高等学校美術展・カナガワビエンナーレ国際児童画展(隔年)、藤沢市展・芸術文化展など)</p>				
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
<p>●公民館サークル美術写真展・高等学校美術展・藤沢市展・芸術文化展</p>				
<p>→ 実施 → 実施(隔年で実施)</p>				
実施	実施	実施		実施
次年度				
		H28年度の 総合評価	評価	B
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>				
<p>●公民館サークル美術写真展・高等学校美術展・藤沢市展・芸術文化展(隔年)、藤沢市展・芸術文化展など)</p>				
実施	→	→	→	→
実施	実施	実施		実施
次年度				
		H28年度の 総合評価	評価	B
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>				
<p>●公民館サークル美術写真展・高等学校美術展・藤沢市展・芸術文化展(隔年)、藤沢市展・芸術文化展など)</p>				
実施	→	→	→	→
実施	実施	実施		実施
次年度				
		H28年度の 総合評価	評価	B
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>				
<p>●公民館サークル美術写真展・高等学校美術展・藤沢市展・芸術文化展(隔年)、藤沢市展・芸術文化展など)</p>				
実施	→	→	→	→
実施	実施	実施		実施
次年度				
		H28年度の 総合評価	評価	B
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>				
<p>●公民館サークル美術写真展・高等学校美術展・藤沢市展・芸術文化展(隔年)、藤沢市展・芸術文化展など)</p>				
実施	→	→	→	→
実施	実施	実施		実施
次年度				
		H28年度の 総合評価	評価	B
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>				
<p>●公民館サークル美術写真展・高等学校美術展・藤沢市展・芸術文化展(隔年)、藤沢市展・芸術文化展など)</p>				
実施	→	→	→	→
実施	実施	実施		実施
次年度				
		H28年度の 総合評価	評価	B
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>				
<p>●公民館サークル美術写真展・高等学校美術展・藤沢市展・芸術文化展(隔年)、藤沢市展・芸術文化展など)</p>				
実施	→	→	→	→
実施	実施	実施		実施
次年度				
		H28年度の 総合評価	評価	B
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>				
<p>●公民館サークル美術写真展・高等学校美術展・藤沢市展・芸術文化展(隔年)、藤沢市展・芸術文化展など)</p>				
実施	→	→	→	→
実施	実施	実施		実施
次年度				
		H28年度の 総合評価	評価	B
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p>				
<p>【第66回藤沢市展】 2016年5月24日(火)～6月12日(日) 出品作品688点 入場者数7,158人</p> <p>【芸術文化展】 2016年10月18日(火)～10月23日(日) 出品作品1111点 入場者数1,077人</p> <p>【公民館サークル美術展】 2016年11月22日(火)～11月27日(日) 出品作品312点 入場者数968人</p> <p>【公民館サークル美術展】 2016年11月29日(火)～12月4日(日) 出品作品195点 入場者数767人</p> <p>【高等学校美術展】 2017年1月10日(火)～1月15日(日) 出品作品848点 入場者数636人</p>				
<p>課題・問題点 ・各事業の実行委員会において、前年度の反省点を踏まえた内容の検討を行い、出品作品数や入場者数等の増加に努めていく必要がある。</p>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 512	事業名 文化芸術振興事業	担当部 生涯学習部	担当課 文化芸術課	変更(ある場合)	
<p>事業目的 本市が昨年培ってきた文化基礎と、市民が持つ醸成された芸術的能力を生かし、市民を主体とした文化芸術活動などを総合的に展開することにより、文化芸術創造都市として、市民が誇れる文化の創造・発展と、文化の薫りあふれるまちづくりを推進する。</p> <p>事業内容 ・ゆとりと潤いの実感できる、豊かな市民生活の実現のため、芸術振興事業(音楽・演劇)や体験発表事業などを実施し、文化芸術の鑑賞機会や活動の機会をさならせるとともに、市民とのパートナーシップによる文化芸術の振興や、魅力ある文化創造の策に向けた総合的な文化芸術事業の展開を図る。 ・市民文化振興事業を安定的・継続的に実施するため、「藤沢市文化振興基金」への積立・運用を行う。 ・市民文化振興事業・観劇などの演劇事業・若い世代の育成のためのアウトリーチ事業・文化芸術団体による文化事業・文化振興基金積立事業</p>					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●音楽事業・演劇事業・アウトリーチ事業・文化事業等 実施 公演入場者数、事業参加者数 31,000人 31,500人	H28年度 → 32,000人	H29年度 → 32,500人	H30年度 → 33,000人	H31年度 → 継続
予算額(千円)	119,537	116,274	148,704		
決算額(千円)	110,037	116,274			
執行率(%)	92.1	100.0			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・音楽事業の実施 5,731人 ・演劇事業の実施 2,666人 ・アウトリーチ(学校訪問)事業の実施 2,035人 ・文化事業の実施 12,950人 ・文化振興基金積立事業 合計26件 11,343,670円の寄付があった。</p> <p>計画どおりの事業を行うことができ、文化芸術の発信ができた。</p>				
	<p>評価の理由 ・計画どおりに事業を行うことで、文化芸術の発信が一定程度実施できている。</p> <p>今後の方向 ・市民を主体とした文化芸術活動を総合的に展開し、文化芸術の鑑賞や活動の機会をさならせるとともに、協賛・検討を行う。</p>				
	<p>H29年度事業計画 ・音楽事業 ・演劇事業 ・アウトリーチ(学校訪問)事業 ・文化事業 ・文化振興基金積立事業</p>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 513	事業名 市民文化創造事業	担当部 生涯学習部	担当課 文化芸術課	変更(ある場合)	
<p>事業目的 市民に元気を与え、地域社会を活性化させるため、魅力ある文化の創造・発展に努める。</p> <p>事業内容 文化芸術団体を始め、市民・NPO・ボランティアや企業などと行政が連携・協働して、文化芸術の人づくりや場づくりを進め、子どもから少年をも含めた将来の藤沢の文化芸術を担う人材の育成など、一人ひとりの個性や自分らしさを引き出し、多種多様な文化芸術の発見と発展につなげる。 (このころの劇場小学生招待事業・市民シアター第九演奏会(3年に1回開催)・市民力・地域力向上のための事業の検討・実施)</p>					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●このころの劇場小学生招待事業 招待者数(小学6学年等) 4,000人 ●第九演奏会実施 3,900人	H28年度 ●このころの劇場小学生招待事業 招待者数(小学6学年等) 4,000人 ●第九演奏会実施 3,700人	H29年度 → 3,800人 ●第九演奏会実施	H30年度 → 3,900人	H31年度 → 継続
予算額(千円)	6,970	6,457			
決算額(千円)	6,970	6,300			
執行率(%)	100.0	97.6			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・「このころの劇場」小学生招待事業 会場 藤沢市民会館大ホール 公演日 2016年6月2日(木)、3日(金) 4公演 演目 ミュージカル「エルゴスの祈り」 参加 市内37校(私立2校含む)4,080人 ・みらいをひらくワクワク体験ひろば 会場 藤沢市民会館 開催日 2017年3月11日(土)、12日(日) 参加 1,930人</p> <p>計画どおりの事業を行うことができ、小学校長会、関係団体との連携、調整がスムーズに行われた。</p>				
	<p>評価の理由 ・事業の実施について、小学校校長会・関係団体と調整を図り、連携・協働していく。</p> <p>今後の方向 ・このころの劇場小学生招待事業 会場 藤沢市民会館大ホール 公演日 2017年6月21日(水)、22日(木) 4公演 演目 ミュージカル「カンパンの大冒険」 ・みらいをひらくワクワク体験ひろば 会場 藤沢市民会館 日程 2018年3月24日(土)、25日(日)</p>				
	<p>H29年度事業計画 ・音楽事業 ・演劇事業 ・アウトリーチ(学校訪問)事業 ・文化事業 ・文化振興基金積立事業</p>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

Table with columns for project code (514), project name (Culture Activity Support Project), and progress from H27 to H31. It details funding, implementation of activities like music and dance, and evaluation of support for local cultural groups.

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

Table with columns for project code (515), project name (Culture Arts Activity Area Network Project), and progress from H27 to H31. It details funding, implementation of arts activities in various municipalities, and evaluation of cultural exchange and festival projects.

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 516	事業名 アーティストベースの運営事業	担当部 生涯学習部	担当課 文化芸術課	変更(ある場合)		
<p>事業目的 若手芸術家等の創作活動の支援、身近な芸術鑑賞の機会の提供、美術作品の展示・発表、及び美術学習の場の提供等を主な目的に、本市の美術振興の中核施設として運営する。</p> <p>事業内容 ・若手芸術家等の創作活動及び展示・発表等を支援する。 ・身近な場所で気軽に美術の鑑賞ができる機会を提供するための施設として「レジナルーム」及び「展示ルーム」を管理運営する。 ・個展や少人数グループ展に使用できるよう、「レジナルーム」及び「展示ルーム」を貸し出す。 ・子どもを対象とする「ワークショップ」や各世代で楽しめる「美術講座」を開催し、市民に体験的、学術的な美術学習の場を提供する。</p>						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●施設の利用				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	開設・供用開始 入場者及び利用者数	15,000人	30,000人	31,000人	32,000人	33,000人
予算額(千円)	64,360	68,098	66,040			
決算額(千円)	60,182	66,040				
執行率(%)	93.5	97.0				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	年間来館者数 30,647人					
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企画展Ⅰにこにあるけしき4つの小部屋から「J」開催 2016年4月23日～6月10日 参加作家:4人</li> <li>来館者数 2,138人 開催</li> <li>企画展Ⅱ Art Album 2016の開催 2016年7月2日～7月31日 sideA 参加作家:2人 *来館者数 2,370人 2016年8月6日～9月4日 sideB 参加作家:2人 *来館者数 3,135人</li> <li>全国公募展「Artists in FAS」 募集期間:2016年5月10日～6月12日(全国から69名が応募し、入選作家5人(うち1名は3HOTEL賞)) 制作期間:2016年8月2日～10月7日 展示期間:2016年10月8日～11月20日 *来館者数 2,385人</li> <li>「FUJISAWA DESIGN WEEK 北斎インスパイア展」の開催 2016年11月25日～12月18日 国内外の著名な作家・デザイナー等21名と地元作家4名が出品 来館者数 3,089人</li> <li>企画展Ⅲ「松本市美術館所蔵作品展 緑、自然そして草間彌生の開催 *来館者数16,582人</li> <li>企画展Ⅳ「つるの剛士展」の開催 2017年3月25日～5月7日 参加作家:つるの剛士 来館者数 956人(3月15日～3月31日の6日間)</li> </ul> <p>事業内容 ・アーティストベースがある湘南C-XC2街区は、特別景観形成地区であり、広告看板物の提出について、きめ細かな要件があるため、案内誘導サイン等の設置について工夫が必要となる。施設の場所を多くの人に知ってもらうために、集客力の高い展覧会を開催することも必要である。 ・施設の周知等について、他の公共的な施設や辻堂地域の商店街、及び民間施設と連携をしていく必要がある。</p>						
<p>評価の理由</p> <p>●企画展Ⅰ・Ⅱで地元藤沢を含む湘南の若手作家を起用したことにより、その支援を行うことができたこと、初めて全国公募展を開催したこと及び松本市美術館所蔵作品展や北斎インスパイア展、つるの剛士展など、パブリシティに富んだ、集客力のある企画展を開催したことにより、年間来館者数が目標値を上回り、施設の知名度が高まったため。</p> <p>今後の方向 ・引き続き若手芸術家等の創作活動の支援、美術鑑賞の機会、美術作品の展示・発表、及び美術学習の場の提供等を行うとともに、藤沢市が東京2020オリリンピックのセーリング会場となることを契機として、その気運の醸成につながる事業を展開していく。</p> <p>H29年度事業計画 ・藤沢(湘南)ゆかりの作家展「藤沢を中心として湘南地域で活動する若手作家を紹介する展覧会を開催する。」 ・「神奈川文化芸術未来館」を受賞した地元藤沢出身の作家「毛利悠子」氏の展覧会を開催する。 ・2回目となる全国公募展を開催する。 ・レジナルーム、展示ルームの一般への貸し出し、展覧会に関連したイベントの開催及び子どもや各世代で楽しめるワークショップ、美術講座を定期的に関催する。 ・藤沢市に在住している絵本作家「かこさとし」の展覧会を開催する。</p>						

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 517	事業名 文化ゾーン再整備事業	担当部 生涯学習部	担当課 文化芸術課・総合市民図書館	変更(ある場合)		
<p>事業目的 市民会館・南市民図書館については、文化ゾーンに位置し、ともに老朽化や機能劣化が著しい状況であるため、再整備を基本に、当該敷地を活用した周辺公共施設の機能集約を検討する。</p> <p>事業内容 老朽化や機能劣化が著しい市民会館と南市民図書館について、建て替えに向けた検討を進め、その強質や機能を検証するとともに、周辺公共施設の機能集約も検討する。</p>						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●あり方の検討				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	市民会館、南市民図書館それぞれに向けた建物調査	市民会館再整備に向けた建物調査	市民会館再整備に向けた建物調査	市民会館再整備に向けた建物調査	市民会館再整備に向けた建物調査	市民会館再整備に向けた建物調査
予算額(千円)	0	930	15,012			
決算額(千円)	0	810				
執行率(%)	0.0	87.1				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	市民会館の建物診断に向け、企画政策課および文化芸術課で内部調整を行った。市民会館再整備のあり方、機能確保の方針を整理					
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合市民図書館 平成28年度は、学識経験者、市民等11名で構成する「総合市民図書館検討委員会」を7回及び先進図書館視察を行うなど、今後の藤沢市図書館のあり方について検討し、審議した。(文化芸術課)</li> <li>企画政策課と建物診断についての調整を行い、平成29年度に実施する方向で調整を行った。</li> </ul> <p>評価の理由 ・文化芸術課、総合市民図書館において、再整備に向けた検討等は行ったものの、基本構想策定につながる動きにまでは至っていない。 ・文化ゾーンの再整備に向け、その事業手法の可能性について検討を進め、事業実施までに期間を要する場合は必要な範囲で現施設の改修を行っている。</p> <p>H29年度事業計画 ・図書館については、委員会からの報告書を受け、議内で今後の藤沢市図書館のあり方とともに、再整備の検討が必要な南市民図書館のあり方についても検討する。</p> <p>市民会館については、建物診断を実施し、その結果に基づき今後の方向性について内部検討を行う。</p>						

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 521	事業名 歴史遺産保存整備活用事業	担当部 生涯学習部	担当課 郷土歴史課
事業目的 歴史、文化の継承や地域の特性を生かした文化の発展を図る。		変更(ある場合)	
事業内容 市内に遺存する歴史的遺産を適正に保存・活用することで、歴史的遺産の文化的価値の維持・向上を図り、活用が図れるように整備する。			
H27年度	H28年度	H29年度	H31年度
●市指定文化財の指定	●市指定文化財の指定	●市指定文化財の指定	●市指定文化財の指定
1件	1件	1件	1件
●国登録文化財の登録	●国登録文化財の登録	●国登録文化財の登録	●国登録文化財の登録
1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
●指定・登録候補文化財の調査・検討・調整	●指定・登録候補文化財の調査・検討・調整	●指定・登録候補文化財の調査・検討・調整	●指定・登録候補文化財の調査・検討・調整
実施	実施	実施	実施
280	290	660	
決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
280	290	660	
100.0	100.0		
執行率(%)	執行率(%)	執行率(%)	執行率(%)
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)
市指定文化財は目標値どおり1件新たに指定された。国登録文化財は1箇所の登録申請と1箇所の届出を行った。	市指定文化財は目標値どおり1件新たに指定された。国登録文化財は1箇所の登録申請と1箇所の届出を行った。	市指定文化財は目標値どおり1件新たに指定された。国登録文化財は1箇所の登録申請と1箇所の届出を行った。	市指定文化財は目標値どおり1件新たに指定された。国登録文化財は1箇所の登録申請と1箇所の届出を行った。
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)
●市指定文化財 養命寺の木造日光・月光菩薩立像1件(2体)の指定をした。大芳大工資料、旧三善家資料、遊行寺の念仏踊りについて、指定にむけた調査を実施した。(継続調査)	●市指定文化財 養命寺の木造日光・月光菩薩立像1件(2体)の指定をした。大芳大工資料、旧三善家資料、遊行寺の念仏踊りについて、指定にむけた調査を実施した。(継続調査)	●市指定文化財 養命寺の木造日光・月光菩薩立像1件(2体)の指定をした。大芳大工資料、旧三善家資料、遊行寺の念仏踊りについて、指定にむけた調査を実施した。(継続調査)	●市指定文化財 養命寺の木造日光・月光菩薩立像1件(2体)の指定をした。大芳大工資料、旧三善家資料、遊行寺の念仏踊りについて、指定にむけた調査を実施した。(継続調査)
●国登録有形文化財 盛岩寺境内に移築された、旧雨合商店店舗兼主屋(1箇所)の登録の申請があった。	●国登録有形文化財 盛岩寺境内に移築された、旧雨合商店店舗兼主屋(1箇所)の登録の申請があった。	●国登録有形文化財 盛岩寺境内に移築された、旧雨合商店店舗兼主屋(1箇所)の登録の申請があった。	●国登録有形文化財 盛岩寺境内に移築された、旧雨合商店店舗兼主屋(1箇所)の登録の申請があった。
●旧東海通藤沢宿内の旧石菅根商店店舗兼主屋(1箇所)の登録へ向けた届出を行った。	●旧東海通藤沢宿内の旧石菅根商店店舗兼主屋(1箇所)の登録へ向けた届出を行った。	●旧東海通藤沢宿内の旧石菅根商店店舗兼主屋(1箇所)の登録へ向けた届出を行った。	●旧東海通藤沢宿内の旧石菅根商店店舗兼主屋(1箇所)の登録へ向けた届出を行った。
●候補物件の調査 鶴沼海岸に所在する尾日向邸(1箇所2件)と旧東海道藤沢宿街なみ継承地区内の大鯉に所在する(仮称)旧鈴木商店店舗兼主屋(1箇所)の登録へ向けた調査を実施した。	●候補物件の調査 鶴沼海岸に所在する尾日向邸(1箇所2件)と旧東海道藤沢宿街なみ継承地区内の大鯉に所在する(仮称)旧鈴木商店店舗兼主屋(1箇所)の登録へ向けた調査を実施した。	●候補物件の調査 鶴沼海岸に所在する尾日向邸(1箇所2件)と旧東海道藤沢宿街なみ継承地区内の大鯉に所在する(仮称)旧鈴木商店店舗兼主屋(1箇所)の登録へ向けた調査を実施した。	●候補物件の調査 鶴沼海岸に所在する尾日向邸(1箇所2件)と旧東海道藤沢宿街なみ継承地区内の大鯉に所在する(仮称)旧鈴木商店店舗兼主屋(1箇所)の登録へ向けた調査を実施した。
●江の島道沿いの歴史的建造物の所在調査を実施した。	●江の島道沿いの歴史的建造物の所在調査を実施した。	●江の島道沿いの歴史的建造物の所在調査を実施した。	●江の島道沿いの歴史的建造物の所在調査を実施した。
課題・問題点 ●国登録文化財 登録される建造物の多くは、現在も使用、居住されているため公開・活用が難しい。	課題・問題点 ●国登録文化財 登録される建造物の多くは、現在も使用、居住されているため公開・活用が難しい。	課題・問題点 ●国登録文化財 登録される建造物の多くは、現在も使用、居住されているため公開・活用が難しい。	課題・問題点 ●国登録文化財 登録される建造物の多くは、現在も使用、居住されているため公開・活用が難しい。
市指定文化財 養命寺の本堂天井について指定に向けた調査を実施する。	市指定文化財 養命寺の本堂天井について指定に向けた調査を実施する。	市指定文化財 養命寺の本堂天井について指定に向けた調査を実施する。	市指定文化財 養命寺の本堂天井について指定に向けた調査を実施する。
国登録文化財 龍口寺の建物について登録へ向けた調整にはいる。	国登録文化財 龍口寺の建物について登録へ向けた調整にはいる。	国登録文化財 龍口寺の建物について登録へ向けた調整にはいる。	国登録文化財 龍口寺の建物について登録へ向けた調整にはいる。

事業コード 522	事業名 文化財保護事業	担当部 生涯学習部	担当課 郷土歴史課
事業目的 歴史、文化の継承や地域の特性を生かした文化の発展を図る。		変更(ある場合)	
事業内容 市内に遺存する歴史的遺産を適正に保存・活用することで、歴史的遺産の文化的価値の維持・向上を図り、活用が図れるように整備する。			
H27年度	H28年度	H29年度	H31年度
●遺跡調査速報展の開催(H29は予定無し)	●遺跡調査速報展の開催(H29は予定無し)	●遺跡調査速報展の開催(H29は予定無し)	●遺跡調査速報展の開催(H29は予定無し)
●保存管理奨励交付金の交付	●保存管理奨励交付金の交付	●保存管理奨励交付金の交付	●保存管理奨励交付金の交付
●修理等補助金の交付	●修理等補助金の交付	●修理等補助金の交付	●修理等補助金の交付
●江の島道標の移設(H28年度に終了)	●江の島道標の移設(H28年度に終了)	●江の島道標の移設(H28年度に終了)	●江の島道標の移設(H28年度に終了)
●文化財説明板の設置	●文化財説明板の設置	●文化財説明板の設置	●文化財説明板の設置
実施	実施	実施	実施
2,370	3,613	3,467	
決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
2,304	3,521	3,467	
97.2	97.5		
執行率(%)	執行率(%)	執行率(%)	執行率(%)
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)
遺跡調査速報展の開催(4,384名)	遺跡調査速報展の開催(4,384名)	遺跡調査速報展の開催(4,384名)	遺跡調査速報展の開催(4,384名)
保存管理奨励交付金の交付 1,596,000円	保存管理奨励交付金の交付 1,596,000円	保存管理奨励交付金の交付 1,596,000円	保存管理奨励交付金の交付 1,596,000円
修理等補助金の交付 1,792,000円	修理等補助金の交付 1,792,000円	修理等補助金の交付 1,792,000円	修理等補助金の交付 1,792,000円
江の島道標の移設 1箇所	江の島道標の移設 1箇所	江の島道標の移設 1箇所	江の島道標の移設 1箇所
文化財説明板の設置 2箇所	文化財説明板の設置 2箇所	文化財説明板の設置 2箇所	文化財説明板の設置 2箇所
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)
●遺跡調査速報展 「第17回遺跡調査速報展」同時開催「大地に刻まれた藤沢の歴史V展(11/15～1/29(59日間))」を藤沢市民ギャラリー常設展示室にて開催した。入場者は4,384名である。	●遺跡調査速報展 「第17回遺跡調査速報展」同時開催「大地に刻まれた藤沢の歴史V展(11/15～1/29(59日間))」を藤沢市民ギャラリー常設展示室にて開催した。入場者は4,384名である。	●遺跡調査速報展 「第17回遺跡調査速報展」同時開催「大地に刻まれた藤沢の歴史V展(11/15～1/29(59日間))」を藤沢市民ギャラリー常設展示室にて開催した。入場者は4,384名である。	●遺跡調査速報展 「第17回遺跡調査速報展」同時開催「大地に刻まれた藤沢の歴史V展(11/15～1/29(59日間))」を藤沢市民ギャラリー常設展示室にて開催した。入場者は4,384名である。
●保存管理奨励交付金の交付 40管理者72件の指定文化財に対し、1,596,000円交付した。	●保存管理奨励交付金の交付 40管理者72件の指定文化財に対し、1,596,000円交付した。	●保存管理奨励交付金の交付 40管理者72件の指定文化財に対し、1,596,000円交付した。	●保存管理奨励交付金の交付 40管理者72件の指定文化財に対し、1,596,000円交付した。
●修理等補助金の交付 鶴沼皇大神宮人形山車(原町)に対し1,000,000円交付した。常光寺の木造地藏菩薩立像に対し792,000円交付した。	●修理等補助金の交付 鶴沼皇大神宮人形山車(原町)に対し1,000,000円交付した。常光寺の木造地藏菩薩立像に対し792,000円交付した。	●修理等補助金の交付 鶴沼皇大神宮人形山車(原町)に対し1,000,000円交付した。常光寺の木造地藏菩薩立像に対し792,000円交付した。	●修理等補助金の交付 鶴沼皇大神宮人形山車(原町)に対し1,000,000円交付した。常光寺の木造地藏菩薩立像に対し792,000円交付した。
●江の島道標の移設 片瀬市民センター構内の道標を大源太公園に移設した。(片瀬地区まちづくり事業「江の島道標の整備事業」に基づき実施)	●江の島道標の移設 片瀬市民センター構内の道標を大源太公園に移設した。(片瀬地区まちづくり事業「江の島道標の整備事業」に基づき実施)	●江の島道標の移設 片瀬市民センター構内の道標を大源太公園に移設した。(片瀬地区まちづくり事業「江の島道標の整備事業」に基づき実施)	●江の島道標の移設 片瀬市民センター構内の道標を大源太公園に移設した。(片瀬地区まちづくり事業「江の島道標の整備事業」に基づき実施)
●文化財説明板の設置(132,300円)	●文化財説明板の設置(132,300円)	●文化財説明板の設置(132,300円)	●文化財説明板の設置(132,300円)
常光寺の木造地藏菩薩立像、江の島道標(大源太公園)の文化財説明板を設置した。	常光寺の木造地藏菩薩立像、江の島道標(大源太公園)の文化財説明板を設置した。	常光寺の木造地藏菩薩立像、江の島道標(大源太公園)の文化財説明板を設置した。	常光寺の木造地藏菩薩立像、江の島道標(大源太公園)の文化財説明板を設置した。
課題・問題点 ●文化財説明板の設置については、既存の説明板の修繕を優先して行うことがあり、新たに指定を受けたもの対応ができないケースがある。	課題・問題点 ●文化財説明板の設置については、既存の説明板の修繕を優先して行うことがあり、新たに指定を受けたもの対応ができないケースがある。	課題・問題点 ●文化財説明板の設置については、既存の説明板の修繕を優先して行うことがあり、新たに指定を受けたもの対応ができないケースがある。	課題・問題点 ●文化財説明板の設置については、既存の説明板の修繕を優先して行うことがあり、新たに指定を受けたもの対応ができないケースがある。
●修理等補助金については、予測できない修繕が生じることが多く、年度内の遅やかな対応が難しいケースがある。	●修理等補助金については、予測できない修繕が生じることが多く、年度内の遅やかな対応が難しいケースがある。	●修理等補助金については、予測できない修繕が生じることが多く、年度内の遅やかな対応が難しいケースがある。	●修理等補助金については、予測できない修繕が生じることが多く、年度内の遅やかな対応が難しいケースがある。
H29年度事業計画 ●保存管理奨励交付金については、新指定の文化財(養命寺 木造日光・月光菩薩立像)の管理者に追加で交付する。	H29年度事業計画 ●保存管理奨励交付金については、新指定の文化財(養命寺 木造日光・月光菩薩立像)の管理者に追加で交付する。	H29年度事業計画 ●保存管理奨励交付金については、新指定の文化財(養命寺 木造日光・月光菩薩立像)の管理者に追加で交付する。	H29年度事業計画 ●保存管理奨励交付金については、新指定の文化財(養命寺 木造日光・月光菩薩立像)の管理者に追加で交付する。
●修理等補助金については、養命寺 木造日光・月光菩薩立像の修理に交付する。	●修理等補助金については、養命寺 木造日光・月光菩薩立像の修理に交付する。	●修理等補助金については、養命寺 木造日光・月光菩薩立像の修理に交付する。	●修理等補助金については、養命寺 木造日光・月光菩薩立像の修理に交付する。
●文化財説明板は盛岩寺の旧雨合商店店舗兼主屋を新たに設置する。	●文化財説明板は盛岩寺の旧雨合商店店舗兼主屋を新たに設置する。	●文化財説明板は盛岩寺の旧雨合商店店舗兼主屋を新たに設置する。	●文化財説明板は盛岩寺の旧雨合商店店舗兼主屋を新たに設置する。



平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 523	事業名 広域連携展示事業	生涯学習部 郷土歴史課 変更(ある場合) 変更(ある場合)				
広域連携により事業を実施することで、相互の資源の有効活用による幅広い公開活用事業の展開を図り、それにより市民へ多様な公開を行う。						
事業目的 茅ヶ崎市美術館を利用した共同作業による展示会を、広域文化活動部会事業に位置づけ開催する。						
事業内容 ●合同美術展実施 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) 入場者数 3,000人 515文化芸術活動広域ネットワーク事業の中に統合された)						
予算額(千円)	1,124	0				
決算額(千円)	0					
執行率(%)	0.0					
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度			H28年度の総合評価		評価の理由
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度			H28年度の総合評価		評価の理由
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	(参考)H27年度事業報告 ・湘南地域の文化振興を図るために、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町にゆかりのある作品を展示する展示会を開催した。 名称「絵はがきになった湖南の風景」 開催期間：平成27年12月6日(日)～平成28年1月31日(日) 会場：茅ヶ崎市美術館 展示室1 観覧料：無料 関連事業：展示関連講演会(給養書に見る南湖院) 茅ヶ崎市美術館 展示室1 平成27年12月13日(日) キヤラートーク(市町担当者による展示解説) 平成28年1月19日(土) 平成28年1月16日(土) 平成28年1月23日(土) 展示資料：54点 観覧者数：3,606人(1日平均観覧者数：88人)					
H29年度事業計画	H29年度事業計画 ・広域文化活動事業として整理され、H28年度より担当が文化芸術課に変更となった。					

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 524	事業名 文化財収蔵庫整備事業	生涯学習部 郷土歴史課 変更(ある場合) 変更(ある場合)				
文化財収蔵庫の集約化と適正な文化財の収集・整理・保管・活用 事業名を変更(H28)						
事業目的 市内各所に分散、老朽化した収蔵庫の集約化と文化財の適正な収集・整理・保管・活用ができる施設について検討を進める。						
事業内容 ●文化財等資料整理・保管方法の検討 → 収蔵資料の整理と文化財収集方針の検討 保管施設整備方針策定(保管施設整備準備金特種決定) 保管施設整備基本計画策定 年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値) 保管施設整備方針策定 実施						
予算額(千円)	0	0	0			
決算額(千円)	0	0				
執行率(%)	0	0				
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度			H28年度の総合評価		評価の理由
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 H31年度			H28年度の総合評価		評価の理由
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	・前年度に引き続き、公共施設の再利用を前提として、収蔵庫の集約に向けた文化財の整理に必要機能等について検討し、収蔵庫を統合する方向で検討を進めた。 H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・前年度に引き続き、公共施設の再利用を前提として、収蔵庫の集約に向けた文化財の整理方針と、新たな収蔵庫に必要機能等について検討し、収蔵庫を統合する方向で検討を進めた。					
H29年度事業計画	H29年度事業計画 ・前年度までの検討内容をふまえ、現存する収蔵品の整理と、今後の文化財の収集に関する考え方をまとめる。 ・新たな収蔵庫の規模、必要な機能等を整理し、保管施設整備方針をまとめる。					

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 525	事業名 映像資料保存公開事業	担当部 生涯学習部	担当課 郷土歴史課		
事業目的 市民との協働によって映像記録の収集・公開を行い、市民の生涯学習の向上と歴史や民俗・文化の継承を図る。		変更(ある場合)			
事業内容 ・現在保有する映像資料を劣化から守るため、新たなメディアに保存するなどの整備を進め、将来の市民に映像資産を引き継ぐ。 ・フィルムの特撮・清掃・修繕 ・フィルム(保存用)・DVD(公開用)作成 ・市民との協働で上映会開催及び映像資料の調査・収集 ・記録映画等を制作して地域文化を継承					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●フィルム資料のDVD化・上映会開催				
	実施	→	→	→	→
	●記録映画制作	→	→	→	→
予算額(千円)	119	221	100		
決算額(千円)	119	221	100		
執行率(%)	100.0	100.0			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	所蔵フィルムのDVD化 2本 上映会開催 2回				
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	●所蔵フィルム(「江の島」東洋のマイアミビーチ「江の島」)をDVD化した。				
・図書館で地名の会と共催で地名映画会を開催した。 ・ふじさわ居交流館において所蔵フィルムの上映会を行った。	●フィルムをDVD化を推進して保存を図ることも に、買出や上映会に対応できるようにする。				
今後の方向					
H29年度事業計画 ・保存フィルム1本のDVD化を実施。 ・記録作成対象の選定を行い、シナリオ調査する。					
課題・問題点 ・フィルムのDVD化にあたり、将来に残すものとして、映像の品質が十分ではない。					

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 526	事業名 歴史建造物維持活用事業	担当部 生涯学習部	担当課 郷土歴史課		
事業目的 郷土の歴史、文化資産として歴史の建造物を維持、保存するとともに、公開、活用すること文化の向上を図る。		変更(ある場合) 事業名を変更(H28)			
事業内容 ・旧三鶯八郎右衛門家住宅等、歴史的建造物の維持、保存 ・古民家を活用した事業の実施					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	●旧三鶯家の公開 ●古民家を利用した事業				
	実施	→	→	→	→
	●記録映画制作	→	→	→	→
予算額(千円)	4,482	4,482	4,482		
決算額(千円)	4,191	4,195			
執行率(%)	93.5	93.6			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	旧三鶯家の公開 1,765人 古民家を利用した事業 6回				
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	●旧三鶯邸の公開を、明治地区郷土資料室に委託して、週2回(10時～15時)実施した。来館者 1,765人 ・古民家を活用した事業として、旧三鶯邸で和楽器演奏と合わせた紙芝居を1回、講演会を1回、和楽器の演奏と合わせた紙芝居を1回開催、総合市民図書館と協働で昔話を1回開催した。				
・旧三鶯邸の公開を、明治地区郷土資料室に委託して、週2回(10時～15時)実施した。来館者 1,765人 ・古民家を活用した事業として、旧三鶯邸で和楽器演奏と合わせた紙芝居を1回、講演会を1回、和楽器の演奏と合わせた紙芝居を1回開催、総合市民図書館と協働で昔話を1回開催した。	●旧三鶯邸の展示会が好評で多くの方に旧三鶯邸と展示を見ていただくことができた。				
今後の方向 ・引き続き、旧三鶯邸を中心に歴史的建造物の維持、活用を図る。					
H29年度事業計画 ・旧三鶯邸の公開(週2日、10時～15時) ・旧三鶯邸、旧小池邸を活用した事業の実施。					

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	生徒学習部	郷土歴史課
527	歴史資料公開活用事業				
<p>展示会場等により、地域の歴史・文化に対する理解を深め、郷土愛の醸成を促す。</p> <p>事業目的 地域施設における展示事業実施、学校等における郷土資料講座の実施、電子博物館の整備等、公開活用事業の充実を図る。</p> <p>事業内容 ●歴史資料公開活用事業の実施</p>					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H31年度
展示会開催延日数 300日		300日	300日	300日	300日
予算額(千円)	3,707	3,658	3,660		
決算額(千円)	3,231	3,625			
執行率(%)	87.2	99.1			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に對するH28年度末 の成果		<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展示室展示会:「ちよつとむかしの道具展」等5件、開催日数210日</li> <li>●ふじさわ市交流館郷土資料展示室での「常設展示室以外の図書館等での展示活動」に加え、ふじさわ市交流館展示の充実が図られたため。</li> <li>●ふじさわ市交流館郷土資料展示室での「みゆネットふじさわ」のコンテンツを充実させた。</li> <li>●地域(図書館等)開催展示会:「交流館開館記念パネル展」を開催した。開催日数延べ46日</li> <li>●年中行事「二展示(新林公園):「こいのぼりと室内飾り」「おひなさま」開催日数42日</li> <li>●小学生のための郷土資料講座 27校83クラス実施した</li> <li>●浮世絵館ホームページと連携した「みゆネットふじさわ」のコンテンツを充実させた。</li> </ul>			
予算額(千円)		214,457	31,049	30,380	
決算額(千円)		154,860	30,341		
執行率(%)		72.2	99.3		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に對するH28年度末 の成果		<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●指定管理者と年度協定締結</li> <li>●4月20日竣工</li> <li>●4月22日第1回運営協議会実施(指定管理者)</li> <li>●4月27日内覧会実施</li> <li>●4月29日開館</li> <li>●4月29日～5月8日まで開館イベント実施 10日間(指定管理者と協同)</li> <li>●伝統芸能等各種イベントの実施 多目的ホール使用日数延べ94日</li> <li>●市民団体との協働事業実施 23日</li> <li>●2月14日第2回運営協議会実施(指定管理者)</li> </ul>			
H28年度の 総合評価		A			
評価の理由		<p>開館より、チラシポストター等の取組をし、様々な事業を実施した成果もあり、当初の利用者数を上回った</p> <p>今後の方向 今年度も引き続き指定管理者である藤沢市観光協会の運営を行う。また、地域の市民活動団体等と連携し、地域にぎわいの創出を目指す。</p>			
課題・問題点		<p>H29年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展示室展示会:「書く・描く・史が・展」ほか4件</li> <li>●ふじさわ市交流館郷土資料展示室での「常設展示室以外の図書館等」開催展示会:「交流館開館記念パネル展」の開催</li> <li>●小学生のための郷土資料講座「考古」「民俗」の実施</li> <li>●年中行事「二展示(新林公園):「こいのぼりと室内飾り」「おひなさま」</li> <li>●浮世絵館ホームページとみゆネットのコンテンツ充実</li> </ul>			

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	生徒学習部	郷土歴史課
528	ふじさわ市交流館の整備・運営事業(ふじさわ市交流館の運営事業)				
<p>旧東海道藤沢宿に(仮称)ふじさわ市交流館を整備し、他の様々な取組と併せて地域の活性化に繋がる活用を図る。</p> <p>事業目的 旧東海道藤沢宿に地域の歴史や文化を学ぶ、休養や交流の場としても活用できる施設として(仮称)ふじさわ市交流館を整備する。</p> <p>事業内容 ●ふじさわ市交流館の整備・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新築工事</li> <li>●開館</li> <li>●利用者数 25,000人</li> </ul>					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H31年度
新築工事			25,000人		26,000人
開館			25,000人		26,000人
利用者数			25,000人		26,000人
予算額(千円)	214,457	31,049	30,380		
決算額(千円)	154,860	30,341			
執行率(%)	72.2	99.3			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に對するH28年度末 の成果		<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●指定管理者と年度協定締結</li> <li>●4月20日竣工</li> <li>●4月22日第1回運営協議会実施(指定管理者)</li> <li>●4月27日内覧会実施</li> <li>●4月29日開館</li> <li>●4月29日～5月8日まで開館イベント実施 10日間(指定管理者と協同)</li> <li>●伝統芸能等各種イベントの実施 多目的ホール使用日数延べ94日</li> <li>●市民団体との協働事業実施 23日</li> <li>●2月14日第2回運営協議会実施(指定管理者)</li> </ul>			
H28年度の 総合評価		A			
評価の理由		<p>開館より、チラシポストター等の取組をし、様々な事業を実施した成果もあり、当初の利用者数を上回った</p> <p>今後の方向 今年度も引き続き指定管理者である藤沢市観光協会の運営を行う。また、地域の市民活動団体等と連携し、地域にぎわいの創出を目指す。</p>			
課題・問題点		<p>H29年度事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運営協議会の開催</li> <li>●伝統芸能等各種イベントの実施</li> <li>●藤沢宿のPR</li> <li>●市民団体との協働事業の実施</li> </ul>			

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 529	事業名 (仮称)藤澤浮世絵館の整備・運営事業 (藤澤浮世絵館の運営事業)	担当部 生涯学習部	担当課 郷土歴史課	変更(ある場合)	
<p>事業目的 これまでが収集してきた浮世絵類を中心とした資料を市民を始め多くの人に見ていただく場を提供することにより、郷土の歴史・文化についての関心を喚起し、郷土愛あふれる藤沢の実現に資する。</p> <p>事業内容 市民が楽しい文化の継承に繋がる生涯学習の場として、浮世絵類の展示を中心とした(仮称)藤澤浮世絵館を整備する。 ・東海道、藤沢宿、江の島など所蔵する浮世絵の特色を活かした展示 ・市民等が気軽に訪れ、学び、憩えるスペースの設置 ・地図や写真などのビジュアル資料も駆使した地域の歴史の紹介</p>					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●(仮称)藤澤浮世絵館の整備・運営 設置工事 利用者数 10,000人	H28年度 開館 利用者数 10,000人	H29年度 20,000人	H30年度 20,500人	H31年度 21,000人
予算額(千円)	168,000	62,866	60,787		
決算額(千円)	160,651	59,828			
執行率(%)	95.6	95.1			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>＜運営体制＞ <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤職員4名、臨時職員2名を採用した。</li> <li>・藤澤浮世絵館運営委員会を2回開催した。</li> </ul> </li> <li>＜開館記念式典・講演会＞ <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月16日に開館記念式典を実施し開催した。</li> <li>・7月23日、10月9日に開館記念講演会を開催した。</li> </ul> </li> <li>＜展示・ワークショップ等事業＞ <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月16日～12月4日「開館記念展～絵師たちに愛され藤沢 北斎・歌麿・広重・国貞に分けて開催した。</li> <li>・12月9日～1月22日「おもしろ東海道と浮世絵 双六勢ぞろい」展を開催した。</li> <li>・1月27日～3月5日「浮世絵でめぐる旅と物語」展を開催した。</li> <li>・3月10日～4月16日「文明開化 変わりゆく浮世絵の景色たち」展とし、「GAS MUSEUM」が資料館からの借用資料を交え開催した。</li> <li>・各展示期間中にワークショップ等事業を開催した。</li> </ul> </li> <li>＜連携事業＞ <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球・観光イベントに浮世絵すり体験のブースを出展した。</li> <li>・藤澤浮世絵館・アートスペースにおいて、市内小学校が見学及び体験学習を実施した。</li> </ul> </li> </ul>				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者数が見込みより多かつたため</li> <li>・外国人向けのPR</li> <li>・関連団体との連携や企画による集客及びPR</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人向けのPR</li> <li>・関連団体との連携や企画による集客及びPR</li> </ul>				
評価の理由	<p>H29年度事業計画 平成29年9月に開館1周年記念事業を開催する ・展示及びワークショップ、ミニ講座等の事業を開催</p>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 5210	事業名 景観資源推進事業	担当部 計画建設部	担当課 街なみ景観課	変更(ある場合)	
<p>事業目的 街なみ百年を築きつづけてきた歴史的・文化的な資産の保全・継承と景観まちづくりの推進</p> <p>事業内容 ・旧東海道藤沢宿周辺を街なみ継承地区に指定し、歴史・文化を大切にしたい魅力ある街なみの形成を図る。 ・良質な街なみの形成に向け、街なみ景観フォーラム等を開催し、市民が主体となる景観まちづくりにつなげる。</p>					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●歴史的建造物の維持・保全(旧東海道藤沢宿街なみ景観啓発) 補助事業実施 ●市民主体の景観まちづくりへの意識啓発 街なみ景観フォーラム等の実施	H28年度 → →	H29年度 → →	H30年度 → →	H31年度 → →
予算額(千円)	8,861	7,550	4,079		
決算額(千円)	2,295	7,298			
執行率(%)	25.9	96.7			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物の維持・保全(旧東海道藤沢宿街なみ景観)等に関する補助事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業実施 ※町家2棟 ※蔵2棟</li> <li>外観保全工事 (補助率1/2、上限500万円)</li> </ul> </li> <li>・市民主体の景観まちづくりへの意識啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>街なみ景観フォーラム等を開催 参加者合計1,688人</li> <li>*「旧東海道藤沢宿の歴史をあるく」18人</li> <li>*「ひとを呼ぶ景観～MITAMEのカ～」61人</li> <li>*「第7回開東町並みセミナー藤沢」71人</li> <li>*「わかまちふじさわの景観130景をあるく」臨時3回を含み至15回 1,538人</li> </ul> </li> </ul>				
評価の理由	<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助事業については予定通りの執行であった。</li> </ul> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物の維持・保全のための短期的な補助ではない継続的な取り組みや支援の検討を行う。</li> </ul>				
評価	<p>H28年度の総合評価</p> <p>B</p> <p>次年度 継続</p>				
課題・問題点	<p>H29年度事業計画 平成29年度から引き続き補助事業を予定している。また、景観まちづくりへの意識啓発として、「まちあるき」や「フォーラム」等の開催を予定している。</p>				
課題・問題点	<p>課題・問題点 ・歴史的建造物には結果として維持されている建物もあるため、将来的に維持・保全される確約がとれないことについての考え方を整理する必要がある。</p>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
611	健康づくり推進事業	福祉健康部	健康増進課					
	事業目的	市民が生涯にわたり生活習慣病の予防・改善及び健康・体力の維持・増進を図り、日常生活で適切な生活習慣が身につくよう支援する。						
	事業内容	積極的な健康づくりを行うために、市民を対象に健康度・体力度チェックを経て健康づくりトレーニングを実施する。						
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→	→	→
	予算額(千円)	3,458	3,458	3,458				
	決算額(千円)	2,263	2,079					
	執行率(%)	65.4	60.1					
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	健康度 32人 体力度 495人 トレーニング 24,322人						
	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康度・体力度・トレーニング利用状況(3月末現在)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>*健康度 32人(実・延)</li> <li>*体力度 495人(実・延)</li> <li>*トレーニング 804人(実) 24,322人(延)</li> </ul> </li> <li>生活習慣病予防及び重症化予防を目的とした健康支援プログラムの一環として、健康度チェック、体力度チェック、トレーニングを実施し、参加者の健康状態に合わせた運動習慣の改善を図った。</li> </ul>						
	評価	C						
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度については、H27年度事業変更をしていることもあり、減少している。</li> <li>本事業については、生活習慣病予防及び重症化予防を目的とする事業として、市内各所で実施し、より多くの人が利用しやすい方法を検討していく必要がある。</li> </ul>						
	今後の方向	H29年度事業計画 H29年度については、現行の事業内容で実施するとともに、H30年度委託事業変更に向けて事業内容の検討を行う。						

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
621	子どもの体力向上対策事業	教育部	教育指導課・スポーツ推進課					
	事業目的	小中学生の体力向上のための教育プログラムを研究・実践する。						
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>(教育指導課)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>市立小学校5年生と中学校2年生を対象に「体力・運動能力テスト」を実施し、その結果を基に、子どもの体力を分析して、子どもの体力向上のための方策を検討する。</li> <li>(スポーツ推進課)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>新体力テスト実施に向けた測定員の養成と派遣。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>						
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→	→	→
	予算額(千円)	5,857	5,853	5,853				
	決算額(千円)	5,857	5,853					
	執行率(%)	100.0	100.0					
	年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	体力・運動能力テストの実施校数54校						
	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の体力向上に向けた啓発を図ることができた。</li> <li>希望校には測定員を派遣し、市内64校で実施することができた。</li> <li>市内小学校32校から測定員の派遣依頼があり、4月25日から6月28日の期間で実施した。</li> <li>平成28年度より、全校で8種目を測定している。</li> <li>測定員意見交換会については、11月26日に行い、次年度に向けた検討を行った。</li> </ul>						
	評価	B						
	評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内54校で体力・運動能力テストを実施。</li> <li>学校との日程調整を含め、事業目的に沿った事業展開を実施できた。</li> </ul>						
	今後の方向	全種目・全校を対象として、継続実行する。 国や県の動向を踏まえながら検討していく。						
	H29年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内54校で実施</li> <li>希望校には体力テスト測定員を派遣</li> <li>体力テスト測定員登録台帳の管理</li> <li>市内各学校の派遣要請受付</li> <li>測定員への謝金・交通費等支払業務</li> </ul>						
	課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度から抽出校がなくなり、全種目を全校対象となつたため、派遣人員を増やす必要が生じ、派遣員の確保及び予算計上に苦慮した。</li> <li>測定員を派遣するスケジュールの関係で、実施時期に差が出てしまう。</li> </ul>						

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業目的	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
622	スポーツ施設整備事業	市民が生涯にわたって多様なスポーツに親しみ、健康で明るく豊かなスポーツライフを実現する環境づくりを目指す。					
		事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(仮称)天神スポーツ広場の整備</li> <li>●葛原スポーツ広場野球場2面化整備</li> </ul>				
		年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→
		予算額(千円)	69,793	157,968	208,594		
		決算額(千円)	69,793	138,973			
		執行率(%)	100.0	88.0			
		年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	天神スポーツ広場野球場土木・建築工事(天神スポーツ広場広場広場多目的広場整備に伴う土壌調査委託)				
		H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>天神スポーツ広場野球場整備工事(土木)の実施。契約日:2016年9月11日</li> <li>工期:2016年9月11日から2016年8月29日</li> <li>天神スポーツ広場(多目的広場)整備に伴う土壌調査委託(ポリング調査含む)の実施。契約日:2016年8月25日・2017年1月25日</li> <li>工期:2016年8月25日から2017年2月28日</li> <li>天神スポーツ広場野球場新設工事(建築工事)の実施契約日:2017年2月1日</li> <li>工期:2017年2月1日から2017年7月14日</li> </ul>				
		H28年度の総合評価	B				
		評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>大清水スポーツ広場野球場に近い施設は減ったが、天神スポーツ広場野球場の整備に向け整備工事が進んでいる。</li> <li>葛原スポーツ広場の用地測量については、土地所有者の合意が得られず、また、買収の目途もたないことから実施することができなかった。</li> <li>野球、ソフトボールができる環境整備に向け、天神スポーツ広場の整備。</li> <li>大清水スポーツ広場閉鎖に伴う代替施設確保に向けた取組。</li> </ul>				
		今後の方向	天神スポーツ広場の整備。				
		H29年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>天神スポーツ広場野球場新設工事(建築)の実施(H28年度からの継続事業)</li> <li>天神スポーツ広場多目的広場整備工事の実施</li> </ul>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	事業目的	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
623	スポーツハリアア事業	市民が安全で安心してスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、スポーツ環境の充実を図る。					
		事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者・高齢者を含む多くの市民が安全・安心して利用できるスポーツ・レクリエーション施設を整備する。</li> </ul>				
		年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	実施・検討	→	→	→	→
		予算額(千円)	0	0	0		
		決算額(千円)	0	0			
		執行率(%)	0.0	0.0			
		年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に対するH28年度末の成果	ハリアアフリー化への対応は実施済み				
		H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度から平成23年度までの3カ年計画においてハリアアフリー化を図り、現状の施設におけるハリアアフリー化への対応は実施済み。</li> <li>平成21年度から平成23年度までの3カ年計画においてハリアアフリー化を図り、現状の施設におけるハリアアフリー化への対応は実施済み。</li> </ul>				
		H28年度の総合評価	A				
		評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の誰もが公共施設を安心して利用できるよう修繕時や改修工事などの整備時に「藤沢市公共建築ユニバーサルデザインマニュアル」に基づき整備する。</li> </ul>				
		今後の方向	市民の誰もが公共施設を安心して利用できる				
		H29年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度から平成23年度までの3カ年計画においてハリアアフリー化を図り、現状の施設におけるハリアアフリー化への対応は実施済みである。今後は、障がい者差別解消法の趣旨に基づき、ハリアアフリーについて、必要かつ合理的な配慮をするように努めていく。</li> </ul>				
		課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ施設の老朽化や経年劣化が進む中で、今後は大規模改修工事及び公共施設再整備プランにおける事業を実施する中で、ハリアアフリー化された整備を行う必要がある。</li> </ul>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	生涯学習部	スポーツ推進課	変更(ある場合)																														
624	スポーツノーマライゼーション事業	生涯学習部	スポーツ推進課																																	
<p>事業目的 障がい者を通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人の権利という理念を踏まえ、障がいの有無にかかわらず、スポーツ活動に参加できる機会を確保する。</p> <p>事業内容 障がい者と健常者が共にスポーツを楽しむ観点から、積極的なスポーツのノーマライゼーションを推進する。文・活動の支えとなる指導者・ボランティアの育成に取り組む。</p>																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">実施・検討</td> </tr> </tbody> </table> <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末の成果</p> <p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・神奈川県主催、藤沢市が共催によるパラスポーツフェスタを実施するなど、すべての人がスポーツを楽しめるイベントを企画実施した。 ・ふれあひスポーツ交流会、障がい者プール開放等誰もが参加しやすいスポーツ大会や、イベントを企画実施した。</p> <p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・スポーツ施設予約システムとして、公民館と連携した市民が利用しやすいシステムが導入され3年目を迎え、円滑に市民に供されている。また、データ取得を実施にあわせて改修を行った。 ・スポーツ事業や講座の開催内容について、広報ふじさわ、財団ホームページへ掲載し、広く市民へ周知した。</p> <p>評価の理由 ・福祉部などの関係部門及び関係者との連携を進めながら、障がい者の方々のニーズに対応している。また組織化への気運が高まった際には、組織化へ向けての支援・アドバイスを行う。</p> <p>今後の方向 ・障がい者スポーツ団体の現状やニーズを把握・分析するとともに、今年度は藤沢市独自のパラスポーツ事業を実行委員会形式で開催する。組織化へ向けての支援・アドバイスを行う。また、実行委員会を将来的に連絡協議会など組織化していきたい。</p> <p>H29年度事業計画 ・障がい者スポーツ団体の現状やニーズを把握・分析するとともに、今年度は藤沢市独自のパラスポーツ事業を実行委員会形式で開催する。組織化へ向けての支援・アドバイスを行う。また、実行委員会を将来的に連絡協議会など組織化していきたい。</p> <p>課題・問題点 ・今後、組織化を進めていくなかで、障がい者団体、(公財)藤沢市みらい創造財団との連携を深めること。</p>							H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	→	→	→	→	→	実施・検討					予算額(千円)	0	0	0		決算額(千円)	0	0	0		執行率(%)	0.0	0.0		
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																																
→	→	→	→	→																																
実施・検討																																				
予算額(千円)	0	0	0																																	
決算額(千円)	0	0	0																																	
執行率(%)	0.0	0.0																																		

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	生涯学習部	スポーツ推進課	変更(ある場合)																														
631	生涯スポーツ活動推進事業	生涯学習部	スポーツ推進課																																	
<p>事業目的 健康寿命の延伸など、市民の健康意識の高まる中、子どもから高齢者まで気軽に利用、参加できるスポーツ・レクリエーションの機会の提供を、さらに充実させる。</p> <p>事業内容 「いつでもどこでも、だれでも、いつまでも」スポーツ活動に親しむことができるよう、市民のスポーツニーズを的確にとらえ、多くの市民が多様なスポーツを楽しむことができる事業を企画し提供する。 ・スポーツや健康に関する意識の向上を図る。</p>																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">実施・検討</td> </tr> </tbody> </table> <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <tr> <td>予算額(千円)</td> <td>0</td> <td>1,280</td> <td>227</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>0</td> <td>1,280</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td>0.0</td> <td>100.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末の成果</p> <p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・スポーツ施設予約システムとして、公民館と連携した市民が利用しやすいシステムが導入され3年目を迎え、円滑に市民に供されている。また、データ取得を実施にあわせて改修を行った。 ・スポーツ事業や講座の開催内容について、広報ふじさわ、財団ホームページへ掲載し、広く市民へ周知した。</p> <p>H29年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・市民がスポーツに親しむ機会をスポーツ事業や講座でつくることにより、スポーツ活動の習慣化の効果が期待できる。</p> <p>評価の理由 ・いつでもどこでも、だれでも、いつまでも、気軽にスポーツを楽しめる情報提供や事業を実施。</p> <p>H29年度事業計画 ・基礎となる運動施設等の指定管理者による管理運営とスポーツ施設予約システムの適正な維持管理を行うことにより、経費の節減と市民サービスの向上を図る。</p> <p>課題・問題点 ・スポーツ関係団体のホームページ充実に向けた指導。</p>							H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	→	→	→	→	→	実施・検討					予算額(千円)	0	1,280	227		決算額(千円)	0	1,280			執行率(%)	0.0	100.0		
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度																																
→	→	→	→	→																																
実施・検討																																				
予算額(千円)	0	1,280	227																																	
決算額(千円)	0	1,280																																		
執行率(%)	0.0	100.0																																		

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	変更(ある場合)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
632	スポーツサポート事業	生涯学習部	スポーツ推進課						
<p>事業目的 地域スポーツ指導者及びスポーツボランティアを養成し、活用すること、市民のスポーツ・レクリエーション活動を推進する。</p> <p>事業内容 地域スポーツを支えるスポーツ推進委員の充実とスポーツボランティアの養成、地域に滞在する指導者の発掘を行い、市民のスポーツ・レクリエーション活動が安全かつ効果的に推進されるよう取り組む。</p>									
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>									
<p>予算額(千円)</p>					400	300	300		
<p>決算額(千円)</p>					400	300			
<p>執行率(%)</p>					100.0	100.0			
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果</p>					<p>H28年度 スポーツサポーターバンク登録者数 187人</p>				
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p>					<p>・スポーツ推進委員協議会による事業を年間5回開催し、地域指導者の養成をした。 ・スポーツサポーターバンク登録者を活用し有効に事業を展開した。(登録人数187人)</p>				
<p>評価の理由</p>					<p>・地域指導者として期待されるスポーツ推進委員について、スポーツ推進委員協議会が主催する各種研修会を通して、知識が豊富になり他市との情報交換も図られた。</p>				
<p>今後の方向</p>					<p>・スポーツ推進委員については、今後も地域指導者としての活躍が期待されるが、それぞれの地域での役割を考慮したうえで定数について見直しを検討する。</p>				
<p>H29年度事業計画</p>					<p>・スポーツ推進委員協議会による事業を年間5回開催し、地域指導者の養成を図る。 ・スポーツサポーターバンク登録者を活用し有効に事業を展開する。</p>				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	変更(ある場合)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
633	競技スポーツ推進事業	生涯学習部	スポーツ推進課						
<p>事業目的 競技スポーツ団体との連携、協働を促進するとともに、ジュニア層からの指導体制を充実させる。また、トップアスリートを活用するなど、競技スポーツ全般の推進を図る。</p> <p>事業内容 東京オリンピック・パラリンピックなどを好機と捉え、競技力の向上を目指し、市内競技選手の支援を行うとともに、各団体との連携と協働を進め、長期的な展望に立った競技スポーツ指導体制の確立に取組む。スポーツへの動機付けや関心を高める方策としてトップアスリートの活用を検討、実施する。</p>									
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)</p>									
<p>予算額(千円)</p>					2,000	2,000	2,000		
<p>決算額(千円)</p>					1,035	1,380			
<p>執行率(%)</p>					51.8	69.0			
<p>年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果</p>					<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>・競技スポーツで活躍された選手連への賞賜金交付により、競技スポーツの発展を図る。 170人 *社会体育の部(全国大会) 26人 *社会体育の部(国際大会) 1人</p>				
<p>評価の理由</p>					<p>・競技スポーツで活躍された選手たちへの賞賜金交付により、生涯スポーツの推進と競技スポーツの発展につながった。</p>				
<p>今後の方向</p>					<p>・賞賜金制度について、ホームページに掲載して周知を図る。 ・2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組として、各種目協会からの要望等を施策に反映させるよう、体育協会内に設置する特別委員会を通じて協議を進めていく。</p>				
<p>H29年度事業計画</p>					<p>・競技スポーツで活躍された選手たちへの賞賜金交付により、競技スポーツの発展を図る。</p>				



平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 634	事業名 地域特性活性化推進事業	担当部 生涯学習部	担当課 スポーツ推進課	企画政策部 人権男女共同平和課	
地域特性活性化推進事業 多文化共生推進事業		変更(ある場合)			
事業目的 江の島や湘南海岸など本市の地域特性を活かし、ビーチハレーボールや市民マラソン大会などのスポーツイベントを開催し、複数の自治体や関係機関と連携・協働した取組や仕組みづくりを構築し、地域特性を活かしたスポーツ活動の推進を行う。		事業内容 ・各種ビーチハレーボール大会(ビーチハレージャパン・県中学及び全国中学生ビーチハレー大会)を開催し、ビーチハレー発祥の地というブランドを広く市内外に発信し、観るスポーツの提供やビーチハレーボールの普及拡大に取り組み。 ・江の島を主会場として海岸線をコースとした市民マラソン大会を開催し、多くの市民が参加できるような事業展開を取り入れ、魅力ある冬季のスポーツイベントとして取り組む。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 実施	H28年度 →	H29年度 →	H30年度 →	H31年度 →
予算額(千円)	11,000	12,000	11,000		
決算額(千円)	10,822	12,000			
執行率(%)	98.4	100.0			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・第30回ビーチハレージャパン 開催日:2016年8月26日～28日 参加チーム数:64チーム(男子66チーム・女子6チーム) ・第10回神奈川県中学生ビーチハレー大会 開催日:2016年7月31日 参加チーム数:94チーム(男子24チーム・女子70チーム) ・第7回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチハレー大会 開催日:2016年8月13日～14日 参加チーム数:93チーム(男子45チーム・女子48チーム) ・全国中学生ビーチハレー大会について、一般財団法人地域活性化センターが行うスポーツ拠点づくり推進事業として承認されたことから、スポーツ拠点づくり推進事業助成金(2,984千円)が交付された。				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・「第7回MINTOMO交流会」の開催 *12/3 10:00～15:00 湘南台公民館 *参加者291人(外国人市民52人、一般市民等169人、スノーシュー出演者70人) *従事者53人(日本語教室スタッフ、大学生など) *スペイン語の歌、和太鼓演奏、ソーラン節、日本の昔遊び、工作、餅つき等を行った。 ・「第7回MINTOMO交流会」の開催 *地域の国際交流イベントとして事業が定着し、毎年事業を奨励し参加している方や、外国人の参加者が増えたため。 *外国人市民と一般市民が互いの文化を通して交流をすることができたため。 今後の方向 ・外国人市民と一般市民との交流をより一層図るため、交流会の内容や周知方法を検討していく。				
予算額(千円)	H29年度事業計画				
決算額(千円)	・第31回ビーチハレージャパン 開催日:8月11日～13日(予定) ・第11回神奈川県中学生ビーチハレー大会 開催日:8月1日(予定) ・第8回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチハレー大会 開催日:8月13日～14日(予定)				
執行率(%)	・全国中学生ビーチハレーについては、全国から広く参加していただくため、都道府県の教育委員会及びハレーボール協会への継続した周知活動を行う。 ・全国中学生ビーチハレー大会においては、大会を継続し開催することにより、ビーチハレー国内発祥の地として全国に中学生のビーチハレーの普及推進を図るとともに、クリニックを開催し、技術向上と2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて機運を高める。				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	H29年度事業計画 ・MINTOMO交流会実行委員会へ業務を委託し、「第8回MINTOMO交流会」を開催する。				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 711	事業名 多文化共生推進事業	担当部 企画政策部	担当課 人権男女共同平和課		
事業目的 子どもたちを中心とした国際交流の場を提供し、外国人と日本人の子どもたちの交流や多文化への理解を図る。		事業内容 地域で活動する日本語教室の先生や大学生等が、小中学生を対象とした交流会を企画して、子どもたちを中心に多文化交流を行う。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 参加者数 100人	H28年度 →	H29年度 →	H30年度 →	H31年度 →
予算額(千円)	100	100	100		
決算額(千円)	100	100			
執行率(%)	100.0	100.0			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) ・「第7回MINTOMO交流会」の開催 *12/3 10:00～15:00 湘南台公民館 *参加者291人(外国人市民52人、一般市民等169人、スノーシュー出演者70人) *従事者53人(日本語教室スタッフ、大学生など) *スペイン語の歌、和太鼓演奏、ソーラン節、日本の昔遊び、工作、餅つき等を行った。 ・「第7回MINTOMO交流会」の開催 *地域の国際交流イベントとして事業が定着し、毎年事業を奨励し参加している方や、外国人の参加者が増えたため。 *外国人市民と一般市民が互いの文化を通して交流をすることができたため。 今後の方向 ・外国人市民と一般市民との交流をより一層図るため、交流会の内容や周知方法を検討していく。				
予算額(千円)	H29年度事業計画				
決算額(千円)	・MINTOMO交流会実行委員会へ業務を委託し、「第8回MINTOMO交流会」を開催する。				
執行率(%)	・交流会が、外国人と日本人の子どもたちにとって互いの文化や習慣を知る機会となり、参加者同士がより交流を深められるプログラムとなるよう内容を工夫する。				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 722(147)	事業名 人権施策推進事業	担当部 担当課	企画政策部 人権男女共同平和課		
事業目的 「藤沢市人権施策推進指針」の基本理念である「人権を大切にし、[人権文化]を育むまわりの人々に向けて、人権尊重の精神が社会や生活の中に定着し、一人ひとりの市民が尊重され、あらゆる人が共に生きる社会の実現を目指す。					
事業内容 市民が、多岐にわたる人権課題について理解を深めることができるよう、様々な機関と連携し講演会等の啓発事業を実施するとともに、人権啓発リーフレットを作成し、公共施設及び人権相談機関や啓発事業等を通じて配布するなど、市民に向けて人権意識の普及・啓発を図る機会を提供する。 また、子どもへのいじめ防止について、社会全体への意識啓発に努めるとともに、市立の小・中・特別支援学校において、重大事態が発生した場合の市長部局による再調査を目的に、附属機関として藤沢市いじめ問題再調査委員会を設置し運営を図る。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●市人権啓発講演会ほか啓発事業の実施 ●子どもへのいじめ防止に関する意識啓発、及びいじめ問題再調査委員会の運営			
予算額(千円)	6,883	7,468	6,689		
決算額(千円)	6,177	6,308			
執行率(%)	89.7	84.5			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	●市人権啓発講演会ほか、地域・企業等と連携した啓発事業を実施した。 ●藤沢市子どもをいじめから守る啓発講演会「のほか、いじめ防止啓発リーフレット等を作成・配布した。 ●いじめ問題再調査委員会を実施した。				
	H28年度の 総合評価		評価		
	B		継続		

H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権の花運動</li> <li>・中学生人権作文コンテスト</li> <li>・6月1日の「人権擁護委員の日」にあわせて事業を実施した。</li> <li>・特設人権相談を開設 6月1日 湘南台市民センター</li> <li>・啓発用横断幕の設置 藤沢駅北口サンハル広場 5月2日～6月2日</li> <li>・人権啓発出前講座</li> <li>・企業等の研修 特別養護老人ホーム職員 7月22日、市内生命保険会社 8月9日</li> <li>・高齢者施設「人権啓発活動」特設相談 やすらぎ荘 8月28日、湘南さざなみ 9月19日</li> <li>・スポーツ少年団指導者講習会 12月3日</li> <li>・人権週間事業</li> <li>・12/4～12/10の人権週間に合わせ、人権擁護委員会、国や神奈川県等と連携し、街頭での人権啓発キャンペーン、人権メッセージパネル展及び特設相談等を実施するなど、啓発を図った。</li> <li>・第31回藤沢市人権啓発講演会 12月17日 中学生人権作文コンテスト入賞作品の朗読と講演会を実施し、広く市民に人権意識啓発を図ることができた。</li> <li>・*マリンビレッジパワフルッパに見る世界」講師：安田 震一氏</li> <li>・*市民会館小ホールにて開催</li> <li>・*地域人権啓発講演会 1月28日 総合市民図書館</li> <li>・*マアソクくんのひろがるさんほのせかい ～戻さない人も見えてる人も一緒に～」講師：なかの ひろたか 氏</li> <li>・藤沢市子どもをいじめから守る啓発事業</li> <li>・藤沢市子どもをいじめ防止啓発講演会 6月25日</li> <li>・*御所見地区いじめ防止講座 7月16日</li> <li>・*市P連講習会 11月27日</li> <li>・いじめ防止啓発リーフレット・ポスターの作成、配布</li> <li>・いじめ問題再調査委員会 8月28日、2月13日</li> <li>・その他 職員研修等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係各課と連携し、各人権分野の啓発事業を実施することができた。</li> <li>・藤沢市子どもをいじめから守る条例」を効果性のあるものにするため、「平成28年度藤沢市子どもをいじめから守る啓発講演会」を教育委員会と連携して実施し、周知の徹底を図った。</li> </ul>
今後の方向	今後の方向
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「藤沢市人権施策推進指針」に基づき、多岐にわたる人権に関する個別課題について、地域や教育委員会、藤沢市人権擁護委員会等と連携して啓発活動を行い、市民に対する意識啓発の機会の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「藤沢市人権施策推進指針」に基づき、多岐にわたる人権に関する個別課題について、地域や教育委員会、藤沢市人権擁護委員会等と連携して啓発活動を行い、市民に対する意識啓発の機会の充実を図る。</li> </ul>
H29年度事業計画	H29年度事業計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤沢市子どもをいじめから守る条例」周知のためポスターリーフレットの作成、並びに掲示・配布</li> <li>・第32回藤沢市人権啓発講演会</li> <li>・地域人権啓発講演会</li> <li>・個別課題テーマとした講座等</li> <li>・職場体験型職員人権研修</li> <li>・人権の花運動 (市立7小学校と私立小学校と連携して実施)</li> <li>・中学生人権作文コンテスト(市内公立中学校と連携して実施)</li> <li>・人権擁護委員の日事業(特設人権相談の開設、啓発用横断幕の設置)</li> <li>・人権啓発出前講座(人権教室出前授業、企業等の研修)</li> <li>・高齢者施設での啓発活動(人権啓発活動、特設人権相談)</li> <li>・人権週間事業(街頭での啓発キャンペーン、特設相談の開設、人権メッセージパネル展、横断幕の設置等)</li> <li>・ふじさわ人権協議会の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「藤沢市子どもをいじめから守る条例」周知のためポスターリーフレットの作成、並びに掲示・配布</li> <li>・第32回藤沢市人権啓発講演会</li> <li>・地域人権啓発講演会</li> <li>・個別課題テーマとした講座等</li> <li>・職場体験型職員人権研修</li> <li>・人権の花運動 (市立7小学校と私立小学校と連携して実施)</li> <li>・中学生人権作文コンテスト(市内公立中学校と連携して実施)</li> <li>・人権擁護委員の日事業(特設人権相談の開設、啓発用横断幕の設置)</li> <li>・人権啓発出前講座(人権教室出前授業、企業等の研修)</li> <li>・高齢者施設での啓発活動(人権啓発活動、特設人権相談)</li> <li>・人権週間事業(街頭での啓発キャンペーン、特設相談の開設、人権メッセージパネル展、横断幕の設置等)</li> <li>・ふじさわ人権協議会の運営</li> </ul>

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 721	事業名 地産地消の充実事業	担当部 担当課	教育部 学校給食課		
事業目的 ・学校給食に安全・安心な給食食材を提供する。 ・児童・生徒と生産者との交流等を通じ、生産者の苦労や努力を知ること、食料の生産に関わる人々への感謝の心を育てる。 ・学校給食に安全・安心な地元野菜・水産物などの給食食材の使用推進を図り地産地消を充実させる。					
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●藤沢産使用品自及自使用量の拡大			
33品目	→	→	→	→	→
予算額(千円)	0	0	0		
決算額(千円)	0	0			
執行率(%)	0	0			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	●藤沢市内産水産物 使用品目数 31品目 ●使用品目数の継続に向けて、生産者・市場関係者、学校給食関係者が十分に意見交換を行い、円滑な地産地消使用に向けて検討する必要がある。 ●生産者の世代交代等により、収穫できる野菜の種類も変化しつつある。新しい献立の研究や、調理方法の検討が必要である。				
	H28年度の 総合評価		評価		
	B		継続		

H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤沢産使用品目の充実</li> <li>・藤沢産新米使用量の拡大</li> <li>・平成24年度以降、継続して年5回を使用している。</li> <li>・地産産食材を使用した「かながわ産品学校給食デー」の実施</li> <li>・市内産食材を使用した「ふじさわワンチ」の実施</li> <li>・平成26年度より、市内産水産物を使用した給食を実施している。平成28年度は年3回実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題はあるものの、計画通りの事業を行うことができた。</li> </ul>
今後の方向	今後の方向
<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用品目数の継続に向けて、生産者・市場関係者、学校給食関係者が十分に意見交換を行い、円滑な地産地消使用に向けて検討する必要がある。</li> <li>・生産者の世代交代等により、収穫できる野菜の種類も変化しつつある。新しい献立の研究や、調理方法の検討が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用品目数の継続に向けて、生産者・市場関係者、学校給食関係者が十分に意見交換を行い、円滑な地産地消使用に向けて検討する必要がある。</li> <li>・生産者の世代交代等により、収穫できる野菜の種類も変化しつつある。新しい献立の研究や、調理方法の検討が必要である。</li> </ul>
H29年度事業計画	H29年度事業計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産産物を取り入れた献立の企画</li> <li>・市内産物の継続的な利用</li> <li>・公民館連携事業における子ども料理教室の企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産産物を取り入れた献立の企画</li> <li>・市内産物の継続的な利用</li> <li>・公民館連携事業における子ども料理教室の企画</li> </ul>
課題・問題点	課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜類を指定日に一定量確保することが難しい。</li> <li>・過去の納品実績から献立を立てるが、実際に左右され予定通りにならない場合が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜類を指定日に一定量確保することが難しい。</li> <li>・過去の納品実績から献立を立てるが、実際に左右され予定通りにならない場合が多い。</li> </ul>

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	変更(ある場合)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
724 (215・234・831)	学校・家庭・地域連携推進事業	教育部	教育部	教育総務課					
子どもを軸とした連携により、地域づくり及び学校支援を図る。									
事業目的									
事業内容									
・学校・家庭・地域連携推進会議「会長会」に業務委託を行い、中学校区を基本に市内に設置された15の地域協力者会議において、各地区の実情に応じた子どもたちの健やかな成長を支援する事業を実施する。 ・PTA活動を支援するために藤沢市PTA連絡協議会への業務委託及び研修会等を実施する。									
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)					参加者総数 33,100人	33,200人	33,300人	33,400人	33,500人
実施					→	→	→	→	→
予算額(千円) 5,574 決算額(千円) 5,460 執行率(%) 98.6					5,574	5,574	5,460	5,494	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果					・地域協力者会議1の参加者総数 31,529人 ・PTA育成事業で、業務委託、研修会を実施				
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)					・学校・家庭・地域連携推進会議「会長会」に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。 ・「会長会」の開催 年4回(5/10 8/23 11/8 2/7) (情報交換・他団体との意見交換・実績報告等) ・各地域事業総数 119事業 ・各地域事業、会議等参加者数 31,529人 ・地域における子どもたちの課題を会議の中で出し合い、実施事業に活かした。 ・藤沢市PTA連絡協議会に業務委託し、各校のPTAの育成のための事業を実施。 ・広報紙の発行 年2回(6月・3月) ・各校PTA活動状況調査の実施 ・講演会の実施 ・「コミュニケーション」再考～もつとわかつたために」 ・藤沢市PTA役員研修会の開催 全4回 ・地域の教育力向上を図る事業を実施 ・「ふじさわ教育フォーラム」の開催 ・子どもたちの笑顔あふれる地域をめざして」 3/4 13:30～16:00 湘南NDビル				
評価の理由					・計画どおりに事業を行うことができた。 ・学校・家庭・地域が連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしていく。 ・様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ、教育フォーラム等で発信していく。 ・藤沢市PTA連絡協議会への委託事業内容の見直しについて、市P連と協議をしていく。				
H29年度事業計画					・学校・家庭・地域連携推進会議「会長会」に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。 ・藤沢市PTA連絡協議会への委託事業の実施。 ・藤沢市PTA役員研修会の実施(4コース) ・学校・家庭・地域の連携協力を推進するため「ふじさわ教育フォーラム」を開催する。				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	変更(ある場合)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
723	放課後子ども教室推進事業	子ども青少年部	青少年課	青少年課					
児童が地域社会の中で健全に育たれる環境をつくるため、地域の人材を活用し、放課後児童の安全・安心な居場所(遊び場)を提供して、遊び体験や異年齢児間の交流等により、児童の健全育成を推進する。									
事業目的									
事業内容									
・小学校の余裕教室等を有効活用し、放課後の児童に地域のボランティアが留守居場所(遊び場)を提供する。 ・日時＝原則給食のある日～金曜日の放課後 ・場所＝実施小学校の余裕教室・体育館・校庭 ・対象＝実施小学校校区在住の児童									
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)					2小学校区で実施	→	→	→	→
予算額(千円) 2,946 決算額(千円) 2,754 執行率(%) 93.5					2,946	2,932	2,923		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果					・亀井野小学校区放課後子ども教室推進事業 参加児童総数 6,161人 ・小糸小学校区放課後子ども教室推進事業 参加児童総数 2,851人				
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)					・亀井野小学校区、小糸小学校区2小学校区で事業を実施した。 ・亀井野小学校 182日 6,161人 ・小糸小学校 187日 2,851人 ・当事業の拡充に向け、放課後等の居場所へのニーズを調査するため、市立35小学校の児童・保護者を対象に、「藤沢市子ども居場所に関するアンケート」を実施した。 ・配付枚数 23,156枚(平成28年9月1日付児童数) ・回収枚数 12,272枚 ・回収率 53%				
評価の理由					・事業を実施した小学校区においては、地域の大人の見守りにより、放課後児童に安心・安全な居場所(遊び場)を提供できたため。 ・既設の2小学校区で事業を継続するとともに、地域子ども居場所(児童館等)が未設置の小学校区を中心に、事業の拡充に向け、特定の学区と具体的な協議を進める。 ・国の「放課後子ども総合プラン」に基づく放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型の推進を図るため、平成31年度までの整備目標等を具体的に位置付け、教育委員会等と協議をばかりながら取り進むこととする。				
H29年度事業計画					・引き続き亀井野小学校区、小糸小学校区2小学校区で事業を実施する。 ・事業拡充に向け、特定の学区を想定するなど、具体的な検討を実施する。 ・子ども・子育て支援事業計画に基づき、放課後児童クラブと一体型の放課後子ども教室の整備について検討を進める。				
課題・問題点					・地域子ども居場所・児童館・放課後子ども居場所が未設置の学区について放課後子ども居場所を含めた子どもの居場所づくりの検討が必要である。 ・当事業の拡充にあたっては、学校施設を活用するため、学校の再整備計画や余裕教室の将来的活用など、教育委員会との十分な調整が必要である。 ・事業の拡充にあたっては、実施へのニーズや実施場所の確保、担い手が不可欠である。				

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	担当部署	企画政策部	
725	男女共同参画推進事業	人権男女共同平和課	変更(ある場合)	教育振興課		
<p>事業目的 政策、方針決定過程への男女共同参画の推進 ・男女が平等に働くことができる労働環境の整備 ・地域での男女共同参画の推進</p> <p>事業内容 女性にとっても男性にとっても、性別にとらわれないこと、社会のあらゆる分野の活動に参画できる機会の確保のため、すべての市民に対し、意識啓発と情報提供を行う。</p>						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●男女共同参画の推進				
		女性登用比率 42%				
		女性登用比率 50%				
予算額(千円)	8,592	4,642	3,985			
決算額(千円)	7,269	3,715				
執行率(%)	84.6	80.0				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H28年度の女性登用率に対するH28年度末の成果		H28年度の総合評価		次年度
		H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		H28年度の総合評価		評価
		<p>・2016年4月1日現在の女性登用比率を調査し、その結果を情報紙「かがやけ地球」及びホームページに掲載し、市民周知を図った。また、多くの女性の登用を図るため、審議会委員の選任時の事前協議の実施など徹底を図った。</p> <p>・地域での男女共同参画の推進を図るため、13地区の各市民センター・公民館長から推薦された各地区3人からなる「ふじさわ男女共同参画ネットワーク協力員」会議・研修の開催や、各公民館まつりで男女共同参画啓発活動を行った。</p> <p>・意識啓発のため様々なテーマで講演会等を行った。共に生きるフォーラムふじさわ(防災と男女共同参画)79名・2市1町講演会(仕事と介護の両立)79名 人権男女共同参画啓発セミナー(LGBT)115名 DV研修(DV被害者・被害者対応)83名が参加。</p> <p>・DV相談窓口案内カード12,000枚の配布により、相談窓口の周知を図った。</p> <p>・男女が共に生きる情報紙「かがやけ地球」の発行、男女共同参画週間のパネル展開催で各種情報提供を行った。</p>		B		継続
		H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		H28年度の総合評価		評価
		<p>・計画どおりに事業を実施し、意識啓発と情報提供を行った。</p> <p>・平成28年3月に策定した「ふじさわ男女共同参画プラン2020(改定版)」に基づいて事業を行う。女性登用比率については、引き続き、審議会等委員の選任時の事前協議を実施する。</p> <p>今後の方向 ・平成28年3月に策定した「ふじさわ男女共同参画プラン2020(改定版)」に基づいて事業を行う。女性登用比率については、引き続き、審議会等委員の選任時の事前協議を実施する。</p>		H28年度の総合評価		継続
		<p>・H29年度事業計画 ・男女共同参画推進協議会の開催 ・男女が共に生きる情報紙「かがやけ地球」の発行 ・人権男女共同参画啓発セミナーの開催 ・共に生きるフォーラムふじさわ2017の開催 ・DV相談窓口案内カードの配布 ・「ふじさわ男女共同参画ネットワーク協力員」会議・研修の開催や、各公民館まつりでの男女共同参画啓発活動の実施 ・男女共同参画週間のパネル展開催 ・2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)による男女共同参画に向けた連携</p>		H29年度の総合評価		継続

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	担当課	担当部署	教育振興課	
811	学校安全対策事業(防災・防犯教育)	変更(ある場合)	教育振興課	教育振興課		
<p>事業目的 児童生徒及び教職員の防犯意識を高め、安全・安心な環境での学習活動を図る。</p> <p>事業内容 ・児童生徒の目線に立った防犯教育(をテーマとした講演会等を実施し、防災を考える上で児童生徒に効果的な授業提案及び各学校の実情に応じた学校防犯計画や避難訓練に対する助言を行う。</p>						
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		●講演会の実施				
		3校				
		3校→				
		3校→				
予算額(千円)	90	90	90			
決算額(千円)	90	90				
執行率(%)	100.0	100.0				
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)		H28年度の職員にも来てもに対するH28年度末の成果		H28年度の総合評価		次年度
		H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)		H28年度の総合評価		評価
		<p>・慶應大学大木聖子進教授による防災講演会を年間3回行った。</p> <p>①10月26日 八松小学校 ②11月30日 村岡中学校、村岡小学校合同 ③12月21日 高砂小学校</p> <p>・地震の際に、どこにいても安全な場所を自ら探して身を守ることができると子どもを育てるための防災教育や避難訓練の方法について研修を実施した。</p> <p>今後の方向 ・津波浸水被害が想定される南部の学校での実施が一通り済んだことから、今後は、津波浸水の危険性が少ない北部においても、地域性に応じた防災教育を実施していく。</p>		A		継続
		<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <p>・3回実施し、4校の教職員が受講した。</p>		H28年度の総合評価		評価
		<p>・H29年度事業計画 ・防災講演会をまた実施していない学校から希望を募り、各学校の地域性にあった内容を検討し、児童生徒が自ら考えて行動できる防災教育を実施していく。</p>		H29年度の総合評価		継続
		<p>・地域の実状に合った防災訓練の内容を検討していく必要がある。</p>		H29年度の総合評価		継続

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 821(323)	事業名 学校施設改築・大規模改修事業 (老朽化解消)	担当部 担当課	教育指導體 教育指導體
事業目的 学校施設(校舎・屋内運動場等)の老朽化を解消し、安全で良質な教育環境を確保する。		変更(ある場合) 当初の計画では、平成29年度から「改築または大規模改修事業着手6校」であったが、公共施設再整備プランにおいて2校のみ実施事業として位置づけられ、残りの4校については検討事業となったため。(H29)	
事業内容 藤沢市学校施設再整備計画に基づき、老朽化している学校施設(校舎・屋内運動場等)の耐力度調査の実施並びに調査結果に基づく施設の改築または大規模改修を実施する。		事業内容 ● 学校施設再整備計画の策定 ● 耐力度調査の実施 21校 実施 → → ● 改築または大規模改修事業着手 2校	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ● 学校施設再整備計画の策定	H28年度 ● 耐力度調査の実施 21校	H29年度 →
予算額(千円)	62,511	55,955	
決算額(千円)	50,112	45,614	
執行率(%)	80.2	81.5	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末の成果	● 小学校4校、中学校1校の校舎等について耐力度調査を実施した。		
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校4校、中学校1校について耐力度調査を実施した。</li> <li>* 小学校4校 明治小学校 大沼小学校 鶴沼小学校 長後小学校</li> <li>* 中学校1校 明治中学校</li> </ul>		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画通り実施した。</li> </ul>		
今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>本計画及び「学校施設再整備第1期実施計画」に基づき事業を、計画に沿って進めていく。</li> </ul>		
H29年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>全面改築基本構想委託 鶴沼小学校</li> <li>屋内運動場改築事業基本・実施設計委託 六会中学校</li> </ul>		
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 改築または大規模改修事業着手 公共施設再整備プランにおいては、2校が実施事業に位置づけられ、平成29年度から事業の着手が可能となったが、検討事業に位置づけられている4校について、今後の再整備プランの検討の中で早期に実施事業として位置づけられることが必要である。</li> </ul>		

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 812(122)	事業名 教育文化センター研究研修事業	担当部 担当課	教育指導體 教育指導體
事業目的 防災教育と人と自然とのつながりを多面的にとらえ、他の教科・領域等との連携を図りながら、防災教育の充実を図る。		変更(ある場合) 年次ごとの取組計画については、「防災と自然研究部会」が平成28年度末に研究のまとめとして研究報告書を発刊し、閉会となるため、平成29年度以降は研究部会を開催しない。なお、研究成果については引き続き研修講座で発信していく。	
事業内容 防災教育を多面的にとらえ、様々な教科・領域等との連携を図り、専門的・技術的事項の調査研究並びに教育関係職員に対して研修講座等を企画・実施する。 (「防災と自然」研究部会の開催・研究報告書の発刊、防災教育に関する研修講座の開催・防災教育情報の提供)		事業内容 ● 研究部会・研修講座の実施 月1回の閉会開催 → → 年1回の研修講座 → → 研究部会 報告書作成発刊	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ● 研究部会・研修講座の実施	H28年度 →	H31年度 →
予算額(千円)	39,259	576	
決算額(千円)	38,706	452	
執行率(%)	98.6	78.5	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末の成果	● 研究部会14回 ● 研修講座1回		
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究部会14回 「新科上のかかわり」自然の中での防災の視点「防災教育の実践」等、学校教育において防災教育を充実させたための視点を十分に盛り込んだ研究報告書を発刊した。</li> <li>● 研修講座1回 「防災と自然」研究部会の研究の成果を研修講座の中で受講者に向けて報告する。</li> </ul>		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究の成果を市内各学校をはじめ他地域教育機関に向けて周知するとともに、市内各学校および教職員への研究報告書の配布を行う。</li> <li>● 研究部会の研究の成果を研修講座の中で受講者に向けて報告する。</li> </ul>		
今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研究の成果を市内各学校をはじめ他地域教育機関に向けて周知するとともに、市内各学校および教職員への研究報告書の配布を行う。</li> <li>● 研究部会の研究の成果を研修講座の中で受講者に向けて報告する。</li> </ul>		
H29年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研修講座1回</li> </ul>		
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3年間の研究を踏まえ、自然をよりよく理解することによって自然災害に列して身を守る判断力・行動力を育む防災教育の考え方を、広く周知する。</li> </ul>		

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 822(338)	事業名 防災対策事業(津波対策)	担当部 担当課	教育部 学校施設課
事業目的 津波浸水予測エリア内に位置する湘洋中学校の津波避難対策を実施し、生徒・教職員・近隣住民等の安全確保を図る。		変更(ある場合)	
事業内容 湘洋中学校は、津波浸水深から3階への避難が可能であるが、近隣住民等を含めた避難想定者を収容するため、新たな津波避難施設として4階建ての校舎棟を増築する。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●校舎棟(津波避難施設) 実施設計	H28年度 建設	H29年度 H30年度 H31年度
予算額(千円)	595,445		
決算額(千円)	38,965	397,656	
執行率(%)	100.0	100.0	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	増築工事が予定通り竣工した。		
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>増築工事 H27-H28年度の2ヶ年継続事業の2年目として増築工事を実施し予定通り竣工した。</li> </ul>		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業が予定通り完了したため。</li> </ul>		
評価	B		
H28年度の 総合評価	B		
次年度	終了		
今後の方向			
H29年度事業計画			
課題・問題点 ・特になし			

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード 823	事業名 防災資機材等の整備事業	担当部 担当課	防災安全部・教育部 防災成養課・教育総務課
事業目的 防災資機材の整備		変更(ある場合)	
事業内容 命を守る教育環境の整備のため、市立小・中・特別支援学校を南・中部・北部の3地区に分け、災害発生時における学校用飲料水の備蓄を行う。			
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27年度 ●飲料水の備蓄 市内中部地区にある市立小・中学校	H28年度 市内北部地区にある市立小・中学校	H29年度 市内南部地区にある市立小・中・特別支援学校
予算額(千円)	1,828	872	0
決算額(千円)	831	678	0
執行率(%)	45.5	77.8	
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値) に対するH28年度末 の成果	北部地区にある市立小・中学校用飲料水に対するH28年度末(10/128本)の備蓄の成果		
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果) 北部地区にある小学校10校、中学校6校、合計16校に災害時用の飲用水として、1人当たりペットボトル1本(500ml)×児童生徒分の備蓄を行った。</li> </ul>		
評価の理由	当初計画通り備蓄することが出来た。		
評価	B		
H28年度の 総合評価	B		
次年度	継続		
今後の方向			
既に備蓄したものについても保存期限(5年)があるため、今後も計画的に飲用水の備蓄を実施していく。			
H29年度事業計画 5年水を全市に配付済みのため、今年度は対応なし。			
課題・問題点 ・特になし			

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	H27年度	H28年度	H30年度	H31年度				
824	通学路安全対策推進事業 事業目的 小・中学校の通学路における交通安全の確保を図るため、学校・警察等との連携のもと市立小・中学校の通学路の合同点検を行い、安全対策を実施する。 事業内容 ・学校による危険箇所の抽出 ・合同点検の実施 ・点検結果に基づき対策の検討、策定 ・対策の実施	教育部・市民自治部・土木部 学務保障課・防犯交通安全課・道路整備課・道路維持課 変更(ある場合)	→	→	→	→				
<p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <tr> <td>実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </table> <p>予算額(千円) 188箇所 決算額(千円) 80箇所 執行率(%) 124件(うち市の対策分 80件)</p> <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に基づき、関係機関と連携して合同点検を実施した。また、交通安全委員会の設置や、交通安全教室の実施など、交通安全意識の向上を図る。また、交通安全委員会の設置や、交通安全教室の実施など、交通安全意識の向上を図る。</p>							実施	→	→	→
実施	→	→	→							
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤沢市通学路交通安全プログラムに基づき報告のあった危険箇所について、関係機関と連携して合同点検を実施し、安全対策を実施した。</li> <li>・報告危険箇所数 188箇所</li> <li>・合同点検実施箇所数 80箇所</li> <li>・対策要望件数 124件(うち市の対策分 80件)</li> </ul> <p>評価の理由 ・小学校から報告された危険箇所について、学校、教育委員会、道路管理者、警察等関係機関が連携し、合同点検と安全対策の検討を行い、安全対策を実施して、通学路の安全確保が図られた。</p> <p>今後の方向 ・今後とも、小・中学校の通学路の安全を確保するため、関係機関と連携し、合同点検を行い、通学路の安全対策を実施する。</p> <p>H29年度事業計画 ・小学校から通学路の危険箇所の報告を受け、合同点検を行い、点検結果に基づき対策を策定し、安全対策を実施する。</p> <p>課題・問題点 ・ハード面では継続した安全対策を実施しており、また、限界もあることから、今後は通学路の変更などソフト面での対策の検討を支援することも必要となってくる。 ・関係機関が実施する安全対策については、それぞれの機関の予算、事業計画によるため、進捗管理については各機関に委ねざるを得ない。</p>										

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	事業名	担当部	H27年度	H28年度	H30年度	H31年度				
825(832)	学校防犯対策強化事業(子ども110番・安全マップ) 事業目的 子どもが安全安心を守るための環境整備を推進する	市民自治部 教育部 担当課 防犯交通安全課・教育指導課 変更(ある場合)	→	→	→	→				
<p>事業内容 ・子どもが犯罪などから助けを求めてきた際に、一時的な緊急避難場所として、また、警察などへの通報場所として、屋内在宅されているお宅やお店に子ども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員を養成するための講習会を定期的に開催し、学校における安全マップ作りの推進を図る。 ・学校における安全マップ作りを支援し、児童・生徒が自ら危険な場所を読み取る力を養い、危機回避能力を向上させる。</p> <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)</p> <table border="1"> <tr> <td>実施</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </table> <p>実施延べ校数 17校 予算額(千円) 922 決算額(千円) 889 執行率(%) 504 56.6</p> <p>年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)に基づき、関係機関と連携して合同点検を実施した。また、交通安全委員会の設置や、交通安全教室の実施など、交通安全意識の向上を図る。また、交通安全委員会の設置や、交通安全教室の実施など、交通安全意識の向上を図る。</p>							実施	→	→	→
実施	→	→	→							
<p>H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども110番事業について 全体掲示件数5,017件 新規掲示件数210件</li> <li>・比較的地宅にしていることが多いため、民家・事業所・商店等に子どもが犯罪などから助けを求めてきた際に一時的な緊急避難場所、警察などへの通報場所として、プレートを掲示していたため、平成28年度より犯罪抑止効果が期待できると見込まれる。</li> <li>・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)について 今年度は小学校教職員を対象に地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)を実施した。学校における地域安全マップ作りの推進を図った。</li> <li>・今年度は大塚小・小学校、村岡小・小学校で行った。サポートスタッフと一緒に子どもたちが生活圏を歩き『地域安全マップ』を自ら作製した。子どもたちの「危機回避能力」を向上させる支援をした。</li> </ul> <p>評価の理由 取組計画どおりの執行を行ったため。</p> <p>今後の方向 ・子ども110番の看板の掲示を依頼する。 ・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会)の開催する。 ・学校における地域安全マップ作りを2校ずつ行う。</p> <p>H29年度事業計画 ・子ども110番の看板の掲示を依頼する。また、古くなったプレートの更新を行う。 ・8月1日(火)地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会(小))の開催。 ・9月8日(金)学校安全担当者会(中)の開催。</p>										

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	832 (825)	事業名	学校防犯対策強化事業 (こども110番・安全マップ)	担当部	市民自治部・教育部
				担当課	防犯交通安全課・教育指導課

子どもの安全安心を守るための環境整備を推進する

事業目的  
子どもが犯罪などから助けを求めてきた際に、一時的な緊急避難場所として、また警察などへの通報場所として、居間在宅されているお宅やお店にこども110番の看板の掲示を依頼する。  
事業内容  
・地域安全マップ指導員を養成するための講習会を定期的に開催し、学校における安全マップ作りの推進を図る。  
・学校における安全マップ作りを支援し、児童・生徒が自ら危険な場所を読み取る力を養い、危機回避能力を向上させる。

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	実施	→	→	→	→
実施延べ校数	15校	17校	19校		
予算額(千円)	922	889	842		
決算額(千円)	789	504			
執行率(%)	85.6	56.6			

年次ごとの取組計画  
(年次ごとの目標値)  
●地域安全マップ指導員養成講座(学校安全)に対するH28年度末 ●学校における地域安全マップ作りを2校行っの成果

H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)  
●こども110番事業について  
全体掲示件数5,017件  
新掲掲示件数210件  
比較的に宅していることが多く、民家・事業所・商店等に子どもが犯罪などから助けを求めてきた際に一時的な緊急避難場所、警察などへの通報場所としてプレートを掲示していたため、市が実施するこみ取集車等にも掲示を行っている。  
●地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者)について  
今年度は小学校教職員を対象に地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者)を実施した。学校における地域安全マップ作りの推進を図った。  
●学校における地域安全マップ作りについて  
今年度は大庭小学校、村岡小学校で行った。サポートスタッフと一緒に子どもたちが生活圏を歩き、『地域安全マップ』を自ら作製した。子どもたちの「危機回避能力」を向上させる支援をした。

評価の理由  
取組計画とおりの執行を行ったため。  
引き継ぎ  
今後の方向  
・こども110番の看板の掲示を依頼する。  
・地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者)の開催する。  
・学校における地域安全マップ作りを2校ずつ行う。

H29年度事業計画  
●こども110番の看板の掲示を依頼するとともに、古くなったプレートの更新を行う。  
●8月1日(火)地域安全マップ指導員養成講座(学校安全担当者会(小))の開催。  
●9月8日(金)学校安全担当者会[中]の開催。

課題・問題点  
●地域安全マップサポートスタッフについて、担い手を見つけるのが困難である。  
●年間指導計画を作成した後に、地域安全マップ作りの希望校が決定するため、開催時期の調整等に困難が生じる。

平成28年度 藤沢市教育振興基本計画進捗状況報告書

事業コード	831 (215・234・724)	事業名	学校・家庭・地域連携推進事業(地域防災・防犯活動)	担当部	教育部
				担当課	教育総務課

子どもを軸とした連携により、地域づくり及び学校支援を図る。

事業目的  
中学校区を基本に設置された地域協力者会議において、子どもたちの健やかな成長を支援するために、地域の課題について計議し、防災・防犯活動(地域環境整備事業)や講演会・学習会等の地域の実情に応じた事業を実施する。

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	●学校・家庭・地域連携推進事業の実施(会長会、業務委託の実施)				
参加者総数	33,100人	33,200人	33,300人	33,400人	33,500人
予算額(千円)	5,574	5,574			
決算額(千円)	5,460	5,494			
執行率(%)	98.0	98.6			

年次ごとの取組計画  
(年次ごとの目標値)  
「地域協力者会議」の参加者総数 31,529人  
H28年度 進捗状況(今年度の効果・成果)  
●学校・家庭・地域連携推進事業(会長会)に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施した。  
\*会長会 年4回(5/10 8/23 11/8 2/7)  
\*各地域事業・会議等参加者数 31,529人  
\*一斉ハトリール「子ども安全ネットワーク」協議「地域ハトリール」安全・安心のほり旗」等の活動を実施した。

H29年度事業計画  
●学校・家庭・地域連携推進事業(会長会)に業務委託し、子どもたちの健やかな成長を支援する事業を各地域で実施する。  
●学校・家庭・地域の連携協働を推進するため「ふじさわ教育フォーラム」を開催する。

評価の理由  
●計画とおりの事業を行うことができた。  
今後の方向  
●学校・家庭・地域が連携・協力して子どもたちの成長を支援するため、会長会で十分な情報交換・意見交換をしていく。  
●様々な地域の事業に各地域協力者会議が関わっていることを広報紙、ホームページ、教育フォーラム等で発信していく。

課題・問題点  
●より多くの方に三者連携を知ってもらうために周知の方法を工夫する。  
●会長会がさらに充実した情報交換・意見交換の場となるように工夫する。